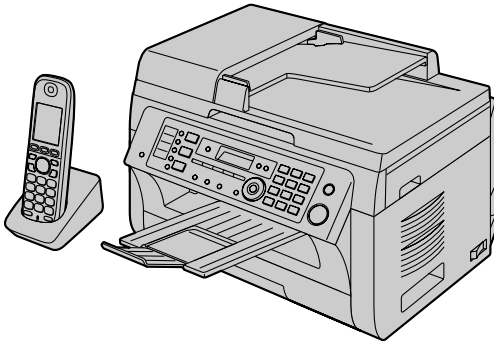
Panasonic®

取扱説明書

レーザー複合機

品番 **KX-MB2081N**

Multi-Function Station（CD-ROM）のインストール中は、接続の指示があるまで本機をUSBケーブルでコンピューターに接続しないでください。

添付の「取扱説明書（重要項目編）」には、本機を安全にお使いいただくための注意事項などを記載しています。

FOR ENGLISH USERS:
You can select English for the display and report of the base unit (feature #110, page 104).

- 本機は発信者番号表示に対応しています。ご利用にあたっては、サービスプロバイダー／電話会社から提供されているサービスへのお申し込みが必要です。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

親機では、操作に使用する言語を日本語と英語から選択できます。

ディスプレイおよびレポートには、選択した言語が使用されます。初期値は日本語です。設定の変更方法については、104 ページの機能#110を参照してください。

お知らせ

- **用紙の印刷面を消しゴムなどでこすらないでください。印刷がにじむおそれがあります。**

個人情報について

本機には、次のような個人情報が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

- 親機の内蔵メモリー
  - お客様自身で登録した電話番号や氏名などのデータ
  - ファクスや電話によって記録された履歴などのデータ（送受信履歴、メモリー受信されたファクスデータ、発着信履歴、録音された用件など）
- 子機（付属品／別売品）の内蔵メモリー
  - お客様自身で登録した電話番号や氏名などのデータ

免責事項

- 記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

＜本機の修理を依頼するとき＞

- 本機に登録した電話帳などのデータは、修理依頼の前に、必要に応じてメモやプリントしてください。
- データの保管後、内蔵メモリー（記憶情報や設定内容）を消去してください。
  - 初期化していなくても、修理の際、内蔵メモリーが消去され、お買い上げの状態に戻る場合があります。
  - 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

＜本機を廃棄・譲渡・返却するとき＞

- 内蔵メモリー（記憶情報や設定内容）を消去してください。

環境への取り組み

- パナソニックは、より多くの製品の再利用や、無駄をなくした梱包の実践といった省エネルギーデザインの商品開発を通して、製品ライフサイクルのあらゆる側面において環境への配慮を戦略的に取り入れています。

商標

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、及びPowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。
- Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- スクリーンショットは、Microsoft Corporationからの許可を受けて使用されています。
- Adobe及びAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Averyは、Avery Dennison Corporationの登録商標です。
- XEROXは、米国及びその他の国におけるXerox Corporationの登録商標です。
- 本書に記載されているその他のすべての商標は、各所有者に帰属します。

重要情報

本来の性能を発揮させるために

トナーカートリッジとドラムカートリッジ

- トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを交換する場合、ドラムにほこり、水、または液体などを接触させないでください。印刷品質に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 本機を正しくお使いいただくために、パナソニック製のトナーカートリッジとドラムカートリッジのご使用をお勧めします。パナソニック製以外のトナーカートリッジまたはドラムカートリッジの使用に起因して次のような問題が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
  - 本機の損傷
  - 印刷品質低下
  - 動作不良

トナーカートリッジ

- トナーカートリッジを保護袋から出した状態で長時間放置しないでください。印刷品質に影響があります。

ドラムカートリッジ

- ドラムカートリッジの設置を始める前に、15 ページの説明をよくお読みください。説明を読み終えた後、ドラムカートリッジ保護袋を開封してください。ドラムカートリッジには、感光性のドラムが含まれています。光に当てると、ドラムを損傷するおそれがあります。一旦、保護袋を開封したら、次の点に注意してください。
  - ドラムカートリッジを光に5分以上当てないでください。
  - ドラムカートリッジの黒褐色のドラム表面に触れたり、傷つけたりしないでください。
  - ドラムカートリッジをほこりや汚れの近く、または湿度の高い場所に置かないでください。
  - ドラムカートリッジを直射日光に当てないでください。
- 印刷直後に電源スイッチをオフにしないでください。ドラムカートリッジの寿命が短くなります。印刷後は電源をオンにしたままで30分以上放置してください。

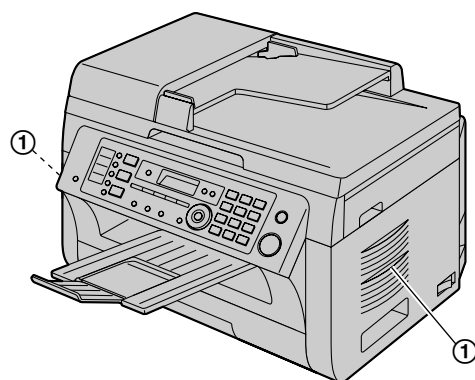
設置場所

- 不具合を避けるため、テレビやスピーカーなど強い磁気を発生させる機器の近くに本機を置かないでください。

静電気

- 本機内部のインターフェースコネクターまたはその他の電気部品の静電気による損傷を防止するため、電気部品に触れる前には、必ずアースに接続されている金属面に触れてください。

使用環境

- 蛍光灯やモーターなど電気的ノイズを発生させる装置に近づけないでください。
- ほこりの多い場所、高温の場所、および振動する場所には置かないでください。
- 直射日光に当てないでください。
- 本機の上に重い物を載せないでください。長期間使用しない場合、電源コンセントから本機の電源プラグを抜いてください。
- ヒーターや台所用レンジなど熱源機器には近づけないでください。湿気の多い地下室への設置も避けてください。
- 親機の右側、左側、および後面から10cm以内には物を置かないでください。
- 親機のスロットまたは開口部をふさがないでください。定期的に通風孔を点検し、掃除機でほこりを取り除いてください（①）。

日常のお手入れ

- 本機の表面をやわらかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー、または研磨剤は使用しないでください。

子機の通信

- 親機および互換性のあるその他のパナソニック機器は、電波を使用して機器間の通信を行います。最大限の受信領域とノイズフリーの通信を実現するために、親機を以下の場所に設置してください。
  – 親機と子機の間に障害物がなく、室内環境の中心に位置する、使い勝手がよく、高さのある場所
  – テレビ、ラジオ、パソコン、無線装置またはその他の電話機などの電子機器から離れた場所
  – 携帯電話基地局の外部アンテナなどの無線周波数送信機と向きが異なる場所（出窓または窓の近くに親機を置かないでください。）
- 受信領域および音質は、本機の設置環境の条件によって異なります。
- 親機の受信状態が良くない場合は、親機を受信状態の良い別の場所に移動させてください。
- 次の場所で本機を使用する場合、最大通話距離が短くなる可能性があります：小高い山、トンネル、地下など障害物の近く、または鉄柵のような金属製物質の近く。
- 電化製品の近くで本機を使用する場合、障害を引き起こす可能性があります。電化製品には近づけないでください。

法律で禁じられていること

次のようなコピーは法律により罰せられますので十分ご注意ください。

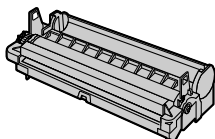
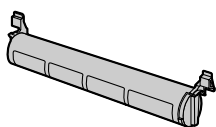
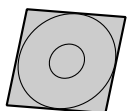
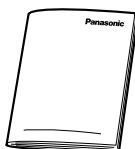
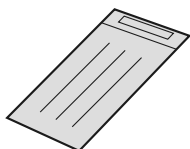
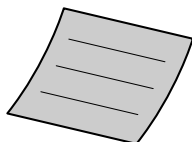
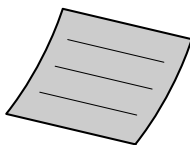
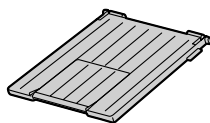
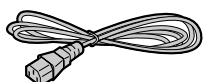
- 法律でコピーを禁止されているもの
  1. 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
  2. 未使用の郵便切手、郵便事業株式会社製の郵便はがき
  3. 政府発行の印紙、酒税法や物品管理法で規定されている証紙類
- 注意を要するもの
  1. 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
  2. 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
- 著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

もくじ

1.1 アクセサリー

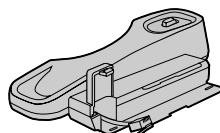
1.1.1 付属品／添付品

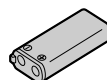
① トナーカートリッジ（スターター）*1

② ドラムカートリッジ

③ CD-ROM

④ 取扱説明書（重要項目編）

⑤ 保証書

⑥ かんたん設置ガイド

⑦ 操作早見表

⑧ 排紙トレイ

⑨ 電源コード

⑩ 電話機コード

⑪ ハンドセット

⑫ ハンドセットコード

⑬ ハンドセットクレードル

⑭ コードレス子機

⑮ 子機用電池パック

⑯ 子機用充電台(PNLC1026) *2

*1 ISO/IEC 19752で規定されたページを約500ページ印刷します。

*2 品番は予告なく変更されることがあります。

お知らせ

- 購入時の段ボール箱と梱包材は、本機の輸送および運搬に備えて保存しておいてください。
- 本機を箱から取り出した後は、梱包材や電源プラグキャップを適切に取り扱ってください。

1.1.2 消耗品／オプション品情報

■ 消耗品

本機を正しくお使いいただくために、弊社ではパナソニック製のトナーカートリッジとドラムカートリッジのご使用を推奨します。

– **トナーカートリッジ**
  - **品番：KX-FAT411N**
  - ISO/IEC 19752で規定されたページを約2,000ページ印刷します。

– **ドラムカートリッジ**
  - **品番：KX-FAD412N**

– **子機用電池パック**
  - **品番：KX-FAN55**
    ニッケル水素電池、DC 2.4 V、650 mAh

■ オプション品

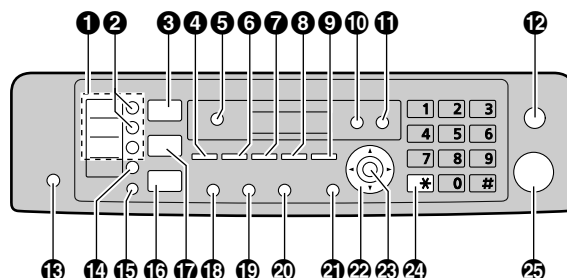
– **増設子機**
  - **品番：KX-FKD401/KX-FKD502**

– **中継アンテナ**
  - **品番：KX-FKD1**

お知らせ

- ISO/IEC 19752の規定は下記の通りです。
  – 環境：23 ± 2 ℃/50 ± 10 % RH（相対湿度）
  – プリントモード：連続印刷

1.2 操作部を確認する

1.2.1 親機のボタン説明

❶ **ワンタッチキー**
- ワンタッチダイヤル機能を使用します（69、78 ページ）。

❷ **【同報通信】**
- 複数の送信先にファクス文書を送信します（79、91 ページ）。

❸ **【スキャン】**
- スキャンモードに切り替わります（28、51 ページ）。

❹ **【コピーサイズ】**
- コピーサイズを選択します（58 ページ）。

【Eメール】
- インターネットファクスの送受信を行います（90 ページ）。

❺ **【再生】**
- 音声メッセージを再生します（95 ページ）。

【ボイス to PC】
- 音声メッセージをEメールアドレス（96 ページ）、またはコンピューターに転送します（97 ページ）。

❻ **【濃度】**
- コピーをする場合の読取濃度を選択します（58 ページ）。
- ファクスを送信する場合の読取濃度を選択します（77 ページ）。

❼ **【画質】**
- コピーをする場合の読取画質を選択します（58 ページ）。

- ファクスを送信する場合の読取画質を選択します（76 ページ）。

❽ **【ズーム】**

- コピーをする場合に、原稿の拡大または縮小をします（60 ページ）。
- 文字入力のときにスペースを挿入します（138 ページ）。

【メモリー送信】

- 原稿のスキャンデータをメモリーに保存し、送信します（78 ページ）。

❾ **【レイアウト】**

- 各種ページレイアウトを使用し、コピーをします（61 ページ）。

【着信メモリー】

- 発信者番号表示機能を使用して発信者の番号を表示します（73 ページ）。

❿ **【消去】**

- 登録した電話帳項目を消去します（70 ページ）。
- 発信者番号を消去します（74 ページ）。
- 迷惑ファクス防止リストの項目を消去します（88 ページ）。
- 音声メッセージを消去します（94、96 ページ）。

⓫ **【録音】**

- 自作応答メッセージ、電話の会話または伝言メッセージを録音します（94 ページ）。

⓬ **【ストップ】**

- 操作または機能設定を中止します。
- 文字／数字を消去します。

⓭ **【留守】**

- 自動応答設定をオン／オフにします（84、85 ページ）。

⓮ **【シフト】**

- ワンタッチダイヤル機能のワンタッチ4～6を選択します（69、78 ページ）。

⓯ **【保留】**

- 通話中の外線電話を保留します。

【内線】

- 内線通話をします（135 ページ）。

⓰ **【ファクス】**

- ファクスモードに切り替わります（28、76 ページ）。

⓱ **【コピー】**

- コピーモードに切り替わります（28、58 ページ）。

⓲ **【再ダイヤル】**

- 最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。ファクスを送信したときに、相手先が話し中の場合、2回以上再ダイヤルします。

【ポーズ】

- ダイヤル中にポーズを挿入します。

⓳ **【キャッチ】**

- キャッチホン（73 ページ）または転送など構内交換機の特別電話サービスを利用します。

【あんしん応答】

- 着信中に押して、相手に名前を尋ねることができます（67 ページ）。

⓴ **【モニター】**

- ダイヤルを開始します。
受話中に**【モニター】**を押すと、相手側の音声が聞こえます。こちらの音声は相手に聞こえません。

㉑ **【機能】**

- 機能設定を開始または終了します。

㉒ **ナビゲーターキー**

- 目的の設定を選択します。
- 音量を調節します（31 ページ）。
- 保存されている項目を検索します（78 ページ）。

【電話帳】

- 電話帳を開きます（70、80 ページ）。

【-∈】

- ソートコピーします。

㉓ 【セット】

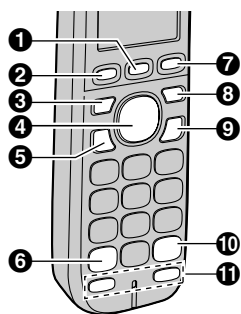
- 機能設定中の設定を保存します。

㉔ **【トーン】**

- ご利用の回線がダイヤル回線の場合、ダイヤル時にダイヤル回線からプッシュ回線に一時的に切り替えます。

㉕【スタート】

- 原稿をコピーします（58 ページ）。
- 原稿をスキャンします（プッシュスキャン）（51 ページ）。
- ファクスを送信します（76、90 ページ）。

1.2.2 子機のボタン説明

❶【F2】

- 電話帳登録などに使用します（70 ページ）。
- 相手の声を確認して電話に出るときに使用します（あんしん応答）（68 ページ）。

❷【F1】

- 機能の登録などに使用します。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときなどに、ポーズ（ダイヤルの待ち時間）を挿入します。
- 文字の種類を変更します（139 ページ）。

❸【🔈】

- スピーカーホンで通話します（66 ページ）。

❹ マルチファンクションキー

- 音量を調整します（31 ページ）。
- 発信者番号表示機能を使用して発信者の番号を表示します（74 ページ）。
- 再ダイヤルします（66 ページ）。
- 音声メッセージ再生をスキップまたはリピートします（95 ページ）。

❺【📞】

- 電話をかけたり受けたりします（66、67 ページ）。

❻【＊】

- ご利用の回線がダイヤル回線の場合、ダイヤル時にダイヤル回線からプッシュ回線に一時的に切り替えます。

❼【F3】

- 自動応答設定をオン／オフにします（84、85 ページ）。
- 登録した項目を消去します。
- 間違えた文字や記号を消去します（139 ページ）。
- 相手の声を確認して電話に出るときに使用します（あんしん応答）（68 ページ）。

【キャッチ】

- キャッチホンを受けます（73 ページ）。

❽【保留】

- 通話中、相手に待ってもらうとき使用します。

【内線】

- 親機や別の子機を呼び出すときに使用します（135 ページ）。

❾【切】

- 通話を終了します。
- 操作や登録を終了します。

❿【＃】

- 機能の登録などに使用します。
- キーロックするときに使用します（66 ページ）。

⓫【ワンタッチ1】／【ワンタッチ2】

- ワンタッチダイヤルで電話をかけます（72 ページ）。

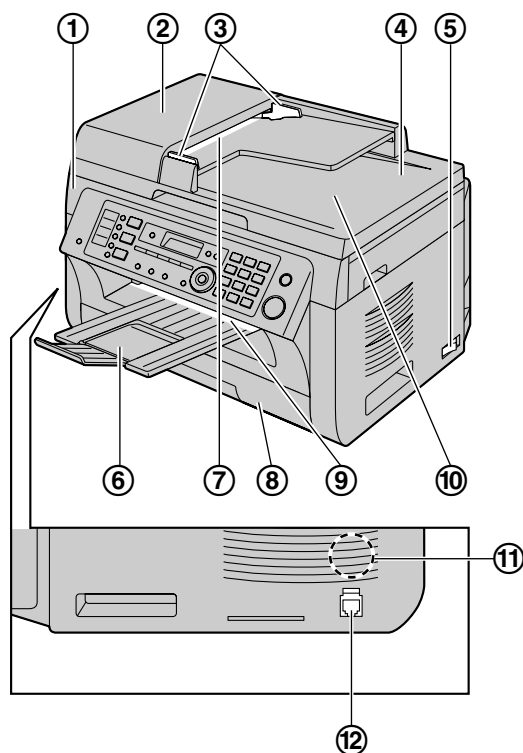
1.2.3 子機のディスプレイ説明

表示項目	内容
[アンテナ表示]	子機が受けている電波の強さのめやすを表示します。 • “[ケンガイ]”と表示したときは、親機からの電波が届かないため、呼出音が鳴らず、通話ができません。親機に近づいてください。
[スピーカーホン表示]	スピーカーホンで通話しているとき表示します（66 ページ）。
[電池表示]	電池残量のめやすを表示します。

取扱説明書に使用されている記号

記号	内容
“ ”	【▼】【▲】を押して引用符の中の項目を選択してください。

1.2.4 外観

親機（前面図）

① トップカバー

② ADF（自動原稿送り装置）カバー

③ 原稿ガイド

④ ADF

⑤ 電源スイッチ

⑥ 排紙トレイ

⑦ 原稿挿入部

⑧ 給紙カセット

⑨ 用紙排出部

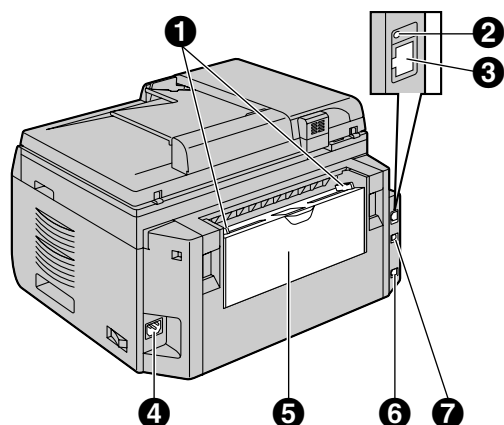
⑩ 原稿排出部

⑪ スピーカー

⑫ ハンドセット接続端子

親機（後面図）

❶ 用紙ガイド

❷ LED

❸ LAN端子

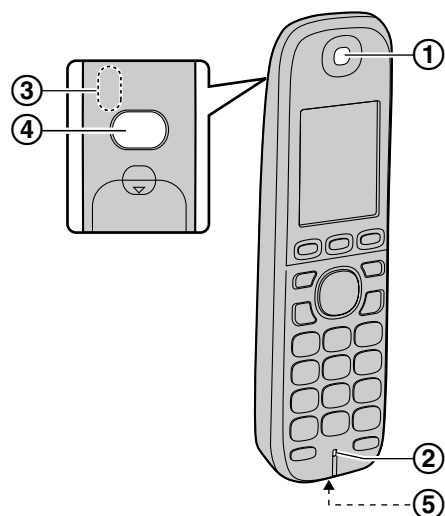
- 10Base-T/100Base-TX

❹ 電源コード差込口

❺ 手差しトレイ（後カバー）

❻ 電話回線端子

❼ USB端子

子機

① 受話口

② 送話口

③ アンテナ部

- 通話中、手で覆わないでください。

④ スピーカー

⑤ 充電口

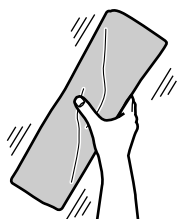
1.3 設置

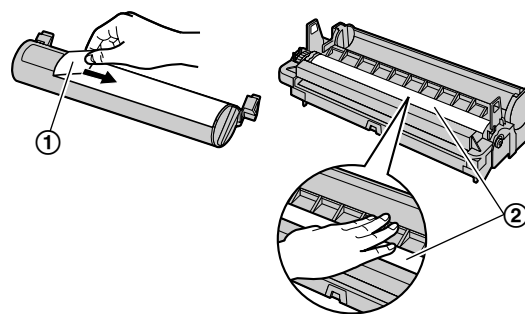
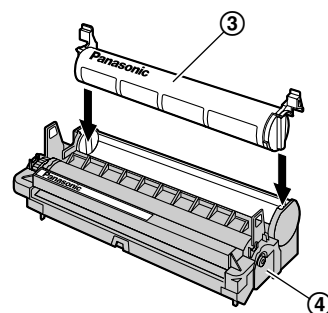
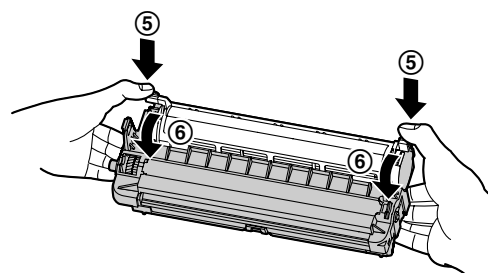
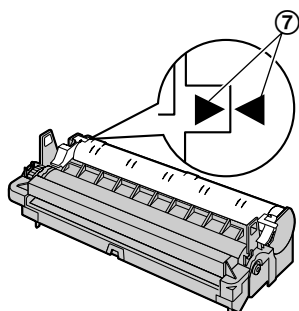
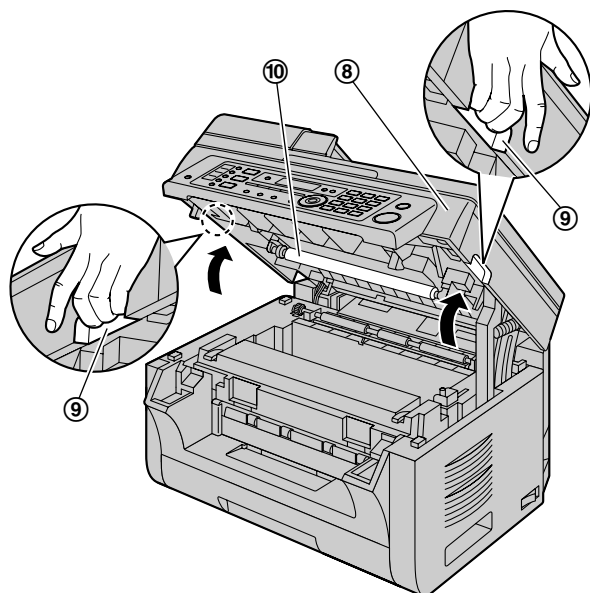
1.3.1 トナーカートリッジとドラムカートリッジ

付属のトナーカートリッジはスタータートナーカートリッジです。

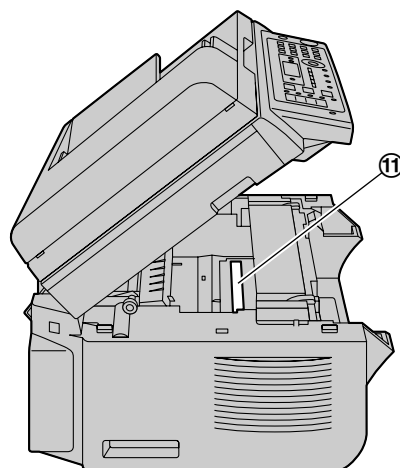
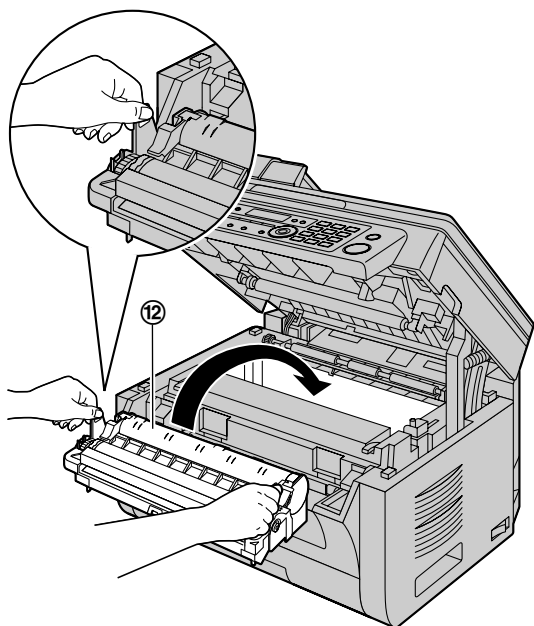
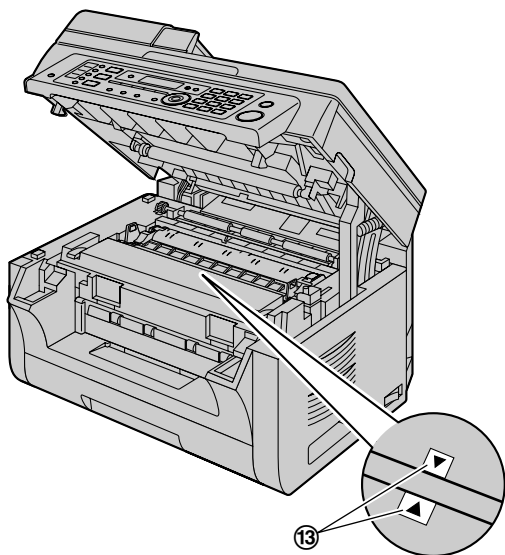
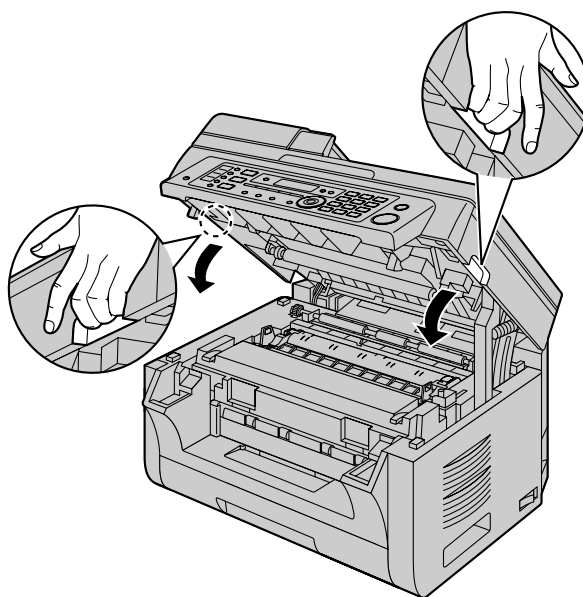
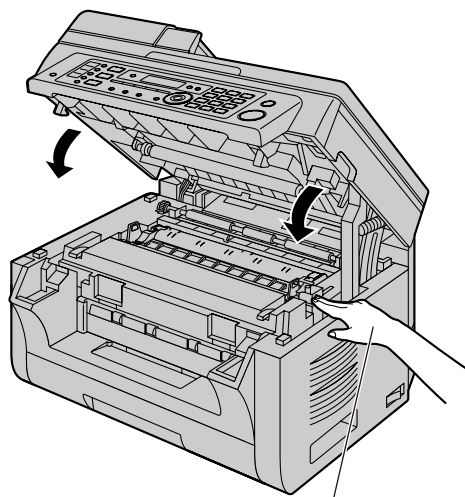
お知らせ

- **設置を始める前に、次の説明をよくお読みください。説明を読み終えた後、ドラムカートリッジ保護袋を開封してください。ドラムカートリッジには、感光性のドラムが含まれています。光に当てると、ドラムを損傷するおそれがあります。**
  - **ドラムカートリッジを光に5分以上当てないでください。**
  - **ドラムカートリッジ内側の黒褐色のドラム表面に触れたり、傷つけたりしないでください。**
  - **ドラムカートリッジをほこりや汚れの近く、または湿度の高い場所に置かないでください。**
  - **ドラムカートリッジを直射日光に当てないでください。**
- **トナーカートリッジを保護袋から出した状態で長時間放置しないでください。印刷品質に影響があります。**
- **本機の損傷または印刷品質の低下が、パナソニック製以外のトナーカートリッジやドラムカートリッジの使用に起因する場合、弊社では責任を負いかねます。**
- **トナーカートリッジにトナーを追加しないでください。**

1 新品トナーカートリッジの保護袋を開封する前に、トナーカートリッジを縦方向に5回以上振る。

2 トナーカートリッジおよびドラムカートリッジを保護袋から取り出す。トナーカートリッジからフィルム（①）をはがす。

- ドラムカートリッジの黒褐色のドラム表面に触れたり、傷つけたりしないでください（②）。

3 トナーカートリッジ（③）を垂直にドラムカートリッジ（④）の中に入れる。

4 トナーカートリッジを押し込む（⑤）。トナーカートリッジの両端に付いている緑色のレバーを押さえながら手前に回す（⑥）。

5 トナーカートリッジを正しく挿入するために、矢印（⑦）が合っていることを確認する。

6 親機の両側にあるくぼみ部分（⑨）を持ち、トップカバー（⑧）を開く。

お知らせ

- 搬送ローラー（⑩）には触れないでください。

- 下部ガラス（⑪）が汚れている場合、乾いたやわらかい布で拭いてください。

7 タブをつかんで、ドラムカートリッジとトナーカートリッジ（⑫）を取り付ける。

- ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを正しく挿入するために、矢印（⑬）が合っていることを確認してください。

8 親機の両側にあるくぼみ部分を持ち、トップカバーがロックされるまで閉じる。

- **トップカバーを閉じるとき指の挟みこみに注意してください。けがの原因になることがあります。**

トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの交換時期

ディスプレイに次のメッセージが表示されたら、トナーカートリッジを交換してください。

– **“トナーガ　スクナイデス”**

– “トナーガ　アリマセン”

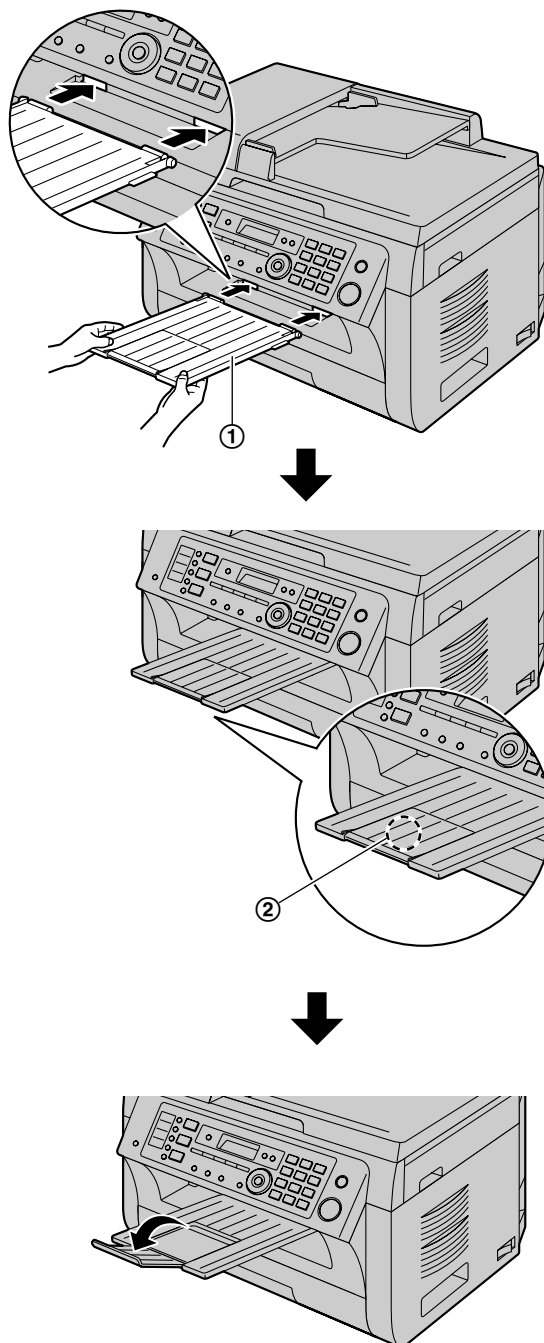
お知らせ

- ドラムの寿命と品質を確認するために、テストプリントリスト（177 ページ）を印刷してください。印刷品質が改善されない場合、または **“トナーギレレジニ　ドラムモ　コウカンシテクダサイ”** がディスプレイに表示される場合は、トナーカートリッジおよびドラムカートリッジを交換してください。
- 本機を正しくお使いいただくために、弊社では **パナソニック製のトナーカートリッジとドラムカートリッジ** のご使用を推奨します。アクセサリー情報については、10 ページを参照してください。
- 印刷品質および機器寿命を維持するために、弊社では、トナーカートリッジおよびドラムカートリッジ交換時に親機のスロットや開口部（3 ページ）および内部（173、176 ページ）を清掃することを推奨します。
- トナーの寿命およびドラムの寿命については、180 ページを参照してください。

トナーセーブ機能

トナーの消費量を減らしたい場合、トナーセーブ設定を **“アリ”** にしてください（109 ページの機能#482）。トナーカートリッジが約20 %長持ちします。ただし、この機能を使用すると、印刷品質が低下することがあります。

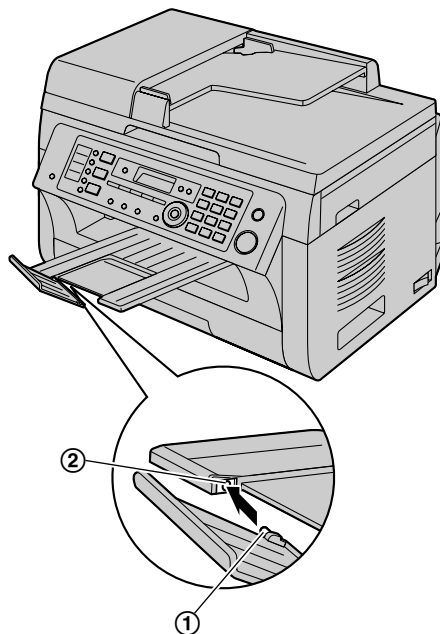
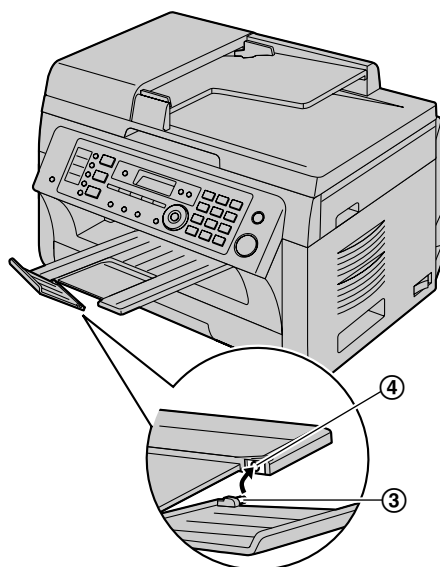
1.3.2 排紙トレイ

所定の位置にカチッと入るまで排紙トレイ（①）を差し込み、中央手前（②）を押して補助トレイを開いてください。

お知らせ

- 排紙トレイにぶつかる可能性のある場所に親機を置かないでください。
- 排紙トレイは印刷済みの用紙を約100枚まで収容できます（枚数は使用環境によって変わる

可能性があります）。排紙トレイが一杯になる前に、印刷済みの用紙を取り出してください。

排紙トレイの先端部が外れた場合

1 排紙トレイの先端部を開いた状態にして、タブ（①）を排紙トレイの左穴（②）に差し込む。

2 もう一方のタブ（③）を排紙トレイの右穴（④）に向けて、下から所定の位置にカチッと入るまですべらせて差し込む。

1.3.3 用紙

用紙に関するお知らせ

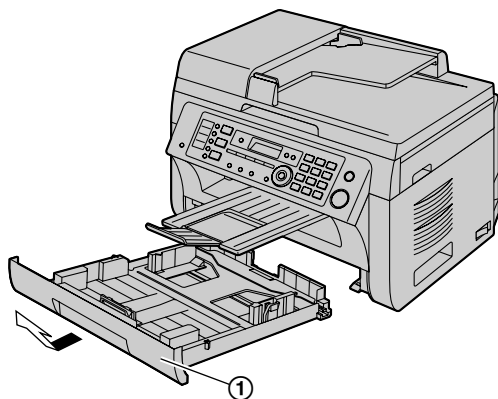
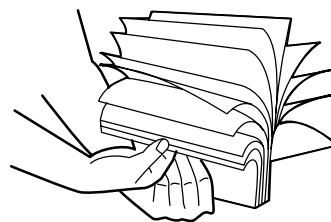
- 用紙を大量に購入する前に、本機で用紙（サイズやタイプが特殊な用紙は特に）のテスト印刷を行うことを推奨します。
- 次のタイプの用紙は使用しないでください。
  - 綿または繊維の含有率が20 %を超えている用紙（レターヘッドのある用紙や履歴書用紙など）
  - 表面が非常に滑らかな用紙、著しい光沢のある用紙、またはざらつきの多い用紙
  - コーティング、傷、またはしわのある用紙
  - 異物（ラベルまたはホッチキスの針など）の付着した用紙
  - ほこり、糸くず、または油染みのある用紙
  - 200℃付近で融解、気化、変色、焦げ、有毒ガスの放出が発生する用紙（模造皮紙など）。このような材質は定着ローラーに移り、損傷の原因になることがあります。
  - 湿っている用紙
  - インクジェット用紙
- 用紙によっては、片面のみが印刷面として想定されています。印刷品質に満足できない場合や給紙エラーが発生する場合は、試しに用紙の反対面に印刷してみてください。
- 適切な給紙と最高の印刷品質を実現するため、縦目の用紙を使用することを推奨します。
- 種類や厚さの異なる用紙を同時に使用しないでください。紙詰まりの原因になることがあります。
- 両面印刷をしないでください。
- 本機で印刷した用紙を、他のコピー機またはプリンターで両面印刷用に使用しないでください。紙詰まりの原因になることがあります。他のコピー機またはプリンターで印刷した用紙を、本機で裏紙として使用しないでください。紙詰まりの原因になることがあります。
- カールを避けるため、実際に用紙を使用する必要が生じるまでは用紙パックを開封しないでください。未使用の用紙は元のパッケージに入れた状態で、乾燥した涼しい場所に保管してください。
- 高湿度地域にお住いのお客さまへ：用紙はエアコンの効いた部屋に保管するようにしてください。湿った用紙を使用すると、紙詰まりの原因となります。

給紙カセット

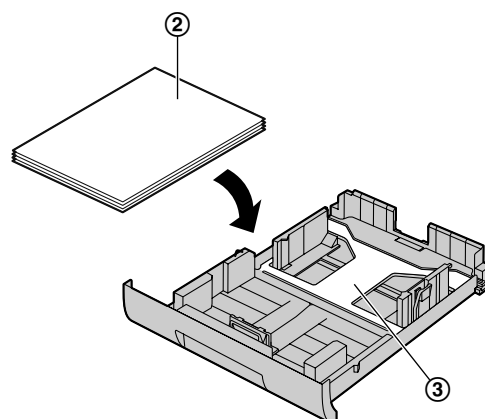
給紙カセットに収容できる用紙の枚数は次のとおりです。

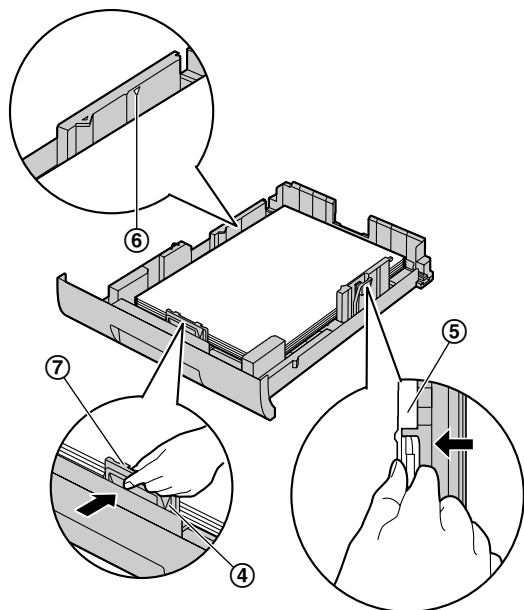
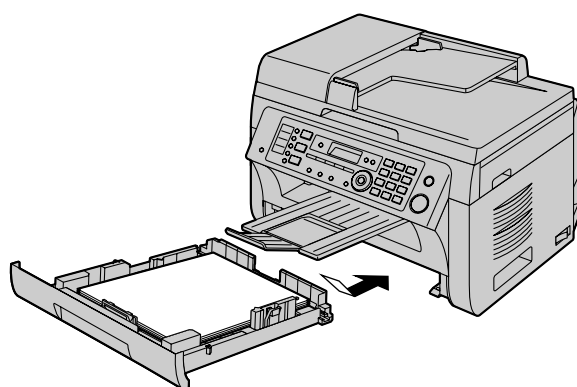
– 64 g/m²～75 g/m²の用紙：250枚まで。
– 80 g/m²の用紙：230枚まで。
– 90 g/m²の用紙：200枚まで。

- A4、レターおよびB5サイズの用紙を使用することができます。B5サイズの用紙は、本機で印刷またはコピーをする場合にのみ使用することができます。
- 用紙については、179 ページを参照してください。
- **初期値ではA4サイズの普通紙を印刷するように設定されています。**
  - **他の用紙サイズを使用する場合、用紙サイズ設定を変更してください（108 ページの機能#380）。**
  - **厚口普通紙を使用する場合、用紙種類設定を変更してください（108 ページの機能#383）。**

1 所定の位置にカチッと入るまで給紙カセット（①）を引き出し、カセットの前部を持ち上げて完全に引き出す。

2 用紙をセットする前に、紙詰まり防止のため用紙をよくさばく。

3 印刷する面を上にして（②）用紙をセットする。

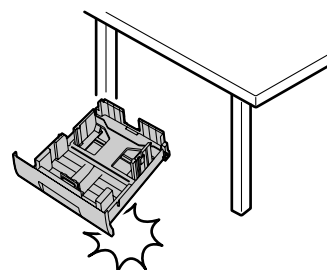
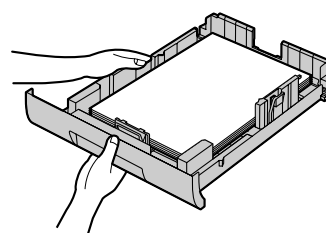
お知らせ

- **必要に応じて、給紙カセットのプレート（③）を押し下げてロックしてください。**

4 用紙ガイドを調整する。用紙ガイドの前部のつまみ（④）をつまんでスライドさせ、用紙サイズマークに合わせる。用紙ガイドの右側にあるつまみ（⑤）をつまんでスライドさせ、用紙サイズに幅を調整する。

- 用紙が用紙上限マーク（⑥）よりも下にあることを確認してください。用紙はタブ（⑦）よりも上にセットしないでください。

5 給紙カセットの前部を持ち上げながら、給紙カセットを親機に挿入する。給紙カセットを奥まで完全に押し込む。

お知らせ

- 用紙が正しくセットされていない場合、用紙ガイドを調整し直してください。用紙が詰まるおそれがあります。
- 給紙カセットが閉まらない場合、給紙カセットのプレートが持ち上がっている可能性があります。用紙を押し付けて、平らな状態で給紙カセットに入っていることを確認してください。

給紙カセットの取り扱いに関する注意

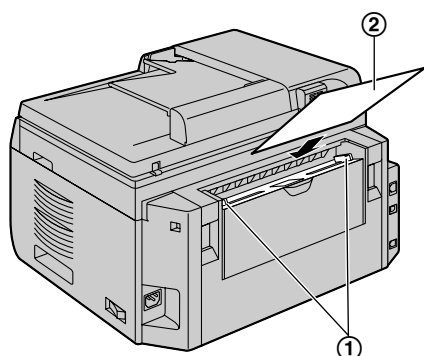
- **給紙カセットを落とさないでください。**

- **取り外しまたは取り付けのときには、給紙カセットを両手で持ってください。用紙を最大枚数までセットした場合、給紙カセットの重量は約2 kgになります。**

重量は約 2 kgです

手差しトレイ

プリンター印刷およびコピーで、手差しトレイを使用することができます。一度に一枚ずつの給紙になります。複数のページを印刷またはコピーする場合には、前のページの印刷が終わってから次の用紙を手差しトレイにセットしてください。

- 用紙については、179 ページを参照してください。
- **初期値ではA4サイズの普通紙を印刷するように設定されています。**
  - **他の用紙サイズを使用する場合、用紙サイズ設定を変更してください（47、108 ページの機能#381）。**
  - **厚口普通紙を使用する場合、用紙種類設定を変更してください（108 ページの機能#384）。**

1 ガイド（①）の幅を用紙のサイズに調整する。

2 印刷する面（②）を下向きにし、親機が用紙をつかみ、ビープ音が 1 回聞こえる位置まで差し込む。

お知らせ

- 手差しトレイから印刷するには、設定の変更が必要です。
  - コンピューターで印刷をする場合、プリンターのプロパティで［**手差しトレイ**］を選択してください。
  - コピーをする場合、事前にコピー用カセット設定を“**トレイ2**”に設定してください（120 ページの機能#460）。

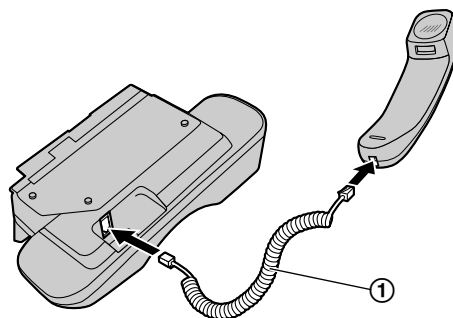
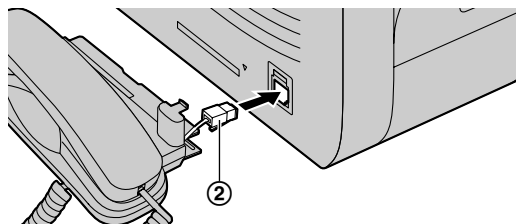
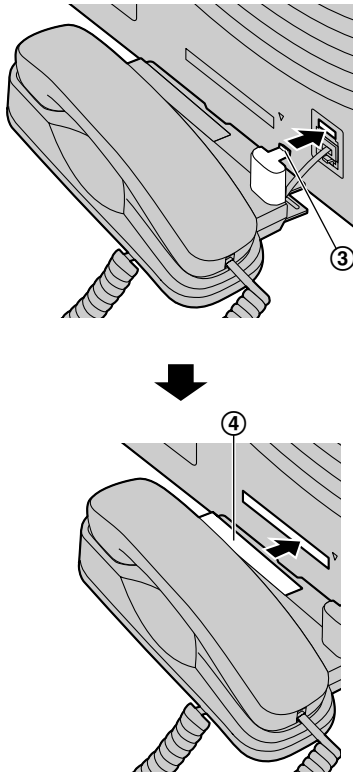
  設定を変更しない場合、複数のページを印刷またはコピーする際に、1ページ目は手差しトレイから給紙して印刷をしますが、残りのページは給紙カセットから給紙して印刷をします。
- 用紙が正しく差し込まれていない場合、用紙を一度抜き取り、再度入れ直してください。用紙が詰まるおそれがあります。

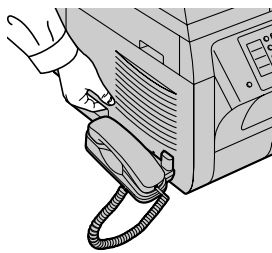
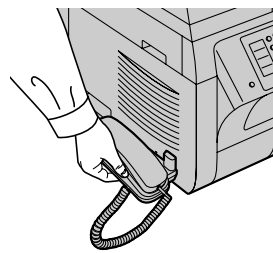
1.4 電話

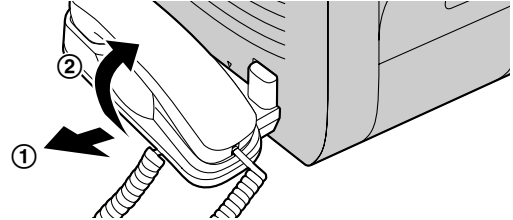
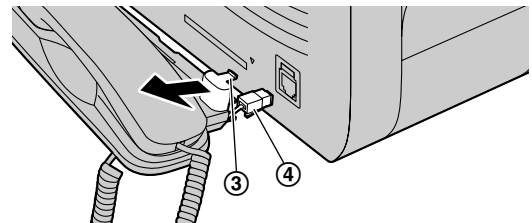
1.4.1 ハンドセットユニット

お知らせ

- **ハンドセットユニットを取り付ける／取り外す前には、必ず電源スイッチをオフにしてください。**

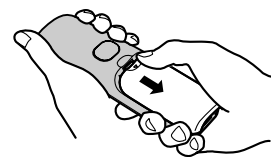
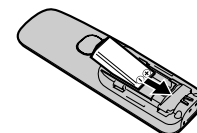
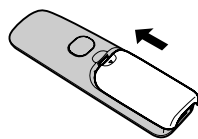
1 ハンドセットコード（①）を接続する。

2 ハンドセットコネクター（②）を接続する。

3 タブ（③）およびリブ（④）を挿入する。

お知らせ

- **親機を移動させる場合、親機本体を持つようにしてください。ハンドセットユニットを持たないでください。**

正しい持ち方　**誤った持ち方**

ハンドセットユニットを取り外す

1 ハンドセットユニットを前方（①）に少し引いて、矢印（②）の方向に持ち上げ、リブを取り外す。

2 タブ（③）を取り外し、ハンドセットコネクター（④）を取り外す。

1.4.2 電池パックの取り付け／交換

お知らせ

- 必ず付属品の電池パックを使用してください。

1 子機の電池カバーを押し下げながら、手前に引いて開ける。

2 電池パックを入れる。

3 電池カバーを閉める。

<u>お知らせ</u>

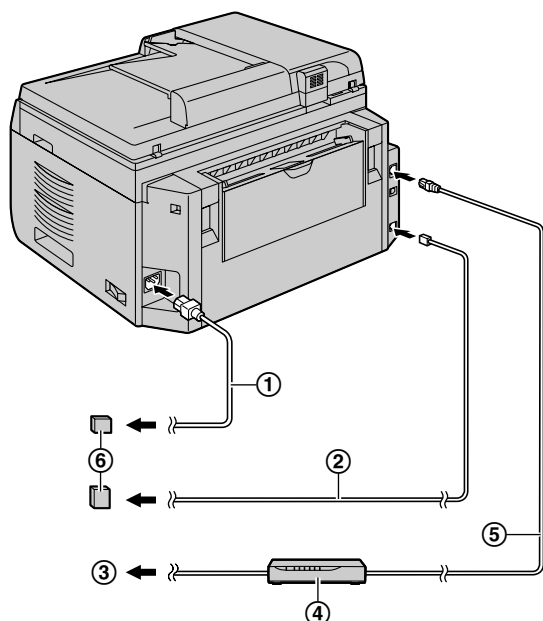
- 電池カバー裏のクッションは、外さないでください。

2.1 接続とセットアップ

2.1.1 接続

親機

お知らせ

- **本機を操作する場合、本機近くの使いやすい場所に電源コンセントがある必要があります。**
- **電話機コードを延長しないでください。**
- **ハンドセットユニットを接続するには、22 ページを参照してください。**

① 電源コード
- 電源コンセントに接続します(100 V、50/60 Hz)。

② 電話機コード
- 電話回線端子に接続します。

③ インターネット接続

④ ネットワークルーター／ネットワークハブ（別売り）
- ネットワークコンピューターも接続します。

⑤ LANケーブル（別売り）
- 電磁波放射限度に関する規定を順守するために、必ずシールドLANケーブル（カテゴリ5ストレートケーブル）を使用してください。

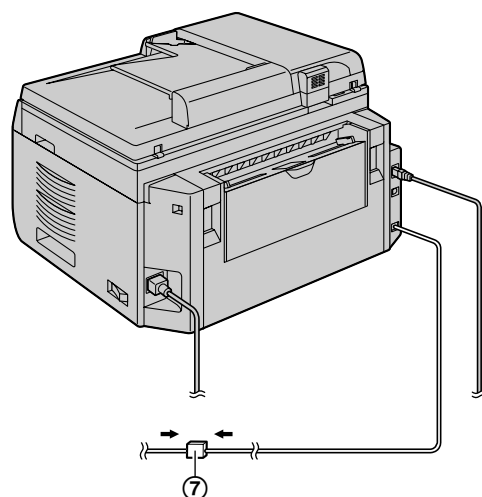
USB接続に関する重要なお知らせ
- Multi-Function Stationのインストール中は、接続の指示があるまで本機をUSBケーブルでコンピューターに接続しないでください（36 ページ）。

お知らせ
- 親機の右側、左側、および後面から10cm以内には物を置かないでください。
- 同じ電話機コードにその他のデバイスが接続されている場合、本機はそのデバイスのネットワーク状態を妨害するおそれがあります。

サージプロテクターの使用

- 電力線および電話線のサージまたは雷による損傷には、保証は適用されません。保護機能を高めるために、サージプロテクターのご使用を推奨しています（⑥）。

本機がDSLサービスと1つの電話回線を共有する場合

ファクスの送受信に支障をきたす、電話での会話中に雑音が聞こえる、または発信者番号表示（73 ページ）が正しく機能しない、などの現象が発生することがあります。このような現象の発生を防止するには、本機の電話機コードにDSLフィルター（⑦）を取り付けてください。DSLフィルターは、ご利用のDSLサービスプロバイダーからお求めいただけます。

光回線（ひかり電話）や ADSL に接続する場合

本機は、NTT のアナログ回線規格に準拠しております。光回線やIP 電話回線でご利用の場合、接続環境や接続機器によっては、正しく動作しないことがあります。

- その場合は、光回線やIP 電話のサービス実施会社にお問い合わせください。接続のしかたは、光回線やADSL のサービス実施会社にお問い合わせください。
- 事前にTA／スプリッタ機能が **"アリ"** になっていることを確認してください（104 ページの機能#124)。

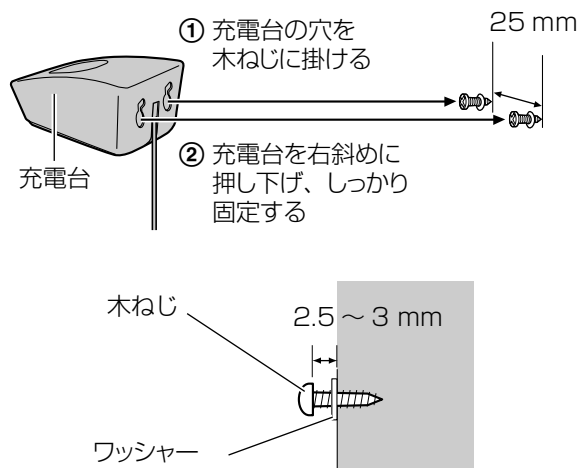
ネットワーク用ルーター／ハブの使用

- セキュリティが重要なネットワーク環境では、ネットワーク用のルーターまたはハブ（④）のご使用を推奨します。ファイアウォール設定などについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- セキュリティ問題による損害またはそれに関連する不利益については、保証は適用されません。

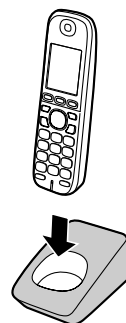
充電台

1 電源コードを電源コンセントに接続する（100V、50/60Hz)。

2 充電台に子機を置き、約10時間充電する。

- ディスプレイの表示が **"ジュウデンチュウ"** から **"ジュウデンカンリョウ"** に変わります。
- 別売りのねじを使用して、充電台を壁や柱に掛けることができます。

2.1.2 電池充電

初めてお使いになる前には、約10時間充電してください。

"ジュウデンチュウ" 表示が **"ジュウデンカンリョウ"** に変わると充電完了です。

お知らせ

- 次の場合は、充電時間が長くなることがあります。
  - 使用環境温度が低いとき
  - 電源電圧が低いとき
  - 充電途中で子機を使用したとき
  - **"[ケンガイ]"** のとき
- **"ジュウデンチュウ"** 表示が出ないときは、子機を数分間充電台に置いたままにしてください。
- 子機は充電台に置いたままでも、過充電しないようになっています。
- 子機と充電台をお手入れするときは、乾いた布でからぶきしてください。
- 子機や充電台が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 1週間以上、子機を充電台から外したり、電源コードをコンセントから抜くときは、電池パックを外してください。電池パックの性能を維持し、電池の消耗を防ぎます。次回使用するときに充電してください。

電池充電レベル

アイコン	電池充電レベル
(電池アイコン・3本)	高
(電池アイコン・2本)	中
(電池アイコン・空)	低

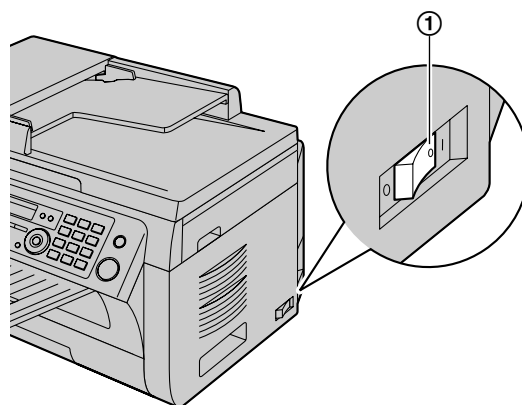
アイコン	電池充電レベル
	すぐに充電してください。 • 待受時には表示部に **“10ジカン　ジュウデンクダサイ”** と表示されます。 • 通話中には、４秒ごとに「ピピッ」と警告音が鳴ります。

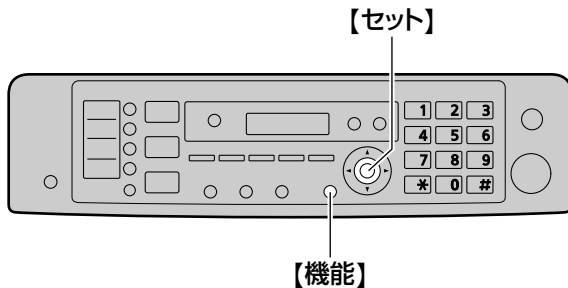
パナソニック製ニッケル水素電池の性能（付属電池）

充電完了後の使用時間のめやす（使用環境温度が20℃のとき）

操作	操作時間
連続通話時間	約５時間 • スピーカーホン通話や電波状態が悪い所で使う場合、連続通話時間は短くなります。
待受時間	約150時間 • 充電台に置かずに一度も通話しないときのめやすです。 • **“[ケンガイ]”** 表示中は短くなります。

2.1.3 親機の電源をオンにする

電源スイッチをオンの位置（①）にします。

2.1.4 ダイヤル切替

電話の発信（66 ページ）またはファクスの送信ができない場合（76 ページ）、ご利用の電話回線サービスに従って、この設定を変更してください。

1 **【機能】**

2 **【♯】【1】【2】【0】**を押して、**“ダイヤル　キリカエ”**を表示する。

3 **【1】**から**【3】**を押して、目的の設定を選択する。
【1】 “10pps”：ダイヤル回線（速度10 pps）を利用の場合。
【2】 “20pps”：ダイヤル回線（速度20 pps）を利用の場合。
【3】 “プッシュ”（初期値）：プッシュ回線を利用の場合。

4 **【セット】**

5 **【機能】**を押して終了する。

2.1.5 操作モードを選択する（スキャン／コピー／ファクス）

次の中から対応するボタンを押すと、目的のモードを選択することができます。

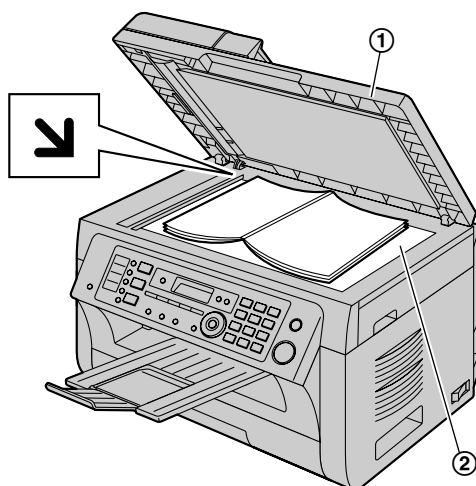
– **【スキャン】**：本機をスキャナーとして使用するときに、このモードを選択します（51 ページ）。
– **【コピー】**：本機をコピー機として使用するときに、このモードを選択します（58 ページ）。
– **【ファクス】**：本機をファクスとして使用するときに、このモードを選択します（76 ページ）。

お知らせ

- 操作モードの初期値はコピーモードです。
- 操作モードの初期値（109 ページの機能#463）と、操作モードの初期値に戻るまでのタイマー（109 ページの機能#464）を変更することができます。

2.2 原稿の要件

2.2.1 原稿をセットする

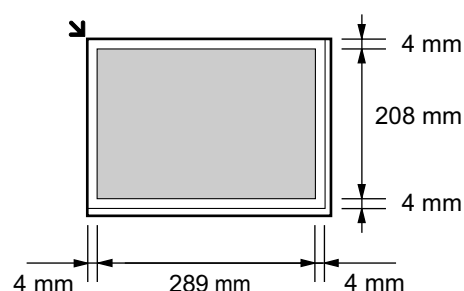
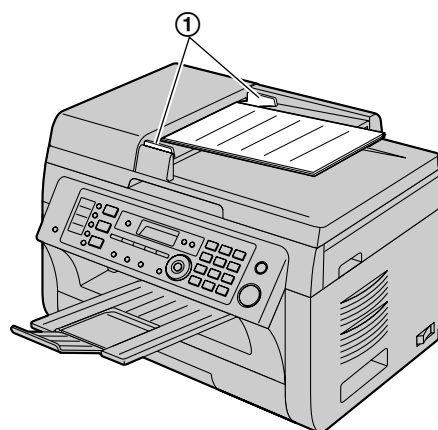
原稿台ガラスの使用

1 ADF（①）を開ける。

2 原稿を下向きにして原稿台ガラス（②）に置き、↘マークに原稿の左上部を合わせる。

3 ADFを閉じる。

お知らせ

- 自動原稿送り装置に原稿がないことを確認してください。
- 原稿は原稿台ガラスに軽く置いてください。強く押さえつけないでください。故障の原因になることがあります。
- 厚い本をセットする場合、ADFは閉じないでください。
- インク、のり、または修正液が付着している場合、完全に乾いていることを確認してください。
- 有効スキャン範囲は次の網掛け範囲です。

有効スキャン範囲

自動原稿送り装置の使用

1 読み取る面を上向きにして、原稿（最大20枚）を自動原稿送り装置に差し込み、ビープ音が1回聞こえる位置まで挿入する。

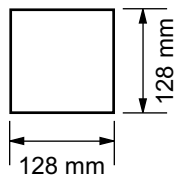
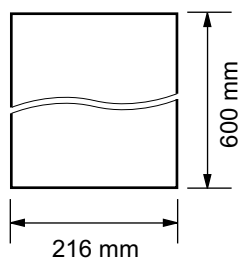
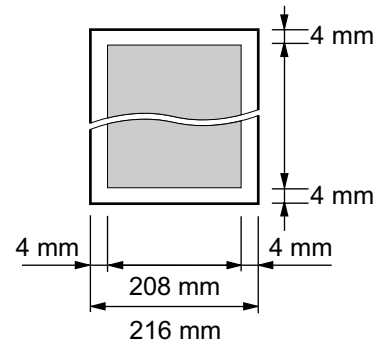
2 原稿ガイド（①）の幅を調整して、原稿の実際のサイズに合わせる。

お知らせ

- 原稿台ガラスに原稿がないことを確認してください。
- インク、のり、または修正液が付着している場合、完全に乾いていることを確認してください。
- クリップ、ホッチキスの針などの留め具は取り外してください。
- 次のタイプの原稿は挿入しないでください（原稿台ガラスを使用して原稿のコピーを作成し、代わりにコピーの方をセットしてください）。
  - 化学処理された紙（カーボン複写紙、ノーカーボン複写紙など）
  - 静電気を帯びた紙

– 激しいカール、折り目、または破れがある紙
– 表面にコーティングが施されている紙
– 裏面が印刷されていて、透けて見える可能性のある用紙（新聞用紙など）

- 原稿を積み重ねたときの厚さは4 mm未満である必要があります。自動原稿送り装置の規定容量を超えると、原稿の落下や紙詰まりの原因になることがあります。
- 幅が128mm未満の原稿をセットする場合、原稿台ガラスを使用してA4またはレターサイズの用紙に原稿のコピーを作成し、コピー原稿の方をセットすることを推奨します。
- サイズおよび重量の要件を満たさない原稿はセットしないでください。原稿台ガラスを使用して原稿のコピーを作成し、コピーの方をセットしてください。
- 利用可能な原稿サイズ、原稿重量および有効スキャン範囲は次のとおりです。

最小原稿サイズ

最大原稿サイズ

有効スキャン範囲

- 網掛け範囲がスキャンされます。
- 本機をスキャナーとして使用する場合（51、56 ページ）、有効なスキャンの長さは選択した用紙サイズごとに異なります。

原稿重量

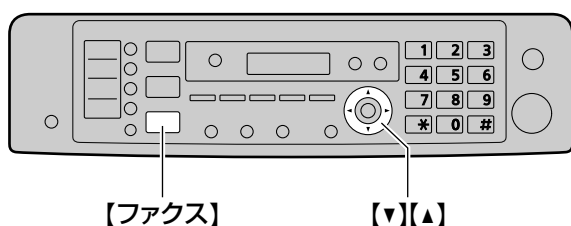
- 1枚：
60 g/m²～75 g/m²
- 複数枚：
60 g/m²～75 g/m²

2.3 音量

2.3.1 音量を調整する

親機

お知らせ

- **音量を調整する前に、操作モードをファクスモードに設定します。【ファクス】ライトが消えている場合、【ファクス】を押して点灯させてください。**

呼び出し音量

本機が使用中でないときに、【▼】または【▲】を押してください。

電話呼び出しをオフにする

【▼】を繰り返し押して、**"ヨビダシオン［キリ］"**を選択します。

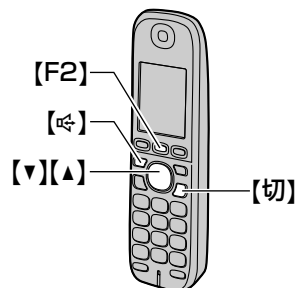
- 外線電話がかかってきた場合、親機の呼び出し音は鳴りません。
  内線の呼び出しの場合、親機の呼び出し音は小音量で鳴ります。
- 呼び出し音をオンに戻すには、【▲】を押してください。

受話音量

ハンドセットの使用中に、【▼】または【▲】を押してください。

モニター音量

モニターの使用中に、【▼】または【▲】を押してください。

子機

呼び出し音量

1 待機中に【▼】または【▲】を繰り返し押して**"ヨビダシ　オンリョウ"**を選択する。

2 【F2】を押す。

3 【▼】または【▲】を押して、音量を調整する。

4 【F2】または【切】

お知らせ

- 呼び出し音量をオフに設定するには、音量を変えるときに最小音量で【▼】を押します。【▲】を押すと解除します。
- 呼び出し音が鳴っているときに【▼】または【▲】を押して、呼び出し音量を調整できます。

子機の受話音量

1 待機中に【▼】または【▲】を繰り返し押して**"ジュワ　オンリョウ"**を選択する。

2 【F2】を押す。

3 【▼】または【▲】を押して、音量を調整する。

4 【F2】または【切】

お知らせ

- 通話中に【▼】または【▲】を押して、受話音量を調整できます。

スピーカー音量

1 待機中に【▼】または【▲】を繰り返し押して**"スピーカー　オンリョウ"**を選択する。

2 【F2】を押す。

3 【▼】または【▲】を押して、音量を調整する。

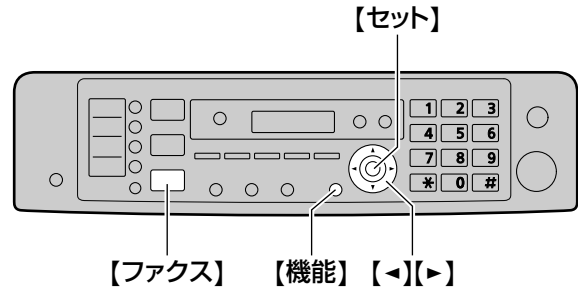
4 【F2】または【切】

お知らせ

- 留守番電話再生中や音声内線呼び出し中に【▼】または【▲】を押して、スピーカー音量を調整できます。
- 【🔈】を押してから調整することもできます。

2.4 最初の機能設定

2.4.1 日付と時刻

日付と時刻を設定することを推奨します。相手先のファクス機は、ヘッダー情報として本機の日付と時刻を受け取ります。

1 【機能】 → 【#】【1】【0】【1】 → 【セット】

2 現在の年／月／日をそれぞれ2桁ずつ選択し入力する。
例：2011年8月3日
【1】【1】【0】【8】【0】【3】

3 現在の時／分をそれぞれ2桁ずつ選択し入力する。
例：10：15 PM（12時間形式）
1. 【1】【0】【1】【5】
2. 【*】を繰り返し押し、“PM”を選択する。

4 【セット】

5 【機能】を押して終了する。

お知らせ

- 現在の日時設定を確認するには、【ファクス】を押して、本機を一時的にファクスモードに変更してください。
- 以下の場合、本機の日時はヘッダー情報として使用されます。
  - Eメールの添付ファイルとして、本機からEメールアドレスに直接送信する場合（スキャンtoEメールアドレス）（53 ページ）。
  - ファクスを送信する場合（76 ページ）。
- 日時が正しく設定されていない場合、相手先に間違った日時のヘッダー情報が送られます。このことにより、相手先に混乱をきたす場合があります。

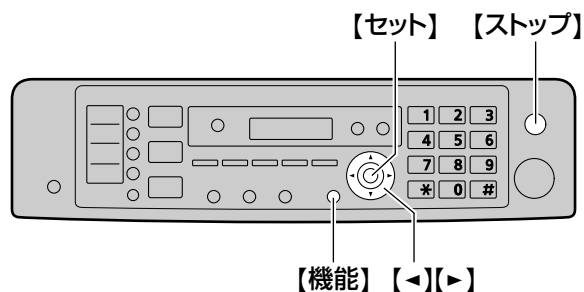
- 時計の誤差は±60秒／月です。

間違いを修正する

【◄】または【►】を押して、間違っている数字までカーソルを動かし、間違いを修正してください。

2.4.2 名前登録

親機での設定

送信する各ページの上部に表示されるように、発信元の情報（名前、会社名など）を登録できます。

1 【機能】 →【#】【1】【0】【2】 →【セット】

2 名前を入力する。30文字まで入力できる（文字入力については138 ページ参照）。→【セット】

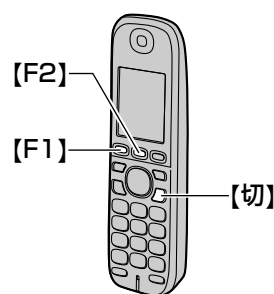
3 【機能】を押して終了する。

間違いを修正する

【◄】または【►】を押して、間違っている文字までカーソルを動かし、間違いを修正してください。

- すべての文字を消去するには、【ストップ】を長押ししてください。

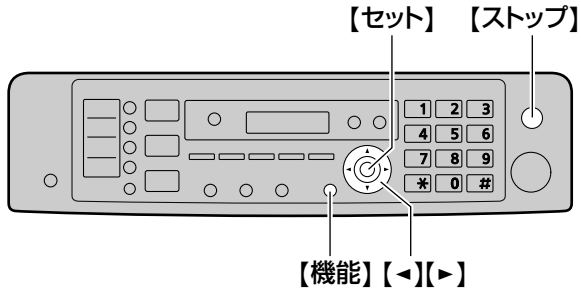
子機での設定

子機の名前を登録すると、登録した子機や、内線電話をかけた相手（子機）のディスプレイに表示されます。

1 【F1】 →【#】【0】【0】【2】

2 名前を入力する（半角12文字まで）。
   - 文字入力については139 ページを参照してください。

3 【F2】 →【切】

2.4.3 ファクス番号登録

送信する各ページの上部に表示されるように、発信元のファクス番号を登録できます。

1 【機能】 → 【#】【1】【0】【3】 → 【セット】

2 ファクス番号を入力する。20桁まで入力可。
- “+”を入力するには、【✱】を押してください。
- スペースを入力するには、【#】を押してください。
- 数字を消去するには、**【ストップ】**を押してください。

3 【セット】

4 【機能】を押して終了する。

間違いを修正する

【◄】または【►】を押して、間違っている数字までカーソルを動かし、間違いを修正してください。
- すべての数字を消去するには、**【ストップ】**を長押ししてください。

2.4.4 LANにアクセスできるように設定する

LANに接続したコンピューターを使用して、プリンター、スキャナー、ファクスおよび留守番電話機能を使用することができます。これらの機能を有効にするには、本機にIPアドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイを設定する必要があります。

お知らせ
- **IPアドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイを設定するときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。**

DHCPサーバーによる自動設定

使用状況

– 1台のみをLANに接続する場合。

ネットワーク管理者がDHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバーでネットワークを管理している場合、IP（インターネットプロトコル）アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイは本機に自動で割り当てられます。

1 本機とコンピューターをLANに接続後、電源スイッチをオンにする。
- IPアドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイは自動的に設定されます。

2 使用するコンピューターにMulti-Function Stationをインストールする。詳細については、36 ページを参照。

お知らせ
- 本機を2台以上接続した場合でも、DHCPサーバーでIPアドレスを自動的に割り当てることはできますが、ネットワークアクセスおよび設定のトラブルを避けるため、各機ごとに静的IPアドレスを手動で割り当てることを推奨します。

手動設定

使用状況

– ネットワーク管理者がネットワークの管理にDHCPサーバーを使用しない場合。

– 2台以上をLANに接続する場合。

IPアドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイを手動で割り当てる必要があります。

1 【機能】

2 【#】【5】【0】【0】を押して、“DHCP　キノウ”を表示する。

3 【0】を押して“ナシ”を選択する。→【セット】

4 各項目を設定する。

IPアドレスの設定

1. 【5】【0】【1】を押して、“IPアドレス”を表示する。→【セット】
2. 本機のIPアドレスを入力する。→【セット】

サブネットマスクの設定

1. 【5】【0】【2】を押して、“サブネット　マスク”を表示する。→【セット】
2. ネットワークのサブネットマスクを入力する。→【セット】

デフォルトゲートウェイの設定

1. 【5】【0】【3】を押して、“ゲートウェイ　アドレス”を表示する。→【セット】
2. ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力する。→【セット】

5 【機能】を押して終了する。

6 使用するコンピューターにMulti-Function Stationをインストールする。詳細については、36 ページを参照。

IPアドレス、サブネットマスク、またはデフォルトゲートウェイの間違いを修正する

【◄】または【►】を押して、間違っている数字までカーソルを動かし、間違いを修正してください。

PCファクス受信のためのコンピューター設定

ファクス受信に使用するコンピューターを選択する必要があります。

お知らせ

- **事前にPCファクス設定が“ジョウジ”または“セツゾク　カノウジ”になっていることを確認してください（116 ページの機能#442）。**
- **見てから印刷機能が“ナシ”になっていることを事前に確認してください（89 ページの機能#448）。**

1 【機能】→【#】【4】【4】【3】→【セット】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のコンピューターを選択する。

- 【►】を押すことにより、選択したコンピューターのIPアドレスを表示できます。

3 【セット】

4 【機能】を押して終了する。

お知らせ

- 本機がLANに接続されていない場合、本機にUSB接続されているコンピューターがPCファクス受信の初期設定コンピューターとして割り当てられます。
- 目的のコンピューターを簡単に選択するには、事前にコンピューター名を変更しておいてください（40 ページ）。

PC音声管理のためのコンピューター設定

音声メッセージを受信するために使用するコンピューターを選択する必要があります。

お知らせ

- **事前にPC音声管理が“ジョウジ”に設定されていることを確認してください（119 ページの機能#365）。**

1 【機能】→【#】【3】【6】【6】→【セット】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的のコンピューターを選択する。

- 【►】を押すことにより、選択したコンピューターのIPアドレスを表示できます。

3 【セット】

4 【機能】を押して終了する。

お知らせ

- 本機がLANに接続されていない場合、本機にUSB接続されているコンピューターがPC音声管理の初期設定コンピューターとして割り当てられます。
- 目的のコンピューターを簡単に選択するには、事前にコンピューター名を変更しておいてください（40 ページ）。

2.4.5 Multi-Function Stationをインストールする

コンピューター動作環境

パナソニックMulti-Function Stationソフトウェアを使用すると、親機で次の機能を利用することができます。

– 普通紙、厚口普通紙、ラベル紙、封筒、およびはがきに印刷する
– 印刷前に原稿をプレビュー表示し、印刷設定を変更する（Easy Print Utility）
– 原稿をスキャンし、OCRソフトウェアでイメージをテキストデータに変換する（別売り）
– TWAINおよびWIA[*1]に対応している、その他のMicrosoft® Windows®用アプリケーションからスキャンする
– コンピューターを使用して電話帳およびEメールアドレス帳の項目を登録、編集、または消去する
– コンピューターを使用して機能設定を行う
– コンピューターを使用してファクス文書を送受信する
– コンピューターで音声メッセージを聞く（PC音声管理）

*1 Windows XP/Windows Vista®/Windows 7、USB接続のみ

コンピューターでMulti-Function Stationを使用するには、次の動作条件を満たす必要があります。

オペレーティングシステム
Windows 2000/Windows XP/Windows Vista/Windows 7

CPU
Windows 2000：Pentium® Ⅱ以上
Windows XP：Pentium Ⅲ以上
Windows Vista/Windows 7：Pentium 4以上

RAM
Windows 2000/Windows XP：128 MB（256 MB以上推奨）
Windows Vista：512 MB（1 GB以上推奨）
Windows 7：1 GB（2 GB以上推奨）

その他のハードウェア
CD-ROMドライブ
ハードディスクドライブ（600 MB以上の空き容量が必要）
USBインターフェース
LANインターフェース（10Base-T/100Base-TX）

その他
Internet Explorer® 5.0以降

重要なお知らせ

- 電磁波放射限度に関する規定を順守するために、次のことをお守りください。
  – 必ずシールドUSBケーブル（例：USB 2.0 Hi-Speed対応ケーブル）を使用してください。
  – 必ずシールドLANケーブル（カテゴリ5（CAT5）イーサネットケーブル）を使用してください。
- 本機の保護のため、激しい雷雨の発生する地域では、必ずシールドUSBケーブルを使用してください。
- コンピューターでEasy Print Utilityを使用するには、次のものが必要です。
  – Windows 2000 Service Pack 4およびWindows 2000用セキュリティ問題の修正プログラム（KB835732）。
  – Easy Print Utilityをインストールする前に、MicrosoftダウンロードセンターからKB835732をインストールしてください。
  – Windows XP Service Pack 2以降。

お知らせ

- USBケーブルは別売りです。Type Aオス／Type BオスのシールドUSBケーブルをご購入ください。

コンピューターへのMulti-Function Stationのインストール

- **本機をUSBケーブルでコンピューターに接続する前に、Multi-Function Station（CD-ROM）をインストールしてください。Multi-Function Stationをインストールする前に本機をUSBケーブルでコンピューターに接続すると、［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログ画面が表示されます。［キャンセル］をクリックしてダイアログ画面を閉じてください。**
- **この説明では、参考用としてWindows XP向けのスクリーンショットが使用されています。**
- **この説明で使用されているスクリーンショットは、実際の製品のものと多少異なる場合があります。**
- **ソフトウェアの機能および外観は予告なく変更されることがあります。**

1 Windowsを起動し、他のすべてのアプリケーションを終了する。

- Multi-Function Stationをインストールするには、管理者としてログインする必要があります。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。

- **[言語の選択]** ダイアログ画面が表示された場合、このソフトウェアで使用する言語を選択します。**[OK]** をクリックします。
- インストールが自動的に開始されない場合：**[スタート]** をクリックします。**[ファイル名を指定して実行...]** を選択します。"**D:¥Install**"（"**D**"がCD-ROMドライブのドライブ文字である場合）と入力します。**[OK]** をクリックします。
(CD-ROMドライブのドライブ文字がわからない場合、Windowsのエクスプローラーを使用してCD-ROMドライブを確認してください。)

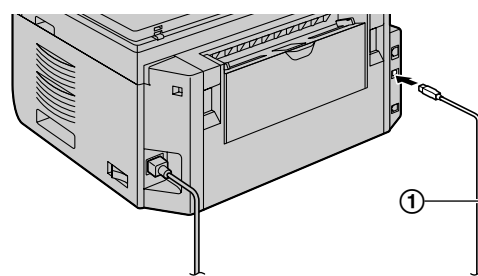
3 **[簡単インストール]**

- インストールが自動的に開始されます。

4 セットアッププログラムが開始されたら、画面の指示に従う。

- Easy Print Utility（49 ページ）およびデバイスモニター（142 ページ）もインストールされます。

5 **[接続タイプ]** ダイアログ画面が表示される。
USB接続の場合

1. **[USBケーブル接続]** → **[次へ]**
   - **[USB接続の情報]** ダイアログ画面が表示されます。
2. **[OK]** にチェックマークを付けて、**[次へ]** をクリックする。
   - **[装置接続]** ダイアログ画面が表示されます。
3. 本機をUSBケーブル（①）でコンピューターに接続し、**[次へ]** をクリックする。

4. **[ハードウェアのインストール]** 画面にて、**[続行]** をクリックする。
   - 本機をコンピューターに接続すると、モデル名が自動的に検出されます。
   - 必要に応じて、本機の名前は変更できます。
5. **[インストール]** をクリックし、画面の指示に従う。
   - ファイルがコンピューターにコピーされます。

LAN接続の場合

1. **[ネットワーク接続(LANインターフェースモデルのみ)]** → **[次へ]**
   - **[ネットワーク接続装置の選択]** ダイアログ画面が表示されます。
2. **[検索結果のリストから選択]** にチェックマークを付けて、リストから本機を選択する。
   - リストに本機の名前が表示されない場合、本機のIPアドレスが既に割り当てられているときには、**[直接入力]** を選択して、IPアドレスを入力してください。
3. **[次へ]**
   - 必要に応じて、本機の名前は変更できます。
4. **[インストール]** をクリックし、画面の指示に従う。
   - ファイルがコンピューターにコピーされます。

重要なお知らせ

Windows XP、Windows Vista、またはWindows 7を使用している場合、本機をUSBケーブルで接続した後にメッセージが表示されることがあります。これは正常な動作であり、このソフトウェアによってコンピューターのオペレーティングシステムに問題が発生することはありません。インストールは問題なく続行することができます。次のようなメッセージが表示されます。

- **Windows XPの場合**
  "このハードウェアを使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XPとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません。"
- **Windows Vista/Windows 7の場合**
  "このデバイスソフトウェアをインストールしますか？"

電子取扱説明書を表示またはインストールする

1 Windowsを起動し、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。

2 **[取扱説明書]** をクリックし、画面の指示に従ってPDF形式の電子取扱説明書を表示またはインストールする。

- 電子取扱説明書を表示するには、Adobe® Reader®が必要です。

お知らせ

- 電子取扱説明書をインストールすると、Multi-Function Stationランチャーの **[?]** をクリックするだけで、いつでも電子取扱説明書を表示できます。

コンピューターで別のプリンターを使用する

次の手順に従って、プリンターごとにプリンタードライバーを追加する必要があります。

1 Windowsを起動し、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。

2 **[変更]** → **[Multi-Function Station ドライバーの追加]**。画面の指示に従う。

お知らせ

- 1つのコンピューターに本機を同時に2台以上USBで接続することはできません。

ソフトウェアを変更する（各コンポーネントの追加またはアンインストール）

インストール後は、インストールまたはアンインストールするコンポーネントを随時選択できます。
Multi-Function Stationを変更するには、管理者としてログインする必要があります。

1 Windowsを起動し、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。

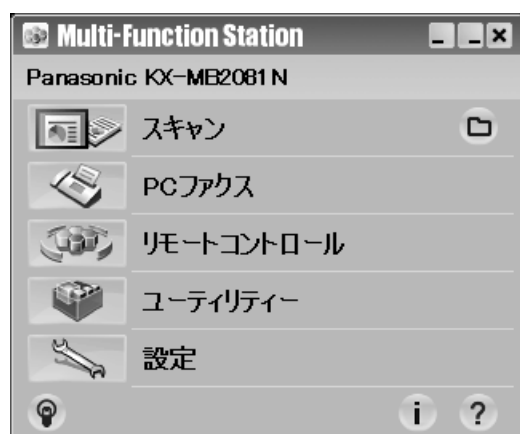
2 **[変更]** → **[アプリケーションの変更]**。画面の指示に従う。

ソフトウェアをアンインストールする

Multi-Function Stationをアンインストールするには、管理者としてログインする必要があります。
[スタート] → **[すべてのプログラム]** または **[プログラム]** → **[Panasonic]** → 本機の名前 → **[アンインストール]**。画面の指示に従ってください。

2.4.6 Multi-Function Stationを起動する

[スタート] → **[すべてのプログラム]**または**[プログラム]** → **[Panasonic]** → 本機の名前 → **[Multi-Function Station]**

- Multi-Function Stationが表示されます。

[スキャン] (56 ページ)

- スキャンし、スキャンしたイメージを表示します。
- スキャンし、イメージファイルを作成します。
- スキャンし、Eメールで送信します。
- スキャンし、OCRソフト(別売り)を使用してイメージを編集可能なテキストデータに変換します。

[PCファクス]

- コンピューターで作成した原稿をファクスメッセージとして送信します(81 ページ)。
- コンピューターで受信したファクス文書を表示します(88 ページ)。

[リモートコントロール] (141 ページ)

- 機能設定を行います。
- 親機の電話帳およびEメールアドレス帳にある項目を登録、編集、または消去します。
- 通信履歴レポートまたは着信メモリーリストの項目を表示します。
- 発信者情報を親機の電話帳に登録します。
- 同報送信の項目を登録または消去します。
- CSV形式(カンマ区切りのテキストファイル)による電話帳およびEメールアドレス帳のインポートまたはエクスポートを行います。

[ユーティリティー]

- クイックイメージナビゲーターを起動します(56 ページ)。
- PC音声管理アプリケーションを起動します(98 ページ)。
- デバイスモニターを起動します(142 ページ)。
- OCRアプリケーションを起動します(52 ページ)。**[OCR設定]**が事前に設定されている必要があります。
- 設定用のWebページを開きます(103、142 ページ)(LAN接続のみ)。

[設定] (39 ページ)

- 一般設定を変更します。
- スキャン設定を変更します。

[?]

- Multi-Function Stationの詳しい使い方を表示します。
- 電子取扱説明書を表示します。

[💡]

- 使い方のヒントを表示します。

[i]

- Multi-Function Stationに関する情報を表示します。

お知らせ

- デバイスモニターを使用すると、本機がコンピューターに接続されているか確認できます(142 ページ)。
- 次の状況では、コンピューターの機能(印刷、スキャンなど)が正しく実行されないことがあります。
  - 本機をユーザーの自作コンピューターに接続している場合。
  - 本機をPCIカードまたはその他の拡張カード経由でコンピューターに接続している場合。
  - 本機を別のハードウェア(USBハブやインターフェースアダプターなど)に接続し、コンピューターに直接接続していない場合。

設定を変更する

事前にMulti-Function Stationの設定を変更できます。

1 Multi-Function Stationから**[設定]**を選択する。

2 目的のタブをクリックし、設定を変更する。→ **[OK]**

[全般]
- **[ランチャー表示設定]**：ランチャーの表示タイプを選択します。
- **[OCR設定]**：OCRソフトウェアを選択します。(別売り)
- **[PC名を装置に表示]**（LAN接続のみ）：親機にコンピューター名を表示するかどうかを選択します。
- **[PC名]**（LAN接続のみ）：親機に表示されるコンピューター名。

[スキャン]
- **[保存先]**：スキャンしたイメージの保存先フォルダーを選択します。
- **[ビューアー]**[**ファイル]**[**Eメール]**[**OCR]**[**カスタム]**：Multi-Functionスキャンアプリケーションのスキャン設定を変更します。

<u>お知らせ</u>
- エラーを避けるため、**[PC名]**には一意の名前を割り当ててください。名前が重複していると、スキャンしたイメージが間違ったコンピューターに送信されることがあります。

初期設定のEメールソフトウェアを選択する

52 ページ「スキャンtoEメール」を使用する場合、初期設定のEメールソフトウェアが使用されます。
次の手順に従うと、初期設定のEメールソフトウェアを選択できます。

Windows 2000の場合

1 **[スタート]** → **[設定]** → **[コントロール パネル]** → **[インターネット オプション]** → **[プログラム]** → **[電子メール]**

2 目的のMAPI対応Eメールソフトウェア（**[Outlook Express]**など）を選択する。→ **[OK]**

Windows XPの場合

1 **[スタート]** → **[コントロール パネル]** → **[インターネット オプション]** → **[プログラム]** → **[電子メール]**

2 目的のMAPI対応Eメールソフトウェア（**[Outlook Express]**など）を選択する。→ **[OK]**

Windows Vistaの場合

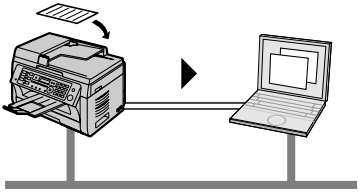
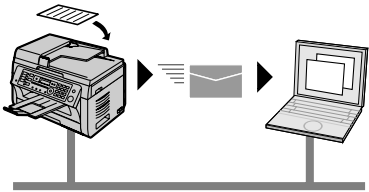
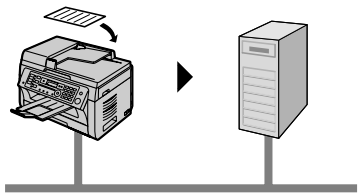
1 **[スタート]** → **[コントロール パネル]** → **[インターネット オプション]** → **[プログラム]** → **[プログラムの設定]** → **[プログラムのアクセスとコンピューターの既定の設定]**
- **[ユーザー アカウントの制御]**ダイアログ画面が表示された場合、**[続行]**をクリックしてください。

2 **[カスタム]**

3 目的のMAPI対応Eメールソフトウェア（**[Windows メール]**など）を**[既定の電子メールプログラムを選択してください]**から選択する。→ **[OK]**

Windows 7の場合

1 **[スタート]** → **[コントロール パネル]** → **[ネットワークとインターネット]** → **[インターネット オプション]** → **[プログラム]** → **[プログラムの設定]** → **[プログラムのアクセスとコンピューターの既定の設定]**

2 **[カスタム]**

3 目的のMAPI対応Eメールソフトウェアを**[既定の電子メールプログラムを選択してください]**から選択する。→ **[OK]**

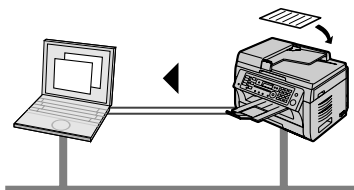
2.5 早見表

2.5.1 環境に合わせて製品を使う

コンピューターやネットワークに接続すると、スキャンやファクス、音声メッセージの録音や再生で便利な機能を使うことができます。

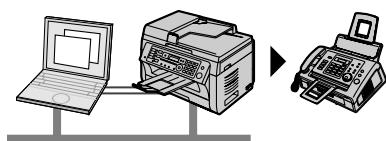
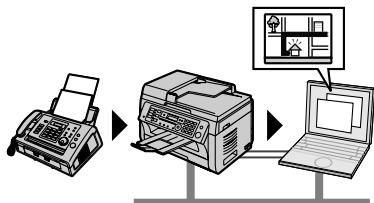
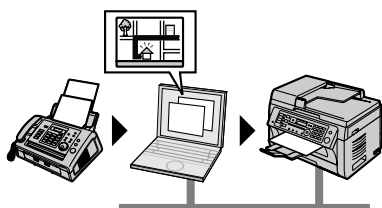
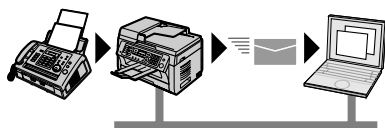
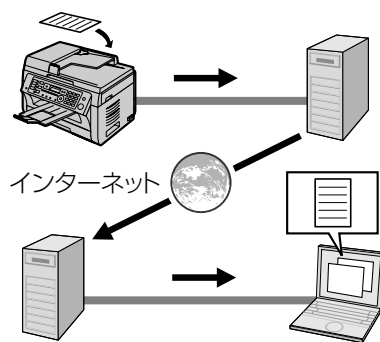
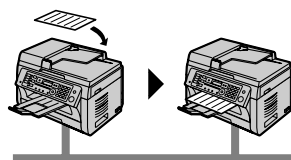
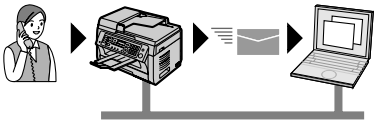
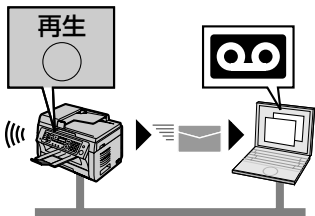
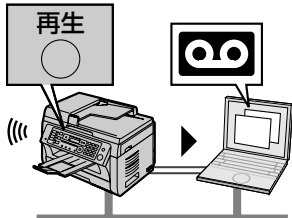
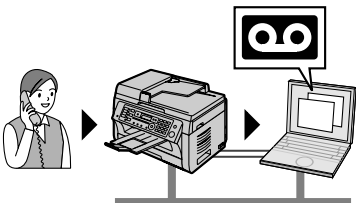
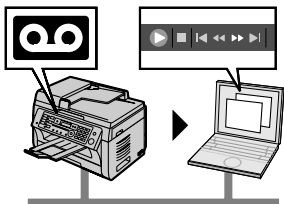
スキャン機能一覧

プッシュスキャン	
本機よりスキャンして、接続しているコンピューターに転送する	ビューアーで表示する（スキャンtoビューアー）（51 ページ）
	ファイルとしてコンピューターに保存する（スキャンtoファイル）（51 ページ）
	Eメールの添付ファイルにする（スキャンtoEメール）（52 ページ）
	OCRソフトウェアを使用する（スキャンtoOCR）（52 ページ）
本機よりスキャンして、指定のEメールアドレスに送付する（スキャンtoEメールアドレス）（LAN接続が必要です。） 	スキャンしたイメージを、Eメールソフトウェアを使用せずにEメールの添付ファイルとして直接送信することができます（53 ページ）。 **お知らせ** • 事前に以下の設定が必要です。 – Eメールサーバー情報の設定（128 ページ） – Eメールアドレスの登録（129 ページ）
本機よりスキャンして、ネットワーク上のフォルダーに送信する（LAN接続が必要です。） 	**FTPサーバーに送信する（スキャンtoFTPサーバー）** スキャンしたイメージをFTPサーバーのフォルダーに送信することができます（54 ページ）。 **お知らせ** • 事前に以下の設定が必要です。 – FTPサーバー情報の設定（123 ページ）
	SMBフォルダー（共有フォルダー）に送信する（スキャンtoSMBフォルダー） スキャンしたイメージをLAN上の共有フォルダーに送信することができます（55 ページ）。 **お知らせ** • 事前に以下の設定が必要です。 – SMBフォルダー設定（123 ページ）

プルスキャン	
コンピューターよりファイルを指定してスキャンする 	詳細については、56 ページ「4.1.2 コンピューターからスキャンする（プルスキャン）」を参照してください。

LAN

USB

ファクス機能一覧

ファクス送信	
コンピューターで作成した文書をファクスメッセージとして送信する（PCファクス送信） 	コンピューターでファクス文書を送信することができます。詳細については81 ページ「8.1.4 コンピューターファイルをファクスメッセージとしてコンピューターから送信する」を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="2">ファクス受信</th></tr>
<tr><td>受信したファクスをコンピューターに送信する（PCファクス受信）
</td><td>コンピューターでファクス文書を受信することができます（88 ページ）。
• 本機からは印字されません。
• 受信したファクスのデータは本機からは削除されます。
<u>お知らせ</u>
• 事前に以下の設定が必要です。
– 見てから印刷機能を“ナシ”にする（89 ページの機能#448）
– PCファクス設定機能 を“ジョウジ”または“セツゾク　カノウジ”に設定する（116 ページの機能#442）
– 受信するコンピューターを選択する（35 ページの機能#443）</td></tr>
<tr><td>印刷する前にコンピューター画面で確認する（Web見てから印刷）（LAN接続が必要です。）
</td><td>受信したファクス文書をWebブラウザーで表示し、イメージを確認した後に、必要な文書を印刷または保存することができます（89 ページ）。
• 受信したファクスのデータは本機からは削除されません。
• 受信したファクス文書は、内容を見るか印刷したあと、できるだけ早く消去してください（89 ページ）。
• メモリーがいっぱいになっていると、ファクスは受信できません。
<u>お知らせ</u>
• 事前に以下の設定が必要です。
– 見てから印刷機能を“アリ”にする（89 ページの機能#448）
– アクセスコードを登録する（89 ページの機能#450）
• ファクス受信の通知（116 ページの機能#451）を有効にすることを推奨します。受信したファクスでメモリーがいっぱいになると、選択されているコンピューターが通知を受信します。</td></tr>
</table>

受信したファクスを自動的にEメールアドレスに転送する（ファクス自動Eメール転送）（LAN接続が必要です。） 	受信したファクスをあらかじめ設定したEメールアドレスに自動で転送することができます（ファクス自動Eメール転送機能）。外出先から受信したファクスを閲覧することができます（141 ページ）。 • 受信したファクスのデータは本機からは削除されません。 **お知らせ** • 事前に以下の設定が必要です。 – 留守電／ファクスモード（84 ページ）またはファクス専用モード（85 ページ）を有効にする – ファクス自動Eメール転送機能を **“アリ”** にする（116 ページの機能#452） – Eメールサーバー情報の設定（128 ページ） – Eメールアドレスの登録（129 ページ） – ファクス自動Eメール転送の宛先設定（118 ページ） • PCファクスを有効にし、コンピューターをオンのままにすることを推奨します。本機の用紙切れ／メモリー残量不足などを防止できます。詳細については、141 ページを参照してください。

インターネットファクス	
原稿をインターネットファクスとして送信する（LAN接続が必要です。） ①Eメールサーバー経由 ②ダイレクトSMTP 	**① Eメールサーバー経由で送信する** 原稿をEメールの添付ファイルとしてインターネットファクスで送信することができます（90 ページ）。 **お知らせ** • 事前に以下の設定が必要です。 – Eメールサーバー情報の設定（128 ページ） – Eメールアドレスの登録（推奨）（129 ページ） **② インターネットファクス対応機に直接送信する（ダイレクトSMTP）** 送信する相手がインターネットファクス対応機の場合、Eメールサーバーを経由せずに直接相手機に送信することができます（90 ページ）。 **お知らせ** • 事前に以下の設定が必要です。 – ダイレクトSMTP送信設定を **“アリ”** にする（114 ページの機能#425） – Eメールサーバー情報の設定（128 ページ）で、送信元アドレスを設定する。 – Eメールアドレスなどの登録（129 ページ）

LAN

USB

録音メッセージの転送・再生機能一覧

録音メッセージ転送	
録音された留守番電話メッセージを自動的にEメールアドレスに転送する（音声自動Eメール転送）（LAN接続が必要です。）	 外部から録音された留守番電話メッセージをあらかじめ設定したEメールアドレスに自動で転送することができます（音声自動Eメール転送）。外出先から留守番電話メッセージを聞くことができます（141 ページ）。 • 録音された留守番電話メッセージのデータは本機からは削除されません。 • 伝言録音（94 ページ）および通話録音（94 ページ）は転送されません。 **お知らせ** • 事前に以下の設定が必要です。 – 留守電／ファクスモードを有効にする（84 ページ） – 音声自動Eメール転送機能を **“アリ”** にする（120 ページの機能#369） – Eメールサーバー情報の設定（128 ページ） – Eメールアドレスの登録（129 ページ） – 音声自動Eメール転送の宛先設定（120 ページ） • PC音声管理を有効にし、コンピューターをオンのままにすることを推奨します。本機のメモリー残量不足などを防止できます。詳細については、141 ページを参照してください。
録音されたメッセージをEメールアドレスに転送する（ボイスtoEメールアドレス）（LAN接続が必要です。） 	録音されたメッセージを本機で再生した後に、音声ファイルとしてEメールに添付し、あらかじめ設定したEメールアドレスに直接送信することができます（96 ページ）。 • 留守番電話メッセージだけでなく、伝言録音（94 ページ）および通話録音（94 ページ）も送付することができます。 **お知らせ** • 事前に以下の設定が必要です。 – Eメールサーバー情報の設定（128 ページ） – Eメールアドレスの登録（129 ページ）
録音されたメッセージをコンピューターに転送する（ボイスtoPC） 	録音されたメッセージを本機で再生した後に、音声ファイルとしてコンピューターに転送することができます（97 ページ）。 • 留守番電話メッセージだけでなく、伝言録音（94 ページ）および通話録音（94 ページ）も転送することができます。

<table>
<tr><th colspan="2">録音メッセージ再生</th></tr>
<tr><td>録音された留守番電話メッセージをコンピューターで受信し、再生する（PC音声管理）
</td><td>外部から録音された留守番電話メッセージをコンピューターで受信し、再生することができます（98 ページ）。
• 録音された留守番電話メッセージのデータは本機からは削除されます。
• 伝言録音（94 ページ）および通話録音（94 ページ）は転送されません。
<u>お知らせ</u>
• 事前に以下の設定が必要です。
– 留守電／ファクスモードを有効にする（84 ページ）
– Web音声管理設定を“ナシ”にする（99 ページの機能#367）
– PC音声管理を“ジョウジ”に設定する（119 ページの機能#365）
– 受信するコンピューターを選択する（35 ページの機能#366）</td></tr>
<tr><td>コンピューター画面で、録音されたメッセージを再生する（Web音声管理機能）（LAN接続が必要です。）
</td><td>録音されたメッセージをWebブラウザー上で再生することができます（99 ページ）。
• 録音された音声メッセージのデータは本機からは削除されません。
• 伝言録音（94 ページ）および通話録音（94 ページ）も再生することができます。
<u>お知らせ</u>
• 事前に以下の設定が必要です。
– Web音声管理設定を“アリ”にする（99 ページの機能#367）
– アクセスコードを登録する（99 ページの機能#368）</td></tr>
</table>

LAN

USB

3.1 プリンター

3.1.1 Windowsアプリケーションから印刷する

Windowsアプリケーションで作成したファイルを印刷できます。たとえば、ワードパッドから印刷するには、次の手順に従います。

1 印刷するドキュメントを開く。

2 **[ファイル]** メニューから **[印刷...]** を選択する。

- **[印刷]** ダイアログ画面が表示されます。
  [印刷] ダイアログ画面の詳細については、**[?]** をクリックし、目的の項目をクリックしてください。

3 プリンター一覧から本機の名前を選択する。

- インストールのときに本機の名前を変更した場合、リストからその名前を選択してください。
- プリンター設定を変更するには、次の手順に従ってください。
  Windows 2000の場合
  目的のタブをクリックして、プリンター設定を変更します。
  Windows XP/Windows Vista/Windows 7の場合
  [詳細設定] をクリックして、目的のタブをクリックします。プリンター設定を変更して、**[OK]** をクリックします。

4 **[印刷]** をクリックする。

- 印刷を開始します。

お知らせ

- 親機からの印刷を中止する方法については、143 ページを参照してください。
- 用紙のセット方法については、20、22 ページを参照してください。
- 用紙の仕様については、179 ページを参照してください。
- 印刷時にエラーが発生した場合、デバイスモニター（142 ページ）が自動的に起動し、エラー情報を表示します。

プリンタープロパティの設定

プリンター設定をステップ3で変更できます。用紙を大量に購入する前に、本機で用紙（サイズやタイプが特殊な用紙は特に）のテスト印刷を行うことを推奨します。
設定は次のタブで変更または表示できます。
[基本]：原稿サイズ、用紙の種類、用紙1枚に印刷するページ数など。
[出力]：印刷枚数、部単位など。
[品質]：印刷品質、コントラスト、トナーセーブ機能など。
[効果]：ウォーターマーク、オーバーレイ。
[プロファイル]：好みの設定の保存、保存した設定の選択など。
[サポート]：バージョン情報およびサポートページの情報。

お知らせ

- 用紙に応じて、**[基本]** タブで目的の用紙の種類を選択してください。

使用する用紙のタイプ	用紙の種類
厚口普通紙 75 g/m²～90 g/m²	**[厚口普通紙]**
普通紙 64 g/m²～75 g/m²	**[普通紙]**
ラベル紙	**[ラベル紙]**
封筒	**[封筒]** *1
はがき	**[はがき]** *2

*1 原稿サイズで **[封筒 長形3号]**、**[封筒 長形4号]**、**[封筒 洋形4号]**、**[封筒 DL]** または **[封筒 COM-10]** を選択してください。封筒にきれいに印刷するには、上下左右の余白を10 mm以上に設定してください。
*2 原稿サイズで **[はがき]** を選択してください。

- コンピューターから印刷する場合、プリンタープロパティ設定が優先され、本機の次の機能設定が無効になります。

– 用紙種類設定（108 ページの機能#383および#384）
– トナーセーブ設定（109 ページの機能#482）

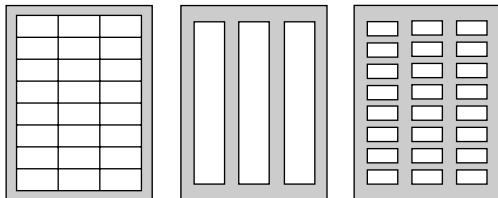
特殊用紙への印刷

本機では、普通紙だけでなく特殊用紙（ラベル紙／封筒／はがき）にも印刷することができます。

- 用紙については179 ページを参照してください。
- 印刷は手差しトレイで行ってください。用紙のセット方法については22 ページを参照してください。

ラベル紙に印刷する

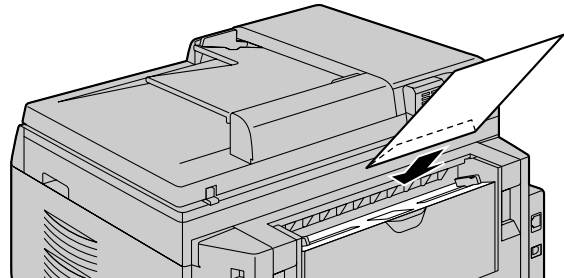
レーザープリンター用のラベル紙を使用してください。次のタイプを推奨します。
Avery®
5160/5161/5162/5163/5164/5165/5167/5168
XEROX®
LWH100/LWH110/LWH120/LWH130/LWH140

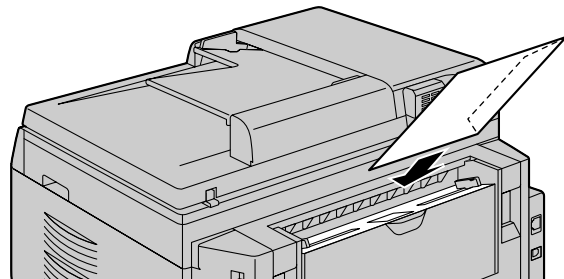
- **印刷する面を下向きにし、一度に一枚ずつラベル紙をセットしてください。**
- **ラベル紙に印刷が終了するたびに、印刷済みのラベル紙を取り除いてください。**
- 次のタイプのラベル紙は使用しないでください。
  – しわまたは傷のあるラベル紙、および裏紙からはがれているラベル紙。
  – 一部のラベルがはぎ取られて、隙間がある用紙。
  – 次のように、裏紙を完全に覆っていないラベル紙。

封筒に印刷する

封筒は宛名面（貼り合わせのない面）を下にしてセットしてください。
裏面を下にしてセットしないでください。また、必ず封筒の**ふたを閉じてから**セットしてください。封筒の種類は、次のタイプを推奨します。

– 用紙重量90 g/m²～110 g/m²の高品質封筒
– 縁が薄く、しっかりと折り目が付いている封筒
– レーザープリンター専用の封筒

封筒 長形3号／長形4号

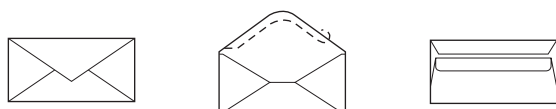
- 手差しトレイに表示された封筒のイラスト方向にセットしてください。

封筒 洋形4号

- 脇側に貼り合わせのある封筒を使用してください。
- 手差しトレイに表示された封筒のイラスト方向にセットしてください。

お知らせ

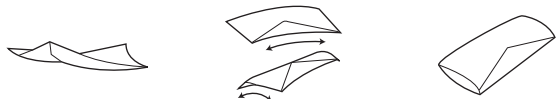
- 高品質の封筒を使用した場合でも、しわや波打ちが発生することがあります。
- 湿度が高いときは、印刷を避けてください。湿度が高いと、封筒がカールしたり、ふたが密着することがあります。
- 封筒は水気や湿気のない場所に、縁が曲がったり、傷ついたりしない状態で平らに保管してください。

次のいずれかに該当する封筒は使用しないでください（使用すると、紙詰まりの原因になることがあります）。

- 不規則な形の封筒
- 湿った封筒

- カール、しわ、傷、ねじれ、または耳折れなどがある封筒
- 斜めの合わせ目になっている封筒
- 表面にざらつきがある封筒、または表面に光沢のある封筒
- はく離紙をはがすだけで封がされる封筒
- ふたが2枚以上ある封筒
- 糊付け部がベタついている封筒
- 縁にしっかり折り目が付いていない封筒
- 凹凸のある封筒
- 以前に印刷された封筒
- 綿または繊維素材が含まれている封筒

斜めの合わせ目

はく離紙付き

複数のふた

ねじれ

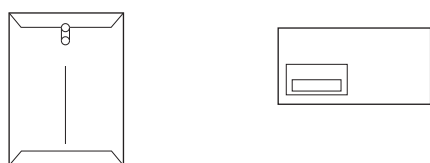
カール

端の曲がり

波打ち

耳折れ

次のいずれかに該当する封筒には印刷しないでください（本機が損傷するおそれがあります）。

- 玉付き封筒、または締め具や留め金の付いた封筒
- 透明窓付き封筒
- 封入タイプの糊があり、圧力のみ（水なし）で封ができる封筒

玉付き封筒

透明窓付き封筒

はがきに印刷する

- 通常はがきを使用してください。
- インクジェットプリンター専用のはがきは使用しないでください。
- はがきをセットするときは、切手マークと郵便番号欄の位置を確認してください。

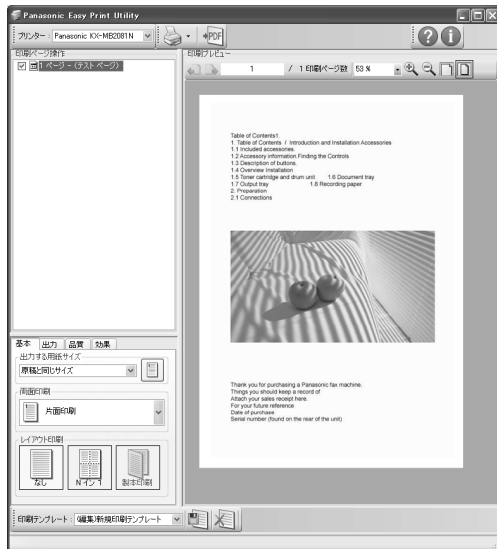
3.1.2 Easy Print Utility

プリンタードライバーの代わりにパナソニックEasy Print Utilityを使用して印刷すると、実用的な印刷機能を便利に使用することができます。

– コンピューターの画面にプレビュー表示することで、不要な印刷を減らせます。
– 複数のドキュメントを結合できます。
– ファイルをPDF形式で保存できます。

たとえば、ワードパッドから印刷するには、次の手順に従います。

1. 印刷するドキュメントを開く。
2. **［ファイル］**メニューから**［印刷...］**を選択する。
3. プリンター一覧から**［Panasonic Easy Print Driver］**を選択する。
4. **［印刷］**をクリックする。
   - **［Panasonic Easy Print Utility］**ダイアログ画面が表示されます。Easy Print Utilityの詳細については、**［?］**をクリックし、ヘルプを参照してください。

5 **［印刷ページ操作］**ウィンドウ（左欄のリスト）で目的のページをクリックして、印刷イメージを表示する。

- プリンター設定を変更する方法については、50 ページを参照してください。
- 別々のアプリケーションで作成された複数のドキュメントを結合する方法については、50 ページを参照してください。
- ファイルをPDF形式で保存する方法については、50 ページを参照してください。
- 事前に元のアプリケーションで印刷枚数を設定した場合でも、Easy Print Utilityで再設定が必要になることがあります。

6 印刷ツールバーの**［印刷］**アイコンをクリックする。
- 印刷を開始します。

エコ印刷機能

さまざまな印刷機能を使用し、テスト印刷なしに印刷イメージをプレビュー表示できます。

プリンター設定

ステップ5で、次のタブの設定を変更または表示できます。
［基本］：出力する用紙サイズ、レイアウト印刷
［出力］：印刷部数、給紙方法、用紙の種類
［品質］：カラーモード、トナーセーブ
［効果］：ヘッダー、ウォーターマーク、フッター

複数のドキュメントの結合

別々のアプリケーションで作成された複数のページを表示して、1つのドキュメントとして扱うことができます。

1 「3.1.2 Easy Print Utility」のステップ1～4を実行する。

2 Easy Print Utilityに統合したい別のドキュメントを開く。

3 **［ファイル］**メニューから**［印刷...］**を選択する。
- **［印刷］**ダイアログ画面が表示されます。

4 プリンター一覧から**［Panasonic Easy Print Driver］**を選択する。

5 **［印刷］**をクリックする。
- 印刷プレビューウィンドウで、前のドキュメントの最終ページの後に現在のドキュメントが追加されます。

6 ステップ2～5を繰り返す。

7 必要に応じて、プリンター設定を変更する（50 ページ）。

8 印刷ツールバーの**［印刷］**アイコンをクリックする。

お知らせ
- **［印刷ページ操作］**ウィンドウには、ドキュメントを最大で999ページ表示できます。

PDF形式でのファイルの保存

プレビュー表示されているファイルは、印刷の代わりに、PDF形式で保存することができます。

1 「3.1.2 Easy Print Utility」のステップ1～4を実行する。

2 印刷ツールバーの**［PDFの保存］**アイコンをクリックする。
- **［名前を付けて保存］**ダイアログ画面が表示されます。

3 保存先のフォルダーを指定して、ファイル名を入力し、**［保存］**をクリックする。PDFファイルが作成および保存される間、**［PDFの保存］**ダイアログ画面が表示される。

お知らせ
- Easy Print Utilityで作成されるPDFファイルはイメージ形式です。

4.1 スキャナー

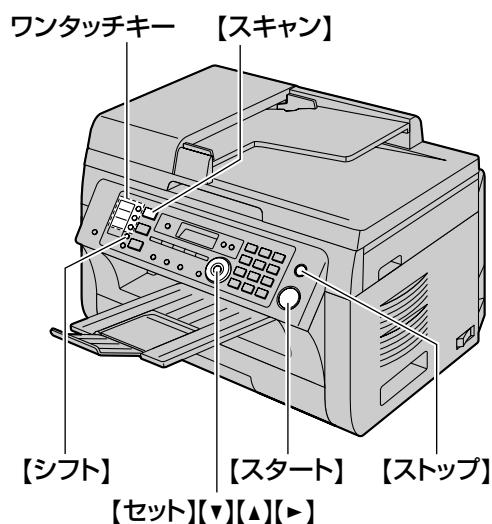
4.1.1 親機からスキャンする（プッシュスキャン）

親機の操作パネルを使用すると、原稿を簡単にスキャンできます。スキャンモードの中から、スキャン後のイメージの用途に適したモードを選択することができます。

お知らせ

- **41 ページ「スキャン機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

お知らせ

- 前のスキャン設定を保持できます（122 ページの機能#494）。
- プッシュスキャン用に目的のスキャンモードを事前に設定しておくことができます（122 ページの機能#493）。
- 原稿をスキャンする場合、自動原稿送り装置よりも原稿台ガラスを使用した方が良い結果が得られます。
- 自動原稿送り装置を使用して原稿をスキャンしているときには、ADFを開けないでください。

スキャンtoビューアー

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 **【スキャン】**

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"ビューアー"** を選択する。→ **【セット】**

4 **USB接続の場合**
【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"USB セツゾク"** を選択する。→ **【セット】**
LAN接続の場合
【▼】または【▲】を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先となるコンピューターを選択する。→ **【セット】**

5 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【►】を押し、【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択する。→ **【セット】**

- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてTIFFまたはPDFを選択してください。

6 **原稿台ガラスを使用する場合**
【スタート】 → 本機が1ページ目の原稿をスキャンする。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、**【スタート】**を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【スタート】

- スキャン後、スキャンされたイメージが[Quick Image Navigator]ウィンドウに表示されます。

7 スキャン終了後、**【ストップ】**を押して、ステップ5で行った設定をリセットする。

お知らせ

- スキャンを中止する方法については、143 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、PNG、BMP、またはPDF形式で保存できます。
- スキャンされたイメージは、**[設定]**ウィンドウ（39 ページ）で選択したフォルダーに自動的に保存されます。

スキャンtoファイル

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 **【スキャン】**

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“ファイル”**を選択する。→ **【セット】**

4 **USB接続の場合**
【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“USB セツゾク”**を選択する。→ **【セット】**
LAN接続の場合
【▼】または【▲】を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先となるコンピューターを選択する。→ **【セット】**

5 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【►】を押し、【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択する。→ **【セット】**
- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてTIFFまたはPDFを選択してください。

6 **原稿台ガラスを使用する場合**
【スタート】 → 本機が1ページ目の原稿をスキャンする。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、**【スタート】**を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【スタート】
- スキャンされたイメージは、**[設定]** ウィンドウで選択したフォルダーに自動的に保存されます。フォルダーを変更する方法については、39 ページを参照してください。

7 スキャン終了後、**【ストップ】**を押して、ステップ5で行った設定をリセットする。

お知らせ
- スキャンを中止する方法については、143 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、BMP、またはPDF形式で保存できます。

スキャンtoEメール

スキャンしたイメージを、Eメールの添付ファイルにすることができます。

1 原稿をセットする（29 ページ)。

2 **【スキャン】**

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“Eメール”**を選択する。→ **【セット】**

4 **USB接続の場合**
【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“USB セツゾク”**を選択する。→ **【セット】**
LAN接続の場合
【▼】または【▲】を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先となるコンピューターを選択する。→ **【セット】**

5 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【►】を押し、【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択する。→ **【セット】**
- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてTIFFまたはPDFを選択してください。

6 **原稿台ガラスを使用する場合**
【スタート】 → 本機が1ページ目の原稿をスキャンする。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、**【スタート】**を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【スタート】
- Eメールソフトウェアが自動的に起動し、スキャンされたイメージが新規のEメールメッセージに添付されます。

7 スキャン終了後、**【ストップ】**を押して、ステップ5で行った設定をリセットする。

お知らせ
- 初期設定のEメールソフトウェアを選択する方法については、40 ページを参照してください。
- スキャンを中止する方法については、143 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、またはPDF形式で保存できます。
- スキャンされたイメージは、**[設定]** ウィンドウ（39 ページ）で選択したフォルダーに自動的に保存されます。

スキャンtoOCR

OCRソフトウェアを使用すると、イメージをテキストデータに変換できます。テキストデータはワープロソフトなどで編集できます。

お役立ちヒント：
OCRソフトウェアは別売りです。目的の第三者OCRソフトウェアをインストールして、OCRソフトウェアのパスを事前に指定してください。パスを指定するには、下記に従ってください。
Multi-Function Stationを起動する。 →**［設定］**→ **［OCR設定］**フィールドにOCRプログラムファイル（.exe)のパスを指定する。 → **［OK］**
- **第三者OCRソフトウェアの動作は、保証いたしかねます。**

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 **【スキャン】**

3 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、**“OCR”**を選択する。→ **【セット】**

4 **USB接続の場合**
【▼】または**【▲】**を繰り返し押して、**“USB セツゾク”**を選択する。→ **【セット】**
LAN接続の場合
【▼】または**【▲】**を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先となるコンピューターを選択する。→ **【セット】**

5 必要に応じて、スキャン設定を変更する。**【►】**を押し、**【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して目的の設定を選択する。→ **【セット】**
- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてTIFFを選択してください。

6 **原稿台ガラスを使用する場合**
【スタート】 → 本機が1ページ目の原稿をスキャンする。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、**【スタート】**を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【スタート】
- スキャン後、スキャンされたイメージがOCRウィンドウに表示されます。

7 スキャン終了後、**【ストップ】**を押して、ステップ5で行った設定をリセットする。

お知らせ
- スキャンを中止する方法については、143 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、またはBMP形式で保存できます。
- スキャンされたイメージは、**［設定］**ウィンドウ（39 ページ）で選択したフォルダーに自動的に保存されます。

スキャンtoEメールアドレス（LAN接続のみ）

スキャンしたイメージを、Eメールソフトウェアを使用せずにEメールの添付ファイルとして送信することができます。

お知らせ
- **41 ページ「スキャン機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 **【スキャン】**

3 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、**“Eメールアドレス”**を選択する。→ **【セット】**

4 Eメールアドレスを入力する。
ワンタッチ1～3を使用する場合
目的のワンタッチキーを押す。
ワンタッチ4～6を使用する場合
【シフト】を押し、目的のワンタッチキーを押す。
ナビゲーターキーを使用する場合
【▼】または**【▲】**を繰り返し押して、目的の宛先を選択する。
テンキーを使用する場合
【セット】を押して、テンキーを使用することにより、Eメールアドレスを入力する（138 ページ）。

5 **【セット】**

6 必要に応じて、スキャン設定を変更する。**【►】**を押し、**【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して目的の設定を選択する。→ **【セット】**
- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてPDFを推奨します。

7 **原稿台ガラスを使用する場合**
【スタート】 → 本機が1ページ目の原稿をスキャンする。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、**【スタート】**を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【スタート】
- スキャンされたイメージは、Eメールの添付ファイルとして本機から直接送信されます。

8 スキャン終了後、**【ストップ】**を押して、ステップ6で行った設定をリセットする。

お知らせ
- スキャンを中止する方法については、143 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、またはPDF形式で保存できます。
- Eメールアドレスは頭文字で検索することができます。

例： **"マツシタ タロウ"**
1. 53 ページ「スキャンtoEメールアドレス（LAN接続のみ）」のステップ1～3を実行する。
2. **【7】**を繰り返し押して、頭文字**"マ"**の名前を表示する（文字入力については138 ページを参照）。
   - 記号を検索するには、**【✽】**を押してください。
3. **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、**"マツシタ タロウ"**を選択する。
   - 検索を中止するには、**【ストップ】**を押してください。

- ワンタッチキーを使用して、目的の宛先にスキャンしたイメージを簡単に送信することができます。この機能を使用するために、事前にEメールアドレスをワンタッチキーに登録してください（129 ページ）。
  1. 原稿をセットする（29 ページ）。
  2. **【スキャン】**
  3. **ワンタッチ1～3を使用する場合**
     目的のワンタッチキーを押す。
     ワンタッチ4～6を使用する場合
     【シフト】を押し、目的のワンタッチキーを押す。
  4. **【セット】**
  5. **原稿台ガラスを使用する場合**
     【スタート】 → 本機が1ページ目の原稿をスキャンする。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、**【スタート】**を押す。
     自動原稿送り装置を使用する場合
     【スタート】

スキャンtoFTPサーバー（LAN接続のみ）

スキャンしたイメージをFTPサーバーのフォルダーに送信することができます。

お知らせ
- **41 ページ「スキャン機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 **【スキャン】**

3 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、**"FTPサーバー"**を選択する。→ **【セット】**

4 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先となる宛先を選択する。→ **【セット】**

5 必要に応じて、スキャン設定を変更する。**【►】**を押し、**【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して目的の設定を選択する。→ **【セット】**
- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてPDFを推奨します。

6 **原稿台ガラスを使用する場合**
【スタート】 → 本機が1ページ目の原稿をスキャンする。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、**【スタート】**を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【スタート】
- スキャンされたイメージは、自動的にFTPサーバー上の選択したフォルダーに保存されます。

7 スキャン終了後、**【ストップ】**を押して、ステップ5で行った設定をリセットする。

お知らせ

- スキャンを中止する方法については、143 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、またはPDF形式で保存できます。
- スキャンしたイメージを表示するには、事前にコンピューターにデータをダウンロードしておいてください。

スキャンtoSMBフォルダー（LAN接続のみ）

スキャンしたイメージをネットワーク上のフォルダーに送信することができます。

お知らせ

- **41 ページ「スキャン機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 **【スキャン】**

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“**SMBフォルダー**”を選択する。→ **【セット】**

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、スキャン後のイメージの送信先となるフォルダーを選択する。→ **【セット】**

5 必要に応じて、スキャン設定を変更する。【►】を押し、【▼】または【▲】を繰り返し押して目的の設定を選択する。→ **【セット】**

- 複数のページをスキャンして1つのファイルに保存する場合、ファイル形式としてPDFを推奨します。

6 **原稿台ガラスを使用する場合**
【スタート】 → 本機が1ページ目の原稿をスキャンする。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、**【スタート】**を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合
【スタート】

- スキャンされたイメージは、自動的にネットワーク上の選択したフォルダーに保存されます。

7 スキャン終了後、**【ストップ】**を押して、ステップ5で行った設定をリセットする。

お知らせ

- スキャンを中止する方法については、143 ページを参照してください。
- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、またはPDF形式で保存できます。
- この機能が正しく動作しない場合、ネットワーク管理者にご相談ください。本機のSMB機能はNTMLv2およびSMB署名に対応していません。

4.1.2 コンピューターからスキャンする（プルスキャン）

お知らせ

- 原稿をスキャンする場合、自動原稿送り装置よりも原稿台ガラスを使用した方が良い結果が得られます。
- 自動原稿送り装置を使用して原稿をスキャンしているときには、ADFを開けないでください。

Multi-Functionスキャンアプリケーションの使用

アプリケーションのアイコンをクリックすると、選択したアプリケーションがスキャン後に自動的に起動します。

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 Multi-Function Stationを起動する。→ **［スキャン］**

3 目的のアプリケーションのアイコンをクリックする。
- **［カスタム］**をクリックすると、あらかじめ設定されているアプリケーションが起動します。
- 原稿のスキャン中にスキャンを中止するには、**［キャンセル］**をクリックしてください。

お知らせ

- 各アプリケーションのスキャン設定は事前に変更することができます（39 ページ）。
- アプリケーションのアイコンをポイントすると、そのアプリケーションのスキャン設定がツールのヒントとして表示されます。
- スキャンされたイメージは、**［設定］**ウィンドウ（39 ページ）で選択したフォルダーに自動的に保存されます。

ビューアーの使用

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 Multi-Function Stationを起動する。

3 **［ユーティリティー］** → **［ビューアー］**
- ［Quick Image Navigator］が表示されます。

4 ［Quick Image Navigator］ウィンドウの**［インポートフォルダへイメージの取り込み...］**アイコンをクリックする。
- 本機の名前を示すダイアログ画面が表示されます。

5 必要に応じて、コンピューターでスキャン設定を変更する。
- スキャンするイメージを確認するには、**［プレビュー］**をクリックしてください。フレームをドラッグすると、スキャン範囲を指定できます。スキャン設定を変更した場合、**［プレビュー］**をクリックして、スキャンしたイメージを更新してください。
  自動原稿送り装置を使用すると、最初のページのみが表示されます。スキャンしたイメージを更新する必要がある場合、原稿をセットして再表示してください。

6 **［スキャン］**
- ステップ5で自動原稿送り装置を使用してスキャンするイメージを確認した場合、原稿を再セットして、**［スキャン］**をクリックしてください。
- スキャン後、スキャンされたイメージが［Quick Image Navigator］ウィンドウに表示されます。
- スキャンしたイメージを保存するには、**［ファイル］**メニューから**［名前を付けて保存...］**を選択してください。
- 原稿のスキャン中にスキャンを中止するには、**［キャンセル］**をクリックしてください。

お知らせ

- スキャン後のイメージは、TIFF、JPEG、BMP、PNG、またはPDF形式で保存できます。
- **［対象装置］**に**［選択 ...］**ボタンが表示された場合、**［選択 ...］**をクリックして、リストから本機を選択し、**［OK］**をクリックしてください。プリンタードライバーが1つだけインストールされている場合、**［選択 ...］**ボタンは表示されません。
- ファイルまたはページ単位で移動、コピー、および削除することができます。

その他のアプリケーションの使用

Multi-Function Stationには、TWAINおよびWIA対応スキャナードライバーが含まれています。TWAINまたはWIAに対応しているその他のアプリケーションを使用してスキャンすることもできます。一般的に、次のような手順に従います。

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 TWAINまたはWIAに対応しているアプリケーションを起動する。

3 **TWAIN対応の場合**
［ファイル］メニューから**［イメージの取り込み］**を選択する。
WIA対応の場合
［ファイル］メニューから**［カメラまたはスキャナから取り込み...］**を選択する。
- 本機の名前を示すダイアログ画面が表示されます。

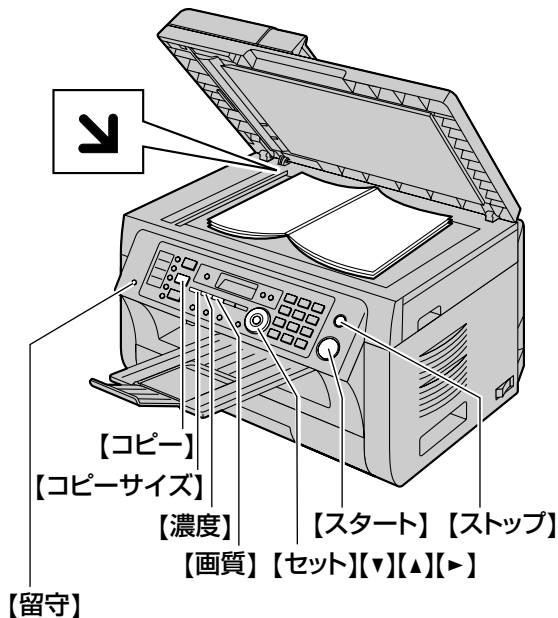
4 必要に応じて、コンピューターでスキャン設定を変更する。→ **［スキャン］**
- スキャン後、スキャンされたイメージがアプリケーションのウィンドウに表示されます。
- 原稿のスキャン中にスキャンを中止するには、**［キャンセル］**をクリックしてください。

お知らせ

- WIA対応アプリケーションからのスキャンは、Windows XP、Windows Vista、およびWindows 7（いずれもUSB接続のみ）で利用できます。
- 使用するアプリケーションに応じて、表示が多少異なることがあります。
- TWAINスキャンを実施するときに、**［対象装置］**に**［選択 ...］**ボタンが表示された場合、**［選択 ...］**をクリックし、リストから本機を選択して、**［OK］**をクリックしてください。
プリンタードライバーが1つだけインストールされている場合、**［選択 ...］**ボタンは表示されません。

5.1 コピー

5.1.1 コピーを作成する

原稿台ガラスの使用

1 **【コピー】**ライトが消えている場合、**【コピー】**を押して点灯させる。

2 原稿をセットする（29 ページ）。

3 必要に応じ、原稿のタイプに基づいてコピーサイズ（原稿サイズと用紙サイズ）、読取画質および読取濃度を変更する。
- コピーサイズの選択方法については、58 ページを参照してください。
- 読取画質の選択方法については、58 ページを参照してください。
- 読取濃度の選択方法については、58 ページを参照してください。

4 必要に応じて、コピー枚数を入力する（99まで）。

5 **【スタート】**
- コピーを開始します。

6 コピー終了後、**【ストップ】**を押して、ステップ3と4で行った設定をリセットする。

お知らせ
- コピーを中止する方法については、143 ページを参照してください。
- 操作モードの初期値（109 ページの機能#463）と、操作モードの初期値に戻るまでのタイマー（109 ページの機能#464）を変更することができます。
- **【留守】**ライトが点灯している場合、本機はコピーモードでもファクスを自動的に受信できます。

コピーサイズを選択する

1 **【コピーサイズ】**を繰り返し押して、**"ゲンコウサイズ"**を選択する。

2 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、原稿のサイズを選択する。→ **【セット】**

3 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、用紙トレイを選択する。
- **"トレイ2"**が選択されている場合、**【►】**を繰り返し押して、用紙のサイズを変更できます。
- 適切なズーム倍率が自動的に設定されます。ズームコピー中には、一部のコピー機能を使用できません。詳細については、60 ページを参照してください。

4 **【セット】**

読取画質を選択する

1 **【画質】**を押す。
- **"モジ／シャシン"**：文字および写真用。
- **"モジ"**：文字専用。
- **"シャシン"**：写真、陰影付きの図など。

2 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、読取画質を選択する。

3 **【セット】**

お知らせ
- 初期値の読取画質を変更できます（120 ページの機能#461）。

読取濃度を選択する

原稿の暗さまたは明るさに応じて、この設定を調整してください。利用可能なレベルは5段階あります。

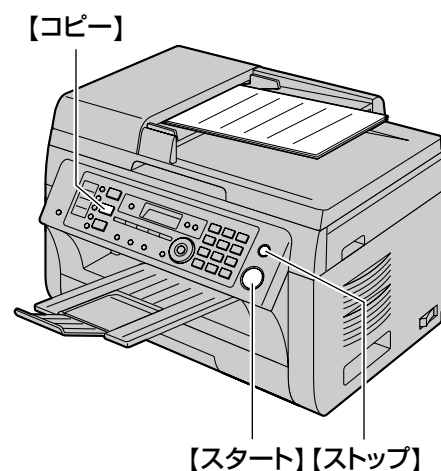
1 **【濃度】**を押す。

2 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、読取濃度を選択する。

3 【セット】

お知らせ

- 前の読取濃度設定を保持できます（109 ページの機能#462）。

自動原稿送り装置の使用

1 **【コピー】**ライトが消えている場合、**【コピー】**を押して点灯させる。

2 原稿をセットする（29 ページ）。

3 必要に応じ、原稿のタイプに基づいてコピーサイズ（原稿サイズと用紙サイズ）、読取画質および読取濃度を変更する。

- コピーサイズの選択方法については、58 ページを参照してください。
- 読取画質の選択方法については、58 ページを参照してください。
- 読取濃度の選択方法については、58 ページを参照してください。

4 必要に応じて、コピー枚数を入力する（99まで）。

5 **【スタート】**

- コピーを開始します。

6 コピー終了後、**【ストップ】**を押して、ステップ3と4で行った設定をリセットする。

お知らせ

- コピーを中止する方法については、143 ページを参照してください。

5.1.2 その他のコピー機能

- 【コピー】ライトが点灯していることを確認してください。

ズームコピー（拡大／縮小）

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 **【ズーム】**を繰り返し押して、原稿と用紙のサイズに合うズーム倍率を選択する。

– **"ズーム=100%"** [*1]

– **"50%"**

– **"200%"**

[*1] 【▼】または【▲】を繰り返し押して、 **"25%"** ～ **"400%"** まで一度に1 %ずつズーム倍率を変更してください。
テンキーを使用して、目的のパーセントを直接入力することもできます。

3 **【セット】**

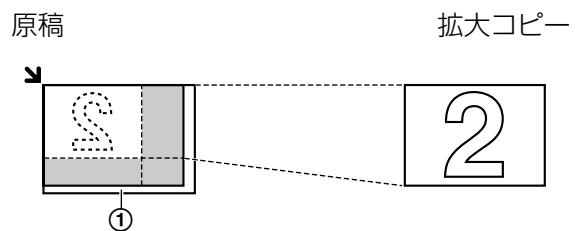
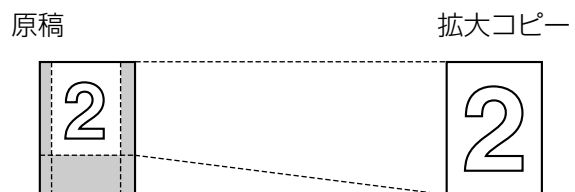
4 必要に応じて、コピー枚数を入力する（99まで）。
→ **【スタート】**

5 コピー終了後、**【ストップ】**を押して、この機能をリセットする。

お知らせ

- 次の機能では、ズームコピーを利用できません。
  – カードコピー機能（61 ページ）
  – イメージリピート機能（61 ページ）
  – ポスター機能（62 ページ）
  – N in 1機能（63 ページ）
  – N in 1復元印刷機能（64 ページ）
- 前のズーム設定を保持できます（121 ページの機能#468)。
- **原稿台ガラスを使用する場合、**本機の↘マークを起点として原稿の右上がズームされます。
- **自動原稿送り装置を使用する場合、**原稿上部の中央がズームされます。原稿下部をズームコピーするには、原稿を上下逆にしてからコピーしてください。

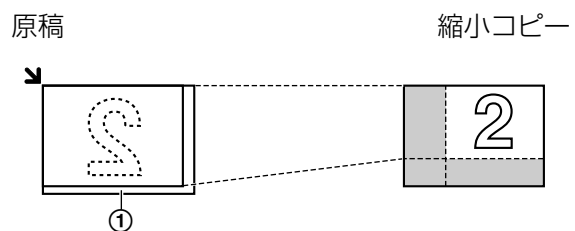
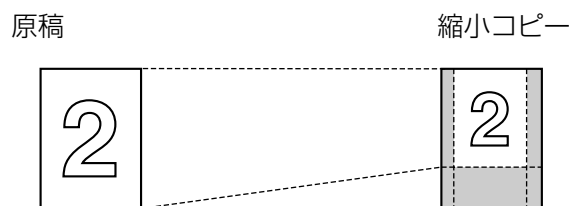
例： 150 %拡大コピー

原稿台ガラス（①）を使用する場合

自動原稿送り装置を使用する場合

例：70 %縮小コピー

原稿台ガラス（①）を使用する場合

自動原稿送り装置を使用する場合

原稿　　縮小コピー

ソートコピー

本機では、複数ページをコピーするときに、元の原稿ページと同じ順序にソートしてコピーすることができます。

1 **【コピー】**ライトが消えている場合、**【コピー】**を押して点灯させる。

2 原稿をセットする（29 ページ）。

3 【◀】を押して、**“ブ　タンイ　インサツ”**を表示する。

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“アリ”**を選択する。

5 **【セット】**

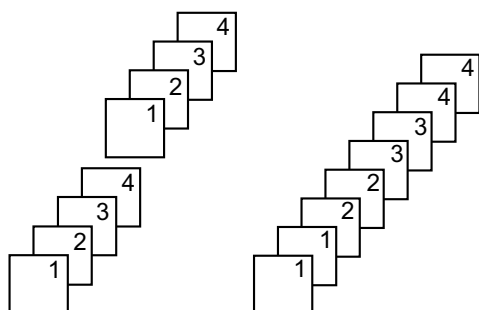
6 コピー枚数を入力する（99まで）。

7 **原稿台ガラスを使用する場合**

1. **【スタート】**
   - 1ページ目の原稿がスキャンされます。
2. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべてのページをスキャンし、**【スタート】**を押す。
   - コピーを開始します。

自動原稿送り装置を使用する場合
【スタート】

8 コピー終了後、**【ストップ】**を押して、この機能をリセットする。

例： 4ページの原稿を2部コピーする

ソートした場合のページ順序　　ソートしなかった場合のページ順序

お知らせ

- ソートコピーの実行中、本機は原稿をメモリーに保存します。保存中にメモリーがいっぱいになった場合、保存されているページのみが印刷されます。
- 前のソート設定を保持できます（121 ページの機能#469）。

試しコピー機能

ソート機能を使用して最初に原稿を1部コピーするには、【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“オタメシ　コピー”**を選択します（60 ページ「ソートコピー」のステップ4）。本機はソート機能を使用して原稿を1部コピーした後、一時的に停止するので、コピーの状態を確認できます。適切にコピーされている場合、**【スタート】**を押して、コピーを続行します。
適切にコピーされていない場合、**【ストップ】**を押して、最初からやり直してください。

カードコピー機能／イメージリピート機能（原稿台ガラスのみ）

カードコピー機能：両面原稿を1ページにコピーします。
イメージリピート機能：片面原稿を1ページに繰り返しコピーします。

お知らせ

- コピー原稿は用紙に合わせて縮小されないため、サイズの小さい原稿（名刺など）のコピーに役立ちます。

1 原稿をセットする（29 ページ）。
- 横向きにコピーするには、原稿を横方向にセットしてください。縦向きにコピーするには、原稿を縦方向にセットしてください。
- スキャン範囲は、ステップ4で選択した設定に応じて変更されます。詳細については、以下の表を参照してください。陰影付きの領域がスキャンされます。

2 **【レイアウト】**を繰り返し押して、**“ページ　レイアウト”**を選択する。

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“カード　コピー”**または**“イメージ　リピート”**を選択する。→ **【セット】**

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“2 in 1”**、**“4 in 1”**または**“8 in 1”**から原稿枚数を選択する。→ **【セット】**
- カードコピー機能の場合、次のステップに進んでください。
- イメージリピート機能の場合、ステップ6に進んでください。

5 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“ヨコ　ホウコウ”**または**“タテ　ホウコウ”**からページレイアウトを選択する。→ **【セット】**

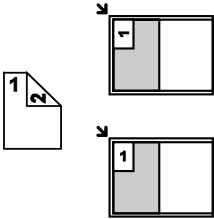
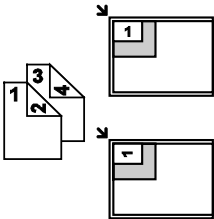
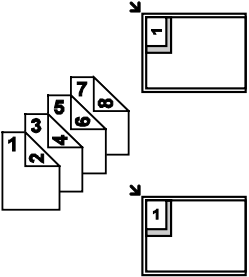
6 必要に応じて、コピー枚数を入力する（99まで）。

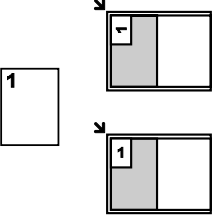
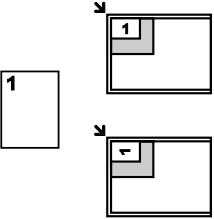
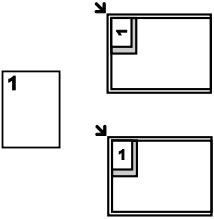
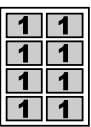
7 **カードコピー機能**

1. **【スタート】**

- 1ページ目がスキャンされます。

2. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンする。

- コピーを開始します。
- **【スタート】**を押すと、随時コピーを開始できます。

イメージリピート機能
【スタート】

8 コピー終了後、**【ストップ】**を押して、この機能をリセットする。

お知らせ

- 前のページレイアウト設定を保持できます（121 ページの機能#467）。

カードコピー機能

原稿	ページレイアウト
“2 in 1”	“ヨコ　ホウコウ” “タテ　ホウコウ”
“4 in 1”	“ヨコ　ホウコウ” “タテ　ホウコウ”

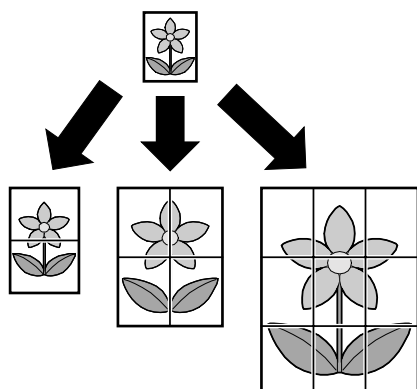
原稿	ページレイアウト
“8 in 1”	“ヨコ　ホウコウ” “タテ　ホウコウ”

イメージリピート機能

原稿	ページレイアウト
“2 in 1”	
“4 in 1”	
“8 in 1”	

ポスター機能（原稿台ガラスのみ）

原稿を2つ（“1 X 2”）、4つ（“2 X 2”）または9つ（“3 X 3”）の区画に分割し、各区画を拡大し

てコピーすることができます。印刷後に各用紙をのりで貼り合わせると、1枚の大きなポスターにできます。

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 **【レイアウト】**を繰り返し押して、**“ページ　レイアウト”**を選択する。

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“ポスター”**を選択する。→ **【セット】**

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“1 X 2”**、**“2 X 2”**または**“3 X 3”**を選択する。→ **【セット】**

5 必要に応じて、コピー枚数を入力する（99まで）。→ **【スタート】**

6 コピー終了後、**【ストップ】**を押して、この機能をリセットする。

お知らせ

- 前のページレイアウト設定を保持できます（121 ページの機能#467）。

N in 1機能

2、4、または8枚のページを1ページにコピーすると、用紙を節約できます。この場合、原稿は用紙に合わせて縮小されます。

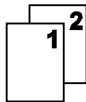
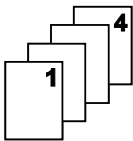
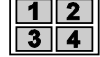
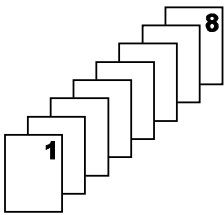
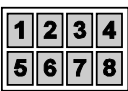
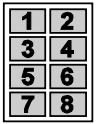
1 原稿をセットする（29 ページ）。
- 縦向きにコピーするには、原稿を縦方向にセットしてください。横向きにコピーするには、原稿を横方向にセットしてください。

2 **【レイアウト】**を繰り返し押して、**“ページ　レイアウト”**を選択する。

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“N in 1”**を選択する。→ **【セット】**

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“2 in 1”**、**“4 in 1”**または**“8 in 1”**から原稿枚数を選択する。→ **【セット】**

5 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“タテ　ホウコウ”**または**“ヨコ　ホウコウ”**からレイアウトを選択する。→ **【セット】**

6 必要に応じて、コピー枚数を入力する（99まで）。

7 **原稿台ガラスを使用する場合**

1. **【スタート】**
   - 1ページ目の原稿がスキャンされます。
2. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンする。
   - コピーを開始します。
   - **【スタート】**を押すと、随時コピーを開始できます。

自動原稿送り装置を使用する場合
【スタート】

8 コピー終了後、**【ストップ】**を押して、この機能をリセットする。

原稿	ページレイアウト
“2 in 1”	“タテ　ホウコウ” “ヨコ　ホウコウ”
“4 in 1”	“タテ　ホウコウ” “ヨコ　ホウコウ”

原稿	ページレイアウト
“8 in 1”	“タテ　ホウコウ” “ヨコ　ホウコウ”

お知らせ

- 前のページレイアウト設定を保持できます（121 ページの機能#467）。

N in 1復元印刷機能（原稿台ガラスのみ）

N in 1機能でコピーした原稿を、元の別々のページに分割することができます。この機能は、“2 in 1”および“4 in 1”設定を使用して作成した原稿で利用できます。

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 【レイアウト】を繰り返し押して、“ページ　レイアウト”を選択する。

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“N in 1 フクゲン”を選択する。→【セット】

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“2 in 1”または“4 in 1”から原稿枚数を選択する。→【セット】

5 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“タテ　ホウコウ”または“ヨコ　ホウコウ”から原稿のページレイアウトを選択する。→【セット】

6 必要に応じて、コピー枚数を入力する（99まで）。→【スタート】

7 コピー終了後、【ストップ】を押して、この機能をリセットする。

エッジ機能

本機では、用紙に合わせてコピー原稿を縮小せずに、原稿のエッジをコピーしないように設定することができます。この機能は、エッジの汚れた原稿をコピーするときに役立ちます。

お知らせ

- この機能とページレイアウト機能は同時に使用できません（N in 1を除く）。

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 【レイアウト】を繰り返し押して、“エッジ”を選択する。

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“アリ”を選択する。→【セット】

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“チョウヘン　トジ”を選択する。→【セット】

5 テンキーを使用して、長辺のエッジ幅を入力する。→【セット】

6 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“タンペン　トジ”を選択する。→【セット】

7 テンキーを使用して、短辺のエッジ幅を入力する。→【セット】

8 必要に応じて、コピー枚数を入力する（99まで）。→【スタート】

9 コピー終了後、【ストップ】を押して、この機能をリセットする。

お知らせ

- 前のエッジ設定を保持できます（121 ページの機能#473）。

とじ代機能

本機では、余白をつくるために、原稿の特定のとじ代をコピーしないように設定することができます。この機能は、コピーした原稿を製本する場合に役立ちます。

お知らせ

- 設定した余白に基づいて自動的に縮小コピーする方法については、121 ページの機能#474を参照してください。
- この機能とページレイアウト機能は同時に使用できません。

1 原稿をセットする（29 ページ）。
- 縦向きにコピーするには、原稿を縦方向にセットしてください。横向きにコピーするには、原稿を横方向にセットしてください。

2 **【レイアウト】**を繰り返し押して、**“トジシロ”**を選択する。

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“アリ”**を選択する。→ **【セット】**

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“タテ　ホウコウ”**または**“ヨコ　ホウコウ”**からページレイアウトを選択する。→ **【セット】**

5 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“ウエ”**、**“ミギ”**、**“ヒダリ”**または**“シタ”**から、余白を設定するエッジを選択する。→ **【セット】**

6 テンキーを使用して、余白の幅を入力する。→ **【セット】**

7 必要に応じて、コピー枚数を入力する（99まで）。→ **【スタート】**

8 コピー終了後、**【ストップ】**を押して、この機能をリセットする。

お知らせ
- 前の余白設定を保持できます（121 ページの機能#475）。

コピー予約

次の条件では、コピー予約ができます。
– 本機がコンピューターからの原稿を印刷中の場合。
– 本機が受信したファクス文書を印刷中の場合。

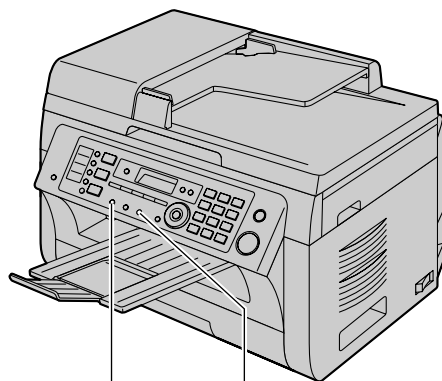
1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 **“PCプリント　チュウデス”**または**“インサツチュウ　デス”**が表示されている間に、**【コピー】**を押す。

3 コピー枚数、読取画質、ズーム機能、ページレイアウト機能など、必要な設定を行う。→ **【スタート】**
- **“コピー　ヨヤク　チュウ　デス”**が表示されます。現在の印刷ジョブの後にコピーを開始します。

6.1 電話の発信と受信

6.1.1 電話をかける

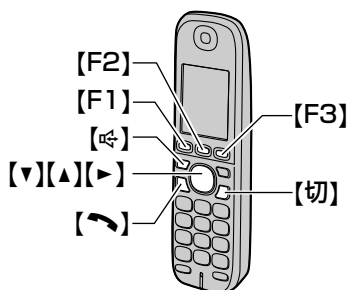
親機の場合

1 ハンドセットを取る。

2 電話番号をダイヤルする。

3 電話を切るには、ハンドセットを戻す。

最後にダイヤルした番号に親機から再ダイヤルする

【モニター】 → **【再ダイヤル】**

子機の場合

1 充電台から子機を取り、**【 】**を押す。
- スピーカーホンで通話するときは、**【 】**を押します。

2 電話番号をダイヤルする。
- スピーカーホンで通話中は、ディスプレイに“ ”を表示します。

3 電話を切るには、**【切】**を押すか子機を充電台に戻す。

会話を消音する

ミュート機能を使うと、相手の声を聞くだけでこちらの声を聞こえなくすることができます。

1 通話中に**【F1】**を押す。

2 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して**“ミュート”**を選択する。

3 **【F2】**
- 解除するには、**【F1】** → **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して**“ミュートカイジョ”**を選び、**【F2】**を押してください。

再ダイヤルリストを使用して再ダイヤルする（子機のみ）

子機からダイヤルした最近10件の電話番号を履歴に記憶しています。

1 **【►】**を押す。

2 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、再ダイヤルしたい相手を選択する。

3 **【 】**

再ダイヤルリストの番号を消去する

1 **【►】**を押す。

2 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、履歴を消去する相手を選択する。

3 **【F3】** → **【F1】** → **【切】**

キーロック

誤操作を防ぐため、キー操作を受け付けないように設定できます。キーロックを設定すると、電話を受けることはできますが、ほかの操作はできなくなります。
キーロックを設定するには、「ピッ」と音が鳴るまで**【#】**を3秒以上押します。
- **“キーロック　ヲ　セッテイ　シマシタ”**と表示されます。

キーロックを解除するには、「ピッ」と音が鳴るまで**【#】**を3秒以上押します。
- **“キーロック　ヲ　カイジョ　シマシタ”**と表示されます。

お知らせ

- キーロックを設定しているときは、緊急連絡先（110や119など）にも電話をかけることができません。
- 親機の操作はできます。
- 通話中は一時的にキーロックが解除されます。通話を終了すると再度設定されます。
- キーロック設定中にキー操作をしようとするとディスプレイに解除手順メッセージを表示します。
- キーロック設定中、呼び出し音が鳴っているときに、通話拒否（68 ページ）やあんしん応答（68 ページ）の操作をすることはできません。

ポーズ（PBXなどの場合）

構内交換機（PBX）に接続しているときや、電話番号に184や186を付けてかけるとき、【F1】（ポーズ）を入れます。
例：構内交換機（PBX）に接続していて、外線電話をかけるとき

1 外線発信番号を押す。

2 【F1】（ポーズ）を押す。

3 電話番号をダイヤルする。

4 【⌒】

例：電話番号に184または186を付けてかけるとき

1 184または186をダイヤルする。

2 【F1】（ポーズ）を押す。

3 電話番号をダイヤルする。

4 【⌒】

お知らせ

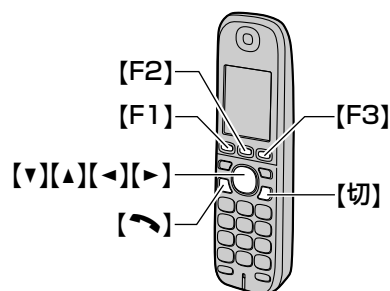
- 【⌒】を押してダイヤル中にポーズを入れるときは、【►】を押してください。

6.1.2 電話を受ける

親機の場合

1 ハンドセットを取る。

2 電話を切るには、ハンドセットを戻す。

子機の場合

1 充電台から子機を取り、【⌒】を押す。
- 【▼】【▲】【◄】【►】【切】【F1】【F2】【F3】以外のどのキーを押しても電話を受けられます（エニーキーアンサー）。

2 電話を切るには、【切】を押すか子機を充電台に戻す。

オフフック応答

充電台から子機を取るだけで、電話を受けることができます。

1 【F1】→【♯】【0】【0】【9】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“アリ”を選択する。→【F2】

3 【切】

お知らせ

- 子機を使用してあんしん応答（68 ページ ページ）を行う場合は、“ナシ”に設定してください。

6.1.3 あんしん応答

呼出音が鳴っているときに、相手に名前を尋ねるメッセージを流して相手の声を確認したあと、電話に出たり、電話を切ったりすることができます。
相手に名前を尋ねるメッセージは機能#244（107 ページ）で変更することができます。

親機の場合

1 呼出音が鳴っているとき、【あんしん応答】を押す。
- 相手に、名前を尋ねるメッセージが流れます。相手の声はスピーカーから聞こえます。

2 電話に出るとき
ハンドセットを取る。
お断りのメッセージを流して電話を切るとき
【*】を押す。
もう一度名前を尋ねるメッセージを流すとき
【#】を押す。

お知らせ

- 【あんしん応答】を押したあと、約40 秒間操作をしないと、電話が切れます。

子機の場合

1 充電台から子機を取り、【F2】または【F3】を押す。

2 電話に出るとき
【⌒】を押す。
お断りのメッセージを流して電話を切るとき
【*】を押す。
もう一度名前を尋ねるメッセージを流すとき
【#】を押す。

お知らせ

- 【F2】または【F3】を押したあと、約40 秒間操作をしないと、電話が切れます。
- オフフック応答（67、131 ページ）が有効になっていると、充電台から子機を取るだけで電話を受け、あんしん応答の操作ができません。オフフック応答を無効にしてください。

6.1.4 通話拒否（子機のみ）

呼出音が鳴っているときや通話中に通話拒否の操作をすると、相手に通話を拒否するメッセージを流し、電話が切れます。通話中はチャイムを鳴らして、来客があったようにすることもできます。

呼出音が鳴っているとき

1 充電台から子機を取る。

2 【F1】→【F1】

3 お断りのメッセージが2回流れて電話が切れます。

通話中

1 【F1】

2 【▼】または【▲】を押して**“ツウワ　キョヒ”**を選択する。→【F2】

3 【▼】または【▲】を押して**“オンセイ”**または**“チャイム”**を選択する。→【F2】

- **“オンセイ”**を選択した場合、お断りのメッセージが2回流れて電話が切れます。
- **“チャイム”**の場合、相手にチャイムが聞こえます。電話は切れませんので、来客があったことにして電話を切ってください。

お知らせ

- 通話拒否を中止する場合は、メッセージが流れ終わる前に【⌒】を押して通話してください。
- 発信者番号表示機能を利用している場合、通話拒否をした時に通話拒否の設定画面が表示されますが、本機では働きません。**“ハイ”**を選択しても**“トウロク　デキマセン”**と表示されます。
- キャッチホンを受けたときは、通話拒否機能は働きません。

6.1.5 通話音質を変える（子機のみ）

通話中に相手の声を聞き取りやすくしたり（ボイスセレクト）、自分の声を変えること（ボイスチェンジ）ができます。

ボイスセレクト

1 通話中に【F1】を押す。

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して**“ボイスセレクト”**を選択する。→【F2】

3 【◄】または【►】を押して声の音質（低～高）を選択する。→【F2】

お知らせ

- スピーカホンでの通話、内線通話では使えません。
- 設定した通話音質は、次に設定するまで保持されます。

ボイスチェンジ

1 通話中に【F1】を押す。

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して“**ボイスチェンジ**”を選択する。→【F2】

3 【F1】

通話中に、ボイスチェンジを解除するとき
【F1】→【▼】または【▲】を繰り返し押して“**ボイスチェンジ**”を選択する。→【F2】→【F1】

お知らせ

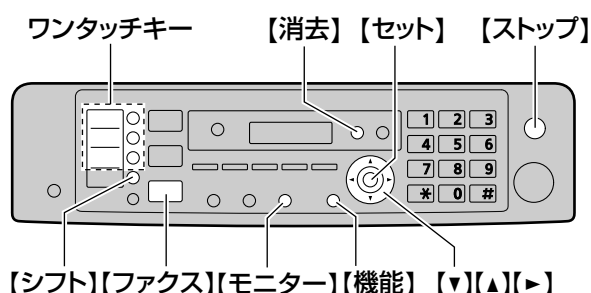
- 次の場合は、ボイスチェンジは使えません
  - 電話をかけたとき。
  - 電話をかけて通話中に、キャッチホンでかかってきた相手との通話中。
  - 内線電話中。
  - 3者通話中。
  - 録音中。

6.2 自動ダイヤル

6.2.1 親機：ワンタッチダイヤル機能と電話帳

親機は、ワンタッチダイヤル機能（6項目）と電話帳（100項目）を備えています。

- 子機は独自の電話帳を備えています（70 ページ）。
- 親機と子機の間で電話帳項目をコピーすることができます（136 ページ）。
- ワンタッチ1と2は、ワンタッチダイヤルまたは同報送信のいずれかのキーに使用することができます（79 ページ）。

- 【ファクス】ライトが点灯していることを確認してください。

ワンタッチダイヤル項目の登録

1 【機能】を繰り返し押して、“**デンワチョウ　トウロク**”を選択する。

2 目的のワンタッチキーを選択する。
ワンタッチ1～2の場合
1. ワンタッチキーの1つを押す。
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“**バンゴウ**”を選択する。→【セット】

ワンタッチ3の場合
ワンタッチキーを押す。
ワンタッチ4～6の場合
【シフト】を押し、ワンタッチキーの1つを押す。

3 12文字以内で名前を入力する（文字入力については138 ページを参照）。→【セット】

4 24桁以内で電話番号を入力する。→【セット】
- 他の項目を登録するには、ステップ2～4を繰り返してください。

5 【ストップ】

お知らせ

- 電話番号に入力されたスペースは2桁としてカウントされます。

電話帳項目の登録

1 【機能】を繰り返し押して、“**デンワチョウ　トウロク**”を選択する。→【►】

2 12文字以内で名前を入力する（文字入力については138 ページを参照）。→【セット】

3 24桁以内で電話番号を入力する。→ 【セット】
- 他の項目を登録するには、ステップ2～3を繰り返してください。

4 【機能】

お知らせ
- 電話番号に入力されたスペースは2桁としてカウントされます。

登録された項目の編集

1 【►】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→ 【機能】 → 【*】

3 必要に応じて、名前を編集する。→ 【セット】

4 必要に応じて、電話番号を編集する。→ 【セット】 → 【ストップ】

登録された項目の消去

1 【►】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→ 【消去】
- 消去を中止するには、【ストップ】を押してください。

3 【セット】 → 【ストップ】

ワンタッチダイヤル機能を使用した電話の発信

1 【モニター】を押すか、ハンドセットを取る。

2 目的のワンタッチキーを選択する。
ワンタッチ1～3の場合
目的のワンタッチキーを押す。
ワンタッチ4～6の場合
【シフト】を押して、目的のワンタッチキーを押す。
- 本機は自動的にダイヤルを開始します。

電話帳を使用した電話の発信

1 【►】

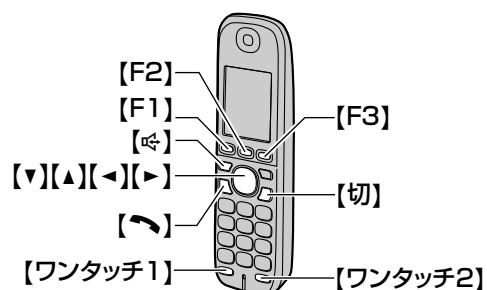
2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。

3 【モニター】を押すか、ハンドセットを取る。
- 本機は自動的にダイヤルを開始します。

名前を頭文字で検索する
例："マツシタ タロウ"

1. 【►】
2. 【▼】または【▲】を押して、電話帳を起動する。
3. 【7】を繰り返し押して、頭文字が **"マ"** の名前を表示する（文字入力については138 ページを参照）。
   - 記号を検索するには、【*】を押してください。
4. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"マツシタ タロウ"** を選択する。
   - 検索を中止するには、【ストップ】を押してください。
   - 表示されている相手先にダイヤルするには、【モニター】を押すか、ハンドセットを取ってください。

6.2.2 子機：ワンタッチダイヤル機能と電話帳

子機は、ワンタッチダイヤル機能（2項目）と電話帳（150項目）を備えています。
- 電話帳で電話をかけるには71 ページを参照してください。
- 親機と子機の間で電話帳項目をコピーすることができます（136 ページ）。

電話帳項目の登録

1 【F2】を2回押す。

2 名前を入力する。→【F2】
- 12文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは139 ページを参照してください。

3 電話番号を市外局番から入力する。→【F2】
- 24桁まで入力できます。

4 【▼】【▲】【◄】【►】を押してグループを選択する。→【F2】
- 他の項目を登録するには、ステップ2～4を繰り返してください。

5 【切】

再ダイヤルから登録する

1 【►】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、登録する相手先を選択する。→【F2】

3 名前を入力する。→【F2】

4 電話番号を確認する。→【F2】

5 【▼】【▲】【◄】【►】を押してグループを選択する。→【F2】→【切】

登録された項目の編集

1 【F2】→【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"イチラン　ケンサク"**を選択する。→【F2】

2 【▼】【▲】【◄】【►】を押して、修正する相手先を選択する。→【F2】

3 名前を修正する。→【F2】

4 電話番号を修正する。→【F2】

5 【▼】【▲】【◄】【►】を押して、グループを選択する。→【F2】

6 【切】

登録された項目の消去

特定の項目を消去する

1 【F2】→【▼】または【▲】を押して、**"イチラン　ケンサク"**を選択する。→【F2】

2 【▼】【▲】【◄】【►】を押して、消去する項目を選択する。

3 【F3】→【F1】→【切】

すべての項目を消去する

1 【F1】→【♯】【1】【4】【4】→【F2】

2 【F1】

ワンタッチダイヤル項目の登録

1 【F1】→【ワンタッチ1】または【ワンタッチ2】→【F2】

2 【▼】【▲】【◄】【►】を押して、電話帳から登録したい相手を選択する。

3 【F2】

登録を確認するには

【F1】→【ワンタッチ1】または【ワンタッチ2】→【切】

消去するには

【F1】→【ワンタッチ1】または【ワンタッチ2】→【F3】→【F1】

電話帳を使用した電話の発信

1 【F2】→【▼】または【▲】を押して、**"イチラン　ケンサク"**を選択する。→【F2】

2 【▼】【▲】【◄】【►】を押して、相手先を選択する。

3 【⌒】または【🔈】

名前で検索する

1 【F2】→【▼】または【▲】を押して、**"ナマエ　ケンサク"**を選択する。→【F2】

2 名前を入力する。→【F2】

3 【▼】【▲】【◄】【►】を押して、相手先を選択する。

4 【📞】または【🔊】

名前をグループから検索する

1 **【F2】**→【▼】または【▲】を押して、**“グループケンサク”**を選択する。→**【F2】**

2 【▼】【▲】【◄】【►】を押して、グループを選択する。→**【F2】**

3 【▼】【▲】【◄】【►】を押して、相手先を選択する。

4 【📞】または【🔊】

ワンタッチダイヤル機能を使用した電話の発信

【📞】または**【🔊】**→**【ワンタッチ 1】**または**【ワンタッチ 2】**

- 先にワンタッチダイヤル（**【ワンタッチ 1】**または**【ワンタッチ 2】**）を押してかけることもできます。

7.1 発信者番号表示サービス

7.1.1 発信者番号表示サービス

本機は電話会社から提供されている発信者番号表示サービスに対応しています。この機能を利用するためには、発信者番号表示サービスへのお申し込みが必要です。

- 地域によっては、サービスが提供されていない場合があります。詳細については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 発信者番号表示設定（107 ページの機能#204）が有効になっていることを事前に確認してください。

発信者番号の表示方法

最初の呼び出し音の前に、発信者の電話番号が表示されます。電話に応答するかどうか選択できます。
本機は最近30件の着信から発信者の情報（名前、電話番号、および着信日時）を自動的に登録します。発信者情報をディスプレイに表示すること（74 ページ）、または親機から着信メモリーリストを印刷すること（177 ページ）が可能です。

お知らせ

- 発信者情報を受信したときに、その情報が本機のワンタッチダイヤルまたは電話帳に登録されている電話番号と一致した場合、登録されている名前が表示されます。
- 本機がPBX（構内交換機）システムに接続されている場合、発信者情報を正しく受信できないことがあります。ご利用のPBX業者にご相談ください。
- 本機が発信者情報を受信できない場合、次のように表示されます。
  “ヒョウジケンガイ”：発信者が発信者番号通知サービスの提供されていない地域から電話した。
  “ヒツウチ”：発信者が発信者情報の非通知を選択した。
  “コウシュウデンワ”：発信者が公衆電話から電話した。
  “ヒョウジ　デキマセン”／**“ガイセン　チャクシン”**：発信者情報を正しく受信できなかった。
- 発信者番号または発信者情報（**“ヒツウチ”**など）を子機の着信履歴で表示中に、**【F2】**を押すと**“メイワク　セッテイ”**や**“キョヒ　セッテイ”**の画面が表示されますが、本機では働きません。**“ハイ”**を選択しても、**“トウロク　デキマセン”**と表示されます。

不在時着信

発信者情報を受信しても着信に応答しない場合、本機はこの着信を不在時着信として処理します。不在時着信の数は、ディスプレイに表示されます。これにより、不在時に着信した発信者を確認するために着信メモリーリストを表示する必要があるかどうかを知ることができます。

キャッチホンまたは発信者番号表示機能付きキャッチホンを利用する場合

キャッチホンを使用するには、サービスプロバイダー／電話会社のキャッチホンサービスをまず申し込む必要があります。
この機能を使用すると、電話での通話中に着信を受信することができます。電話の使用中に着信を受信すると、キャッチホントーンが聞こえます。
発信者番号表示サービスと、発信者番号表示機能付きキャッチホンサービスの両方を申し込んでいる場合、キャッチホントーンが聞こえた後に、2番目の発信者の情報が、使用中の親機または子機に表示されます。
キャッチホン・ディスプレイを使用する場合は、機能#205を有効にしてください（107 ページ）。

1. 親機の**【キャッチ】**または子機の**【F3】**（キャッチ）を押して、2番目の着信に応答する。
2. 着信を切り換えるには、親機の**【キャッチ】**または子機の**【F3】**（キャッチ）を押す。

お知らせ

- ご利用地域でのこのサービスの有無および詳細については、サービスプロバイダー／電話会社にお問い合わせください。

7.1.2 発信者情報を使用して表示およびかけ直しを行う

親機の場合

- 【ファクス】ライトが点灯していることを確認してください。

1 【着信メモリー】

2 【▼】を繰り返し押して、最近受信した発信者番号情報から検索する。
- 【▲】を押すと、表示順序が逆になります。
- ファクスを送信する方法については、76 ページを参照してください。

3 【モニター】を押すか、ハンドセットを持ち上げてかけ直す。

表示を中止する

【ストップ】を押してください。

発信者情報の表示状態を変更する

ステップ2の後で【着信メモリー】を繰り返し押して、名前／電話番号情報を変更してください。

子機の場合

1 【◂】

2 【▼】を繰り返し押して、最近受信した発信者番号情報から検索する。
- 新しい順に表示されます。

3 【⌒】または【㏈】を押してかけ直す。

表示を中止する

【切】を押してください。

発信者情報に関する記号と操作

"*" の意味

親機または子機で履歴表示や応答を行っていない場合、"*" が表示されます。

7.1.3 発信者情報を消去する

親機の場合

すべての発信者情報の消去

1 【機能】を繰り返し押して、"チャクシン　メモリー　セッテイ" を選択する。→【セット】
- "チャクシン　メモリー　ショウキョ" が表示されます。

2 【セット】
- 消去を中止するには、【ストップ】を押してから【機能】を押してください。

3 【セット】→【ストップ】

特定の発信者情報の消去

- 【ファクス】ライトが点灯していることを確認してください。

1 【着信メモリー】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→【消去】→【セット】→【ストップ】

子機の場合

すべての発信者情報の消去

1 【◂】→【F3】→【F1】

特定の発信者情報の消去

1 【◂】

2 【▼】を繰り返し押して、最近受信した発信者番号情報から検索する。

3 【F3】→【F1】

7.1.4 発信者情報を登録する

ワンタッチダイヤル機能と電話帳への登録（親機）

- 【ファクス】ライトが点灯していることを確認してください。

1 【着信メモリー】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。

3 **【機能】**

4 ワンタッチキーまたは電話帳を選択する。
ワンタッチ1～2の場合
1. 目的のワンタッチキーを押す。
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"バンゴウ"**を選択する。→ **【セット】** → **【セット】**

ワンタッチ3の場合
ワンタッチキーを押す。→ **【セット】**
ワンタッチ4～6の場合
【シフト】を押してから、目的のワンタッチキーを押す。→ **【セット】**
電話帳の場合
【◄】または【►】を押す。→ **【セット】**

5 **【セット】**

お知らせ
- 名前または電話番号の編集方法については、70 ページを参照してください。
- すでに項目が割り当てられているワンタッチキーに項目を割り当てると、前の項目は置き換えられます。
- ワンタッチ1と2は、ワンタッチダイヤルまたは同報送信のいずれかのキーに使用することができます（79 ページ）。

電話帳への登録（子機）

1 【◄】

2 【▼】を繰り返し押して、最近受信した発信者番号情報から検索する。

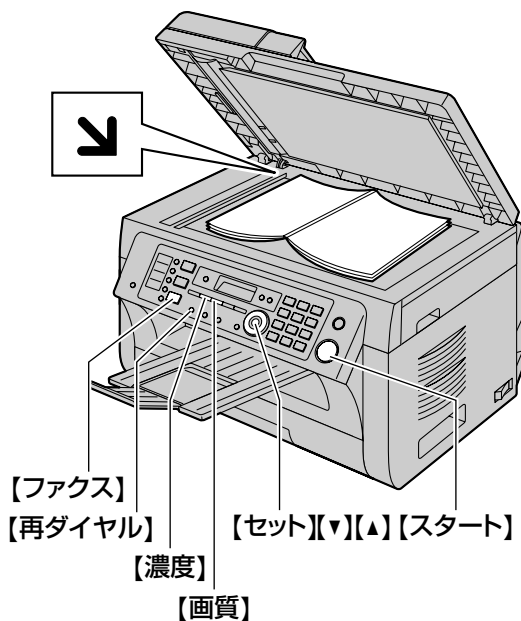
3 **【F2】** → **【F2】**

4 70 ページ「電話帳項目の登録」のステップ2～5を参照して名前および電話番号の編集、およびグループ選択をする。

8.1 ファクス送信

8.1.1 ファクスを手動で送信する

原稿台ガラスの使用

原稿台ガラスを使用すると、小さいサイズの紙や小冊子の1ページを送信することができます。

1 **【ファクス】**ライトが消えている場合、**【ファクス】**を押して点灯させる。

2 原稿をセットする（29 ページ）。

3 必要に応じ、原稿のタイプに基づいて読取画質と読取濃度を変更する。
- 読取画質の選択方法については、76 ページを参照してください。
- 読取濃度の選択方法については、77 ページを参照してください。

4 ファクス番号をダイヤルする。

5 **【スタート】**

6 ファクス送信先再入力メッセージが表示されたら、もう一度テンキーを使用してファクス番号をダイヤルする。→ **【スタート】**
- ファクス番号が一致しない場合は、ステップ3に戻ります。
- 直接ダイヤル再入力機能（113 ページの機能#422）を **"ナシ"** に設定すると、ファクス送信先再入力メッセージは表示されません。

7 ファクス送信先確認表示で送信先を確認する。→ **【スタート】**
- **"ヨミトリハ　［セット］ヲ　オス"　"ソウシンハ　［スタート］ヲ　オス"** が表示されるまでお待ちください。
- 送信先確認機能（113 ページページの機能#420）を **"ナシ"** に設定すると、ファクス送信先確認メッセージは表示されません。

8 **1ページを送信するには**
【スタート】を押す。
複数ページを送信するには
1. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置く。→ **【セット】**
   - さらにページを送信するには、このステップを繰り返してください。
2. すべてのページがスキャンされたら、**【スタート】**を押す。

お知らせ
- 送信を中止する方法については、143 ページを参照してください。
- 相手先との通話中に、**【スタート】**の後に **【1】** を押して、ファクスを送信することができます（ファクスを受信するには、**【2】** を押してください）。
- 操作モードの初期値（109 ページの機能#463）と、操作モードの初期値に戻るまでのタイマー（109 ページの機能#464）を変更することができます。

読取画質を選択する

1 **【画質】**を押す。

2 **【▼】**または **【▲】** を繰り返し押して、読取画質を選択する。
– **"フツウ"** ：通常サイズの文字に適しています。
– **"チイサイ"** ：小さいサイズの文字に適しています。
– **"サイミツ"** ：非常に小さいサイズの文字に適しています。
– **"シャシン"** ：写真、陰影付きの図などに適しています。

3 **【セット】**

- **“チイサイ”**、**“サイミツ”**、および**“シャシン”**設定を使用すると、送信時間が長くなります。

読取濃度を選択する

原稿の暗さまたは明るさに応じて、この設定を調整してください。利用可能なレベルは5段階あります。

1 **【濃度】**を押す。

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、読取濃度を選択する。

3 **【セット】**

お知らせ

- 前の読取濃度設定を保存できます（109 ページの機能#462）。

最後にダイヤルした番号に再ダイヤルする

【再ダイヤル】

- 回線が話し中の場合、本機は自動的にその番号を2回以上再ダイヤルします。

お知らせ

- 送信を中止する方法については、143 ページを参照してください。

ファクス送信の予約（二重アクセス）

本機では、ファクス受信中またはメモリーからのファクス送信中でも、ファクス送信を予約することができます。

– 送信中は3件まで予約できます。

– 受信中は4件まで予約できます。

1 ファクス受信中またはメモリーからのファクス送信中に原稿をセットする。

2 テンキー、ワンタッチダイヤル、または電話帳を使用して、ファクス番号を入力する。

3 **原稿台ガラスを使用する場合、【スタート】**を押して、1ページ目をスキャンする。次の原稿を原稿台ガラスの上に置いて、**【セット】**を押す。この操作を繰り返してすべての原稿をスキャンし、**【スタート】**を押す。
自動原稿送り装置を使用する場合、【スタート】を押す。

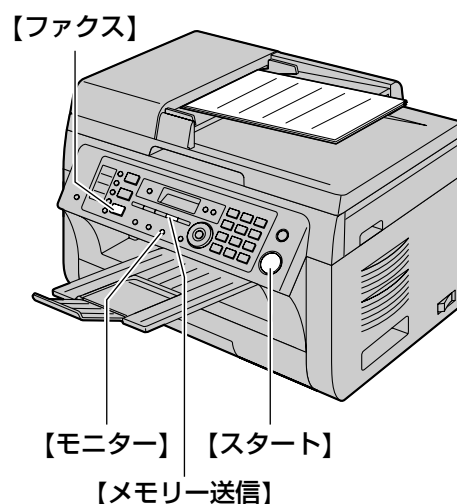
- 原稿がメモリー容量を超えると、原稿の予約は中止されます。この場合、すべての原稿を手動で送信する必要があります。

ファクス送信結果レポートの印刷

ファクス送信結果レポートには、通信結果の記録が印刷されます。ファクス送信結果レポートを印刷するには、機能#401が有効になっていることを確認してください（110 ページ）。メッセージの説明については、144 ページを参照してください。

通信履歴レポートの印刷

通信履歴レポートには、最近30件のファクスの記録が印刷されます。手動で印刷する方法については、177 ページを参照してください。新規ファクスの送受信30件ごとに通信履歴レポートを自動的に印刷するには、機能#402が有効になっていることを確認してください（110 ページ）。メッセージの説明については、144 ページを参照してください。

自動原稿送り装置の使用

1 **【ファクス】**ライトが消えている場合、**【ファクス】**を押して点灯させる。

2 原稿をセットする（29 ページ）。

3 必要に応じ、原稿のタイプに基づいて読取画質と読取濃度を変更する。
- 読取画質の選択方法については、76 ページを参照してください。
- 読取濃度の選択方法については、77 ページを参照してください。

4 **【モニター】**

5 ファクス番号をダイヤルする。

6 **ファクス音が聞こえた場合**
【スタート】を押す。
相手先が着信に応答した場合
ハンドセットを持ち上げて、スタートボタンを押すように依頼する。ファクス音が聞こえたら、**【スタート】**を押す。

お知らせ

- **【スタート】**を押したら、ハンドセットを戻してください。
- 送信を中止する方法については、143 ページを参照してください。
- 自動原稿送り装置を使用してファクスを送信しているときには、ADFを開けないでください。

ファクス番号の事前ダイヤル

1 ファクス番号を入力する。

2 原稿をセットする（29 ページ）。→ **【スタート】**

3 ファクス送信先再入力メッセージが表示されたら、もう一度テンキーを使用してファクス番号をダイヤルする。→ **【スタート】**

4 ファクス送信先確認表示で送信先を確認する。→ **【スタート】**

メモリーからの送信（メモリー送信機能）

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 ファクス番号を入力する。→ **【メモリー送信】**

3 ファクス送信先再入力メッセージが表示されたら、もう一度テンキーを使用してファクス番号をダイヤルする。→ **【スタート】**

4 ファクス送信先確認表示で送信先を確認する。→ **【スタート】**

8.1.2 ワンタッチダイヤル機能と電話帳を使用してファクスを送信する

この機能を使用する前に、送信先の名前と電話番号をワンタッチダイヤル機能と電話帳に登録してください（69 ページ）。

- **【ファクス】**ライトが点灯していることを確認してください。

原稿台ガラスの使用

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 必要に応じて、読取画質（76 ページ）と読取濃度（77 ページ）を変更する。

3 ファクス番号を入力する。
ワンタッチ1～3の使用
目的のワンタッチキーを押す。
ワンタッチ4～6の使用
【シフト】を押してから、目的のワンタッチキーを押す。
電話帳の使用
【►】を押してから、**【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、目的の項目を選択する。

4 **【スタート】**

5 ファクス送信先確認表示で送信先を確認する。→ **【スタート】**

- **"ヨミトリハ [セット] ヲ オス" "ソウシンハ [スタート] ヲ オス"**が表示されるまでお待ちください。
- 送信先確認機能（113 ページの機能#420）を**"ナシ"**に設定すると、ファクス送信先確認メッセージは表示されません。

6 **1ページを送信するには**
【スタート】を押す。
複数ページを送信するには

1. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置く。→ **【セット】**
   - さらにページを送信するには、このステップを繰り返してください。
2. すべてのページがスキャンされたら、**【スタート】**を押す。

名前を頭文字で検索する

例：“マツシタ タロウ”

1. 【►】

2. 【▼】または【▲】を押して、電話帳を開く。

3. 【7】を繰り返し押して、頭文字が**“マ”**の名前を表示する（文字入力については138 ページを参照）。
- 記号を検索するには、【*】を押してください。

4. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“マツシタ タロウ”**を選択する。
- 検索を中止するには、【ストップ】を押してください。

ファクス自動再ダイヤル

回線が話し中の場合、または相手先の応答がない場合、本機は自動的にその番号を2回以上再ダイヤルします。

お知らせ

- 送信を中止する方法については、143 ページを参照してください。

自動原稿送り装置の使用

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 必要に応じて、読取画質（76 ページ）と読取濃度（77 ページ）を変更する。

3 ワンタッチダイヤルまたは電話帳を使用して、ファクス番号を入力する。

4 【スタート】

5 ファクス送信先確認表示で送信先を確認する。→【スタート】

8.1.3 同報送信

同じ原稿を複数の送信先に一度に送信できます（20箇所まで）。この機能を使用する前に、ファクス番号を同報送信メモリーに登録してください。
登録した項目は同報送信メモリーに残るため、頻繁に使用するときには便利です。

- 同報送信機能では、ワンタッチ1～2を使用します。同報送信機能を設定したワンタッチキーのワンタッチダイヤル機能は無効になります。
- 【ファクス】ライトが点灯していることを確認してください。

同報送信メモリーに項目を登録する

1 【機能】を繰り返し押して、**“デンワチョウ　トウロク”**を選択する。

2 目的の【同報通信】（ワンタッチキー1または2）を押す。

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“ドウホウソウシン”**を選択する。

4 【セット】

5 送信先を設定する。
ワンタッチ1～3から登録する場合
目的のワンタッチキーを押す。
ワンタッチ4～6から登録する場合
【シフト】を押してから、目的のワンタッチキーを押す。
電話帳から登録する場合
【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→【セット】
- かっこ内の数字は、登録された送信先件数を表しています。
- 他の送信先を設定するには、このステップを繰り返してください。
- 間違った送信先を設定した場合は、【ストップ】を押して消去してください。

6 【セット】
- 他の同報送信キーを登録するには、ステップ2～6を繰り返してください。

7 【ストップ】

同報送信メモリーに新規項目を追加する

1 【►】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の同報送信メモリー（**“<ドウホウ　ソウシン1>”**または**“<ドウホウ　ソウシン2>”**）を選択する。→**【機能】**→**【*】**

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、追加する項目を選択する。→**【セット】**
- その他の項目を追加するには、このステップを繰り返してください（20項目まで）。

4 **【ストップ】**

登録されている項目を同報送信メモリーから消去する

1 【►】

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の同報送信メモリー（**“<ドウホウ　ソウシン1>”**または**“<ドウホウ　ソウシン2>”**）を選択する。→**【機能】**→**【#】**

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、消去する項目を選択する。
- 消去を中止するには、**【ストップ】**を押してください。

4 **【セット】**→**【セット】**→**【ストップ】**

登録済み送信先に同じ原稿を送信する

原稿台ガラスを使用して送信する

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 必要に応じて、読取画質（76 ページ）と読取濃度（77 ページ）を変更する。

3 目的の**【同報通信】**を押す。

4 ファクス送信先確認表示で送信先を確認する。→**【スタート】**
- **“ヨミトリハ　［セット］ヲ　オス”　“ソウシンハ　［スタート］ヲ　オス”**が表示されるまでお待ちください。
- 送信先確認機能（113 ページの機能#420）を**“ナシ”**に設定すると、ファクス送信先確認メッセージは表示されません。

5 **1ページを送信するには**
【スタート】を押す。
複数ページを送信するには
1. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置く。→**【セット】**
   - さらにページを送信するには、このステップを繰り返してください。
2. すべてのページがスキャンされたら、**【スタート】**を押す。

お知らせ
- 送信を中止する方法については、143 ページを参照してください。
- 読取画質として**“チイサイ”**、**“サイミツ”**、または**“シャシン”**読取画質を選択すると、本機で送信できるページ数は減ります。
- 原稿がメモリー容量を超えると、送信は中止されます。
- 回線が話し中または応答しない送信先はスキップされて、後で2回以上再ダイヤルされます。
- 送信後、レポート（**同報送信結果レポート**）が自動的に印刷されます。

自動原稿送り装置を使用して送信する

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 必要に応じて、読取画質（76 ページ）と読取濃度（77 ページ）を変更する。

3 目的の**【同報通信】**を押す。

4 ファクス送信先確認表示で送信先を確認する。→**【スタート】**

一度だけ同じ原稿を送信する

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 必要に応じて、読取画質（76 ページ）と読取濃度（77 ページ）を変更する。

3 【►】

4 【▼】または【▲】を押して、**“<タンパツ　ドウホウ>”**を選択する。→**【セット】**

5 送信先を設定する。
ワンタッチ1～3から登録する場合
目的のワンタッチキーを押す。
ワンタッチ4～6から登録する場合
【シフト】を押してから、目的のワンタッチキーを押す。
電話帳から登録する場合
【▼】または【▲】を押して、目的の項目を表示する。→ 【セット】

- 他の項目を登録するには、このステップを繰り返してください。

6 **原稿台ガラスを使用する場合**

1. **【スタート】**
   - 1ページ目の原稿がスキャンされます。
2. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置く。→ **【セット】**
   - さらにページをスキャンするには、このステップを繰り返してください。
3. すべてのページがスキャンされたら、**【スタート】**を押す。

自動原稿送り装置を使用する場合
【スタート】

8.1.4 コンピューターファイルをファクスメッセージとしてコンピューターから送信する

WindowsアプリケーションからMulti-Function Stationを使用してファクス機能にアクセスできます。たとえば、ワードパッドで作成したドキュメントを送信するには、次の手順に従います。

1 送信するドキュメントを開く。

2 **[ファイル]** メニューから **[印刷...]** を選択する。

- **[印刷]** ダイアログボックスが表示されます。

3 プリンター一覧からPCファクスの名前を選択する。

4 **[印刷]** をクリックする。

- **[ファクス送信]** ダイアログボックスが表示されます。

5 テンキーディスプレイまたは親機の電話帳を使用して、ファクス番号を入力する。

- テンキーディスプレイを使用して **[宛先]** に直接ファクス番号を入力した場合、**[宛先（再入力)]** に再度ファクス番号を入力してください。
- 操作を中止するには、**[キャンセル]** をクリックしてください。

6 **[送信]**

7 ファクス送信先確認画面で送信先を確認する。

8 **[OK]**

- ドキュメントがコンピューターから本機を介して送信されます。

お知らせ

- 送信を中止する方法については、143 ページを参照してください。
- ドキュメントが本機のメモリー容量を超えると、送信は中止されます。
- 詳細については、Multi-Function Stationから［💡］を選択し、ヘルプファイルを参照してください。
- **［選択...］**をクリックすると、アクティブなプリンターを変更できます。

ファクス誤送信を防止する

1 Multi-Function Stationを起動する。→ **［PCファクス］**

2 **［ツール］** → **［機能設定...］**

3 **［送信］**リストから、目的の設定を選択する。

– **［送信時に確認ダイアログを表示する］**：ファクスの送信前に、ファクス番号の確認ダイアログボックスが表示されます。

– **［ファクス番号の直接入力は行わない］**：電話帳に登録されているファクス番号のみを選択できます。

– **［ファクス番号の再入力確認を行う］**：テンキーディスプレイを使用してファクス番号を入力する場合、番号の再入力が必要です。

4 **［OK］**

お知らせ

- 各機能の詳細については、**［ヘルプ］**をクリックしてください。

8.2 ファクス受信

8.2.1 用途を選択する

状況に応じて、本機の主な使用方法を選択してください。

– 留守番電話およびファクスとして使用する（留守電／ファクスモード）
– ファクスとしてのみ使用する（ファクス専用モード）
– 主に電話として使用する（手動受信モード）
– 電話またはファクスとして使用する（ファクス／電話切替（F/T切替）モード）

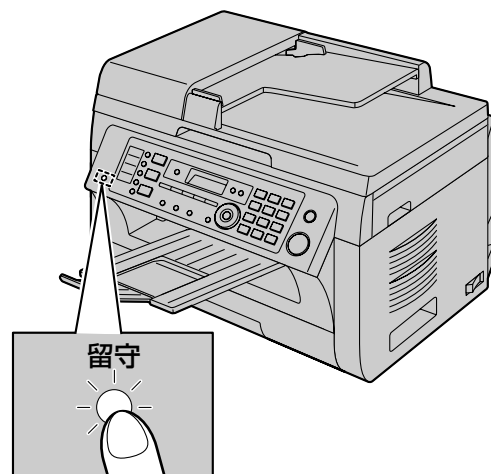
留守番電話およびファクスとして使用する（留守電／ファクスモード）

使用状況

電話の着信は留守番電話を使用し、ファクスは自動応答したい。

セットアップ

【留守】を繰り返し押して、本機を留守電／ファクスモード（84 ページ）に設定します。

- 親機の**【留守】**ライトが点灯します。

お知らせ

- 事前に機能#400が **“ルスデン／ファクス”** に設定されていることを確認してください（108 ページ）。
- 受信したファクス文書や音声メッセージをあらかじめ設定したEメールアドレスに自動転送す

ることができます。機能の詳細については、141 ページを参照してください。

- 留守番電話機を同じ電話回線に接続しないでください。同じ電話回線に接続する場合は、**【留守】**を繰り返し押して、自動応答をオフに設定してください。

電話の応答方法とファクスの受信方法

着信が電話の場合、本機は自動的に相手のメッセージを録音します。ファクス音が検知されると、ファクスが自動的に受信されます。

ファクスとしてのみ使用する（ファクス専用モード）

使用状況

ファクス専用の電話回線がある、または本機をファクス受信専用として使用したい。

セットアップ

【留守】を繰り返し押して、本機をファクス専用（85 ページ）に設定します。

- 親機の**【留守】**ライトが点灯します。

お知らせ

- 事前に機能#400が**“ファクス　センヨウ”**に設定されていることを確認してください（108 ページ）。
- 受信したファクス文書をあらかじめ設定したEメールアドレスに自動転送することができます。機能の詳細については、141 ページを参照してください。

ファクスの受信方法

すべての着信がファクスとして応答されます。

主に電話として使用する（手動受信モード）

使用状況

着信には自分で応答したい。ファクスが着信した場合、ファクスを手動で受信する必要がある。

セットアップ

【留守】を繰り返し押して、本機を手動受信モード（85 ページ）に設定します。

- 親機の**【留守】**ライトが消灯します。

お知らせ

- 事前に機能#404が**“シュドウ　ジュシン”**に設定されていることを確認してください（109 ページ）。

電話の応答方法とファクスの受信方法

すべての着信に手動で応答する必要があります。ファクスを受信するには、**【スタート】**、**【2】**の順に押します。

電話またはファクスとして使用する（ファクス／電話切替（F/T切替）モード）

使用状況

電話には自分で応答したいが、ファクスの場合は呼び出し音なしで自動的に受信したい。

セットアップ

【留守】を繰り返し押して、本機をファクス／電話切替モード（86 ページ）に設定します。

- 親機の**【留守】**ライトが消灯します。

お知らせ

- 事前に機能#404が**“F／T　キリカエ”**に設定されていることを確認してください（109 ページ）。

電話の応答方法とファクスの受信方法

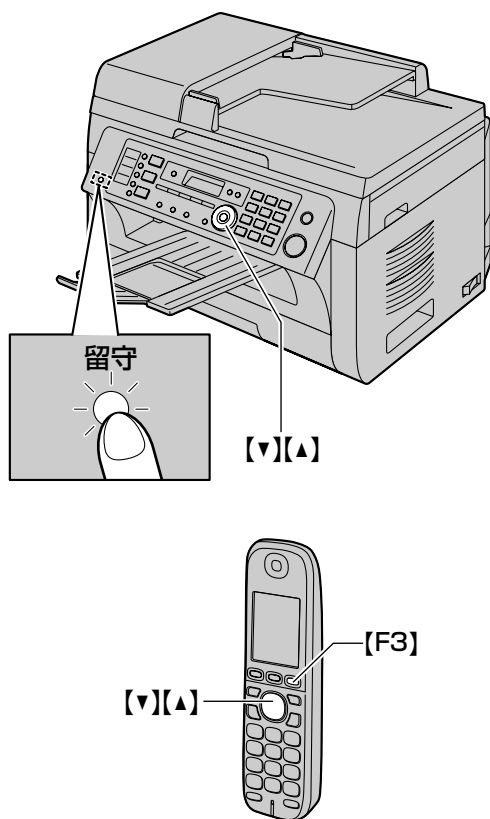
着信が電話の場合、呼び出し音が鳴ります。 ファクス音が検知されると、呼び出し音なしでファクスが自動的に受信されます。

8.2.2 ファクスを自動で受信する：自動応答オン

- A4またはレターサイズの用紙を使用することができます。

留守電／ファクスモードを有効にする

1 事前に機能#400が **"ルスデン／ファクス"** に設定されていることを確認する（108 ページ）。

2 **【留守】**を繰り返し押して、 **"ルスデン／ファクスモード"** を選択する。
- 応答メッセージが流れている間に、**【▼】**または**【▲】**を繰り返し押すと、スピーカーの音量を調整することができます。
- 子機を使用して留守電／ファクスモードを有効にするには、**【F3】**を繰り返し押してください。応答メッセージが流れます。
- 親機の**【留守】**ライトが点灯します。

お知らせ
- 着信メッセージの最大録音時間を変更することができます（119 ページの機能#305）。

電話の応答方法とファクスの受信方法

着信があると、本機は留守番電話またはファクスとして機能します。

お知らせ
- 並列電話で電話に応答する場合でも、並列電話のタイプに応じて、留守番電話が電話に応答し続けることがあります。この場合、ハンドセットを持ち上げて、**【✽】【0】**（自動切断コード（115 ページの機能#435）の初期値）を押し、相手と通話してください。

1回の着信で音声メッセージとファクスを受信する方法

発信者は音声メッセージを残した後、電話を切らずにファクス文書を送信することができます。事前に、発信者に次の手順を伝えておく必要があります。

1 発信者が本機に電話をかける。
- 留守番電話が応答します。

2 発信者は応答メッセージを聞いた後にメッセージを残すことができる。

3 発信者が**【✽】【#】【9】**（自動受信コード（114 ページの機能#434）の初期値）を押す。
- 本機のファクス機能が有効になります。

4 発信者はスタートボタンを押して、ファクスを送信する。

留守電／ファクスモードの呼び出し回数の変更

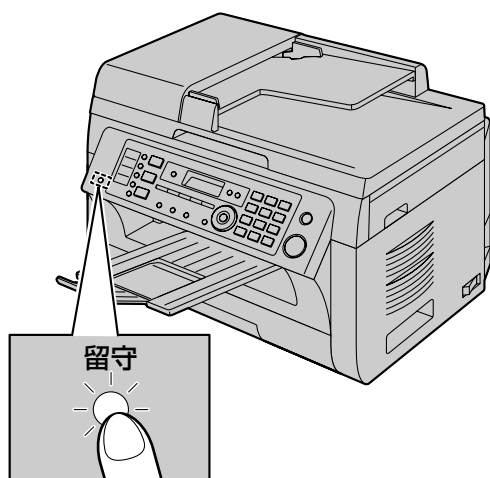
"ジドウ"、 **"2"** （初期値）、 **"3"**、 **"4"**、 **"5"**、 **"6"**、 **"7"** から選択できます。この設定は、107 ページの機能#211を使用して変更できます。

– **"ジドウ"** ：本機は、新しいメッセージが録音されている場合は2回または3回の呼び出し音の後に応答し、新しいメッセージがない場合は5回または6回の呼び出し音の後に応答します。外出先から本機に電話をかけて新しいメッセージを聞く場合（99 ページ）、本機が4回呼び出し音を鳴らした時点で、新しいメッセージがないことがわかります。これで、通話料金を発生させずに電話を切ることができます。

ファクス専用モードを有効にする

1 事前に機能#400が**“ファクス　センヨウ”**に設定されていることを確認する（108 ページ）。

2 **【留守】**を繰り返し押して、**“ファクス　センヨウ モード”**を選択する。

- 子機を使用してファクス専用モードを使用するには、**【F3】**を繰り返し押してください。
- 親機の**【留守】**ライトが点灯します。

ファクスの受信方法

- 着信があると、本機はすべての着信に自動で応答し、ファクスのみを受信します。

お知らせ

- ファクス専用モードでの応答までの呼び出し回数は変更できます（107 ページの機能 #210）。

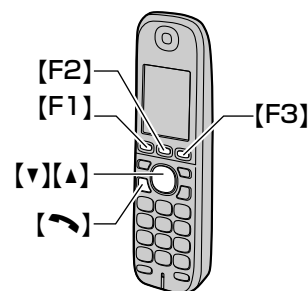
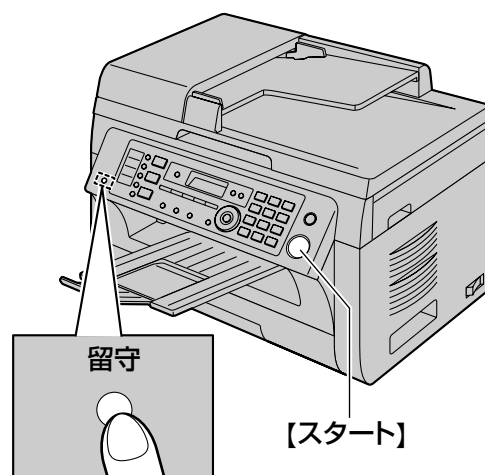
8.2.3 ファクスを手動で受信する：自動応答オフ

- A4またはレターサイズの用紙を使用することができます。

手動受信モードを有効にする

1 事前に機能#404が**“シュドウ　ジュシン”**に設定されていることを確認する（109 ページ）。

2 **【留守】**を繰り返し押して、**“シュドウ　ジュシン モード”**を選択する。

- 子機を使用して手動受信モードを有効にするには、**【F3】**を繰り返し押してください。
- 親機の**【留守】**ライトが消灯します。

親機のハンドセットを使用して電話およびファクスを受信する方法

1 ハンドセットを持ち上げ、着信に応答する。

2 次の場合：

– ファクスの受信を要求されている

– ファクス音（ポーポー音）が聞こえる

– 音が全く聞こえない

【スタート】を押してから**【2】**を押す。

3 ハンドセットを戻す。

お知らせ

- 受信を中止する方法については、143 ページを参照してください。

子機を使用してファクスを受信する方法

1 充電台から子機を取り、【 】を押して着信に応答する。

2 次の場合：
- ファクスの受信を要求されている
- ファクス音（ポーポー音）が聞こえる
- 音が全く聞こえない

【F1】を押す。

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して **"ファクス ジュシン"** を選び、【F2】を押す。

4 【F1】

並列電話を使用してファクスを受信する方法

同じ電話回線に別の電話が接続されている場合（並列電話）、並列電話を使用してファクスを受信できます。

1 並列電話の呼び出し音が鳴ったとき、並列電話のハンドセットを持ち上げる。

2 次の場合：
- ファクス文書の受信が必要である
- ファクス音（ポーポー音）が聞こえる
- 音が全く聞こえない

【*】【#】【9】（自動受信コード（114 ページの機能#434）の初期値）を**確実に**押す。

3 ハンドセットを戻す。

お知らせ

- 受信を中止する方法については、143 ページを参照してください。
- 並列電話を使用してファクス文書を受信する場合、事前にリモート受信（114 ページの機能#434）が **"アリ"** になっていることを確認してください。初期値では、**"アリ"** になっています。

1回線に複数台接続するとき（並列接続）

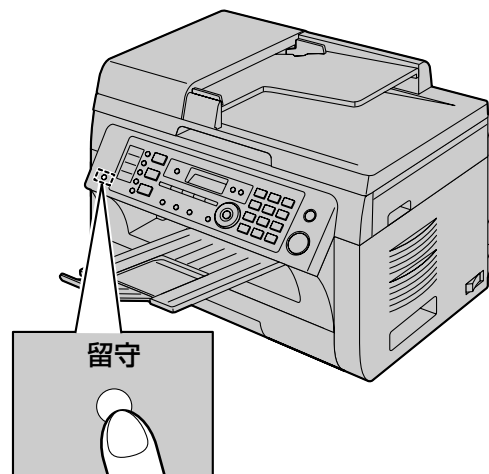
並列接続する電話機によっては、本機および電話機が使えなくなることがあります。

- 発信者番号表示サービス、発信者番号表示機能付きキャッチホンサービスを利用しているときは、並列接続しないでください（誤動作の原因になります）。
- コードレスタイプの電話機を並列接続すると、子機が使えなくなることがあります。
- ファクス送受信中は、並列電話機の受話器を取らないでください（誤動作の原因になります）。

ファクス／電話切替（F/T切替）モードを有効にする

1 事前に機能#404が **"F／T　キリカエ"** に設定されていることを確認する（109 ページ）。

2 **【留守】**を繰り返し押して、**"F／T　キリカエ モード"** を選択する。
- 子機を使用してファクス／電話切替モードを使用するには、【F3】を繰り返し押してください。
- 親機の**【留守】**ライトが消灯します。

3 呼び出し音量設定がオンになっている必要がある（31 ページ）。

電話の応答方法とファクスの受信方法

1 **"ガイセン　チャクシン　チュウ"** が表示されるが、呼び出し音は鳴らない。

2 本機は、着信に応答する前に、**呼び出し音が2回**鳴るまで待機する。
- 呼び出し回数は**無鳴動呼び出し**で指定されています（110 ページの機能#212）。
- この間、並列電話の呼び出し音は鳴ります。

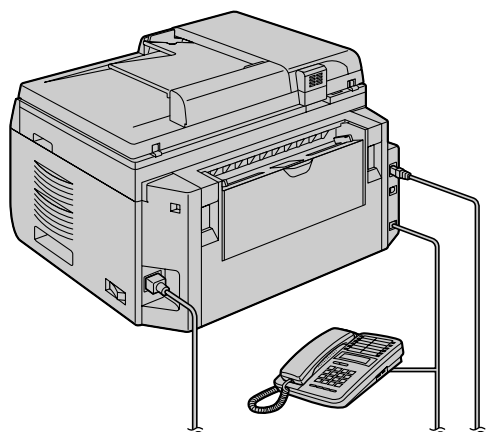
3 本機が着信に応答し、ファクス音の有無を検知する。

ファクス音が検知された場合

呼び出し音を鳴らさずにファクスを自動で受信します。

ファクス音が検知されない場合

❶本機は呼び出し音を**3回**鳴らします。着信に応答することができます。

- 本機のハンドセットを使用して応答するには、ハンドセットを持ち上げて、相手と通話してください。
- 本機と同じ電話回線に接続されている別の電話を使用して応答するには、ハンドセットを持ち上げて、**【∗】【0】**（自動切断コード（115 ページの機能#435）の初期値）を押し、相手と通話してください。

- 呼び出し回数は**ファクス／電話呼び出し回数**で指定されています（115 ページの機能#436）
- 発信者には、電話会社によって生成されるものとは異なる呼び出し音（発信者向け）が聞こえます。

❷着信に応答しないと、ファクス機能が有効になります。

- ファクス機の中にはファクス送信時にファクス音を生成しない機種があるため、本機はファクス音が検知されない場合でもファクスの受信を試みます。

8.2.4 迷惑ファクス防止（迷惑発信者からのファクス受信を防止する）

発信者番号表示サービス（73 ページ）への申し込みが完了している場合、この機能を使用すると、発信者番号が非通知のファクスを受信拒否できます。
さらに、本機では、登録式の迷惑ファクス防止リストに含まれている番号からのファクスも拒否できます。

お知らせ

- **ファクスを手動で受信する場合、この機能は利用できません。**

迷惑ファクス防止を有効にする

1 **【機能】**を繰り返し押して、**"メイワク　ファクス ボウシ"**を選択する。→**【►】**

2 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、**"アリ"**を選択する。→**【セット】**

3 **【ストップ】**を押して終了する。

迷惑発信者の登録

着信メモリーリスト（74 ページ）から迷惑番号を20件まで登録することができます。登録した番号からファクスが送信されてきた場合、受信を拒否できます。

1 **【機能】**を繰り返し押して、**"メイワク　ファクス ボウシ"**を選択する。

2 **【►】**を繰り返し押して、**"メイワク　ファクス セッテイ"**を選択する。→**【セット】**

3 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、ファクスを受信したくない相手先を選択する。→**【セット】**

4 **【ストップ】**を2回押して終了する。

迷惑ファクス防止リストを表示する

1 **【機能】**を繰り返し押して、**"メイワク　ファクス ボウシ"**を選択する。

2 **【►】**を繰り返し押して、**"メイワク　リスト ヒョウジ"**を選択する。→**【セット】**

3 **【▼】**または**【▲】**を押して、リストの項目を表示する。

4 【ストップ】を押して終了する。

迷惑ファクス防止リストを印刷する

1 【機能】を繰り返し押して、**"メイワク　ファクス ボウシ"**を選択する。

2 【►】を繰り返し押して、**"メイワク　リスト　インサツ"**を選択する。→【セット】

3 【ストップ】を押して終了する。

迷惑ファクス防止リストの項目を消去する

1 【機能】を繰り返し押して、**"メイワク　ファクス ボウシ"**を選択する。

2 【►】を繰り返し押して、**"メイワク　リスト ヒョウジ"**を選択する。→【セット】

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→【消去】

- 消去を中止するには、【ストップ】を押してから【機能】を押してください。

4 【セット】→【機能】

8.2.5 コンピューターでファクスを受信する

コンピューターでファクス文書を受信することができます。受信したファクス文書はイメージファイル（TIFF-G4形式）として保存されます。

お知らせ

- **42 ページ「ファクス機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**
- **見てから印刷機能が"ナシ"になっていることを事前に確認してください（89 ページの機能#448）（LAN接続のみ）。**

1 【留守】を繰り返し押して、自動応答をオンに設定する（84 ページ）。

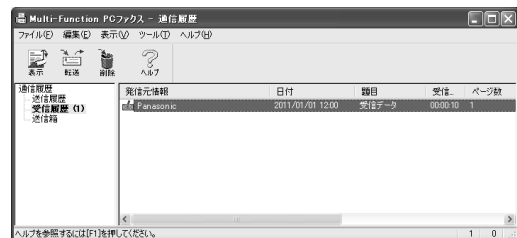
2 Multi-Function Stationを起動する。→［PCファクス］

3 ファクスが着信すると、コンピューターが本機を経由して文書を受信する。

お知らせ

- インターネットファクス（90 ページ）の文書もコンピューターで受信することができます。
- 受信したファクス文書は、コンピューターを使用して、表示、印刷、または転送することができます。ただし、インターネットファクスで受信した文書は転送できません。
- コンピューターに転送されたメッセージは本機から消去されます。

受信したファクス文書の表示

1 Multi-Function Stationから［PCファクス］を選択する。

2 ［通信履歴］の［受信履歴］を選択する。

3 表示したい項目をクリックする。

4 メニューバーの［ファイル］をクリックし、［表示］を選択するか、ツールバーの［表示］アイコンをクリックする。

- 受信したファクスが表示されます。

受信したファクス文書が本機のメモリーに保存されている場合

ファクス文書をコンピューターに読み込むことができます。

1 Multi-Function Stationから［PCファクス］を選択する。

2 ［通信履歴］の［受信履歴］を選択する。

3 メニューバーの［ファイル］をクリックする。→［ファクス受信］

- PCファクス設定（116 ページの機能#442）を有効にしておくと、受信したファクス文書は自動的にコンピューターに転送されます。

8.2.6 Web見てから印刷（LAN接続のみ）

受信したファクス文書をWebブラウザーで表示し、イメージを確認した後に、必要な文書を印刷または保存することができます。

お知らせ

- **本機を初めて使用するときは、Web見てから印刷は有効になっていません。42 ページの「ファクス機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

見てから印刷機能を有効にする

1 【機能】→【♯】【4】【4】【8】

2 【1】を押して、“アリ”を選択する。

- 機能を無効にする場合は、【0】を押して、“ナシ”を選択してください。

3 【セット】→【機能】

お知らせ

- “アリ”を選択すると、PCファクス設定（116 ページの機能#442）は無効になります。
- “アリ”を選択すると、メモリーがいっぱいになる可能性があります。受信したファクス文書は、内容を見るか印刷したあと、できるだけ早く消去してください（89 ページ）。

Web見てから印刷アクセスコードを登録する

1 【機能】→【♯】【4】【5】【0】→【セット】

2 パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→【セット】

3 英数字を使用して、Web見てから印刷のアクセスコード（8文字まで）を入力する（文字入力については138 ページを参照）。

- 【0】または【1】を使用すると、次の記号も入力できます。
  ! @ # $ % ^ & ’) (. − _ { }

4 【セット】→【機能】

お知らせ

- Web見てから印刷のアクセスコードが登録されていない（空白の）場合、Web見てから印刷機能を有効にすることはできません。

受信したファクス文書をWebブラウザーで表示する

お知らせ

- **本機が使用中でないことを確認してください。**

1 Multi-Function Stationを起動する。

2 **[ユーティリティー]** → **[Webサーバー]** → **[本体機能設定]**

3 ユーザー名として“**root**”と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ **[OK]**

4 **[Web見てから印刷]** タブを選択する。

5 Web見てから印刷のアクセスコードを入力する（89 ページの機能#450）。→ **[OK]**

- 受信したファクス文書のリストが表示されます。

6 目的のアイコンをクリックして、ファクス文書を表示、印刷、または保存する。

- ファクス文書を表示している間、拡大や回転などの操作ができます。

7 Webブラウザーを閉じる。

お知らせ

- 表示速度は受信したファクス文書の内容およびサイズに応じて異なります。
- 受信したファクス文書はイメージファイル（PDF形式）として保存されます。表示するには、Adobe Readerが必要です。

“✓”の意味

“✓”がディスプレイに表示されている場合、そのイメージファイルは既に表示済み、印刷済み、または保存済みであることを表しています。

- ステップ6でファクス文書を表示した後に原稿を消去するには、**[戻る]** をクリックして、リストに戻ってください。“✓”の表示されているイメージファイルを消去できます。
- ステップ6でファクス文書を印刷または保存した後に消去するには、**[更新]** をクリックして、リスト

を更新してください。“✓”の表示されているイメージファイルを消去できます。

8.3 インターネットファクス（LAN接続のみ）

インターネットを通して、原稿をEメールの添付ファイル（TIFF-F形式）として送受信する機能です。相手がインターネットファクス対応機の場合、Eメールサーバーを介さずに直接原稿を送信することもできます。

お知らせ

- **42 ページ「ファクス機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

8.3.1 インターネットファクスを送信する

- アドレスリストやワンタッチキーを使用する場合は、送信先のEメールアドレスを登録してください（129 ページ）。
- **【ファクス】**ライトが点灯していることを確認してください。

原稿台ガラスを使用してインターネットファクスを送信する

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 必要に応じ、原稿のタイプに基づいて読取画質（76 ページ）と読取濃度（77 ページ）を変更する。

3 **【Eメール】**を繰り返し押して**“Eメール　ソウシン”**を選択する。→**【セット】**

4 送信先を選択する。
直接アドレスを入力する場合
【▼】または**【▲】**を繰り返し押して**“アドレス ニュウリョク”**を選択する。→**【セット】**→宛先のEメールアドレスを入力する。
ワンタッチ1～3を使用する場合
目的のワンタッチキーを押す。
ワンタッチ4～6を使用する場合
【シフト】を押し、目的のワンタッチキーを押す。
アドレスリストを使用する場合
【▼】または**【▲】**を繰り返し押して、目的の宛先を選択する。

5 【セット】
- 直接アドレスを入力した場合、ファクス送信先再入力メッセージが表示されたら、もう一度Eメールアドレスを入力する。→【スタート】

6 ファクス送信先確認表示で送信先を確認する。→【スタート】
- **"ヨミトリハ　[セット]ヲ　オス"　"ソウシンハ　[スタート]ヲ　オス"**が表示されるまでお待ちください。
- 送信先確認機能（113 ページの機能#420）を**"ナシ"**に設定すると、ファクス送信先確認メッセージは表示されません。

7 **1ページを送信するには**
【スタート】を押す。
複数ページを送信するには
1. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置く。→【セット】
  - さらにページを送信するには、このステップを繰り返してください。

2. すべてのページがスキャンされたら、【スタート】を押す。

インターネットファクス自動再送信

LAN接続が正常に行われなかったり、相手先の応答がない場合、本機は自動的に2回以上再送信します。

自動原稿送り装置を使用してインターネットファクスを送信する

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 必要に応じ、原稿のタイプに基づいて読取画質（76 ページ）と読取濃度（77 ページ）を変更する。

3 【Eメール】を繰り返し押して**"Eメール　ソウシン"**を選択する。→【セット】

4 送信先を選択する。
直接アドレスを入力する場合
"アドレス　ニュウリョク"→【セット】→宛先のEメールアドレスを入力する。
ワンタッチ1～3を使用する場合
目的のワンタッチキーを押す。
ワンタッチ4～6を使用する場合
【シフト】を押し、目的のワンタッチキーを押す。
アドレスリストを使用する場合
【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の宛先を選択する。

5 【セット】
- 直接アドレスを入力した場合、ファクス送信先再入力メッセージが表示されたら、もう一度Eメールアドレスを入力する。→【スタート】

6 ファクス送信先確認表示で送信先を確認する。→【スタート】

8.3.2 インターネットファクスで同報送信する

同じ原稿を複数の送信先に一度に送信できます（20箇所まで）。この機能を使用する前に、送信先のEメールアドレスをインターネット同報送信の宛先に登録してください。
- 同報送信機能では、ワンタッチ1と2を使用します。同報送信機能を設定したワンタッチキーのワンタッチダイヤル機能は無効になります。
- 【ファクス】ライトが点灯していることを確認してください。

インターネット同報送信の宛先を登録する

1 【機能】を繰り返し押して、**"Eメール　アドレス　トウロク"**を選択する。

2 【◄】または【►】を繰り返し押して、**"シンキ"**を選択する。→【セット】

3 【同報通信】（ワンタッチキー1または2）を押す。

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**"ドウホウ　ソウシン"**を選択する。

5 【セット】

6 送信先を設定する。
ワンタッチ1～3から登録する場合
目的のワンタッチキーを押す。
ワンタッチ4～6から登録する場合
【シフト】を押してから、目的のワンタッチキーを押す。
アドレスリストから登録する場合
【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→【セット】

- 他の項目を登録するには、ステップ6を繰り返してください。

7 **【セット】**

8 **【ストップ】**

お知らせ

- Webブラウザーを使用して宛先を登録することもできます（130 ページ）。

原稿台ガラスを使用して送信する

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 必要に応じ、原稿のタイプに基づいて読取画質（76 ページ）と読取濃度（77 ページ）を変更する。

3 **【Eメール】**を繰り返し押して**“Eメール　ソウシン”**を選択する。→**【セット】**

4 目的の**【同報通信】**を押す。

5 ファクス送信先確認表示で送信先を確認する。→**【スタート】**

- **“ヨミトリハ　［セット］ヲ　オス”　“ソウシンハ　［スタート］ヲ　オス”**が表示されるまでお待ちください。
- 送信先確認機能（113 ページの機能#420）を**“ナシ”**に設定すると、ファクス送信先確認メッセージは表示されません。

6 **1ページを送信するには**
【スタート】を押す。
複数ページを送信するには

1. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置く。→**【セット】**
   - さらにページを送信するには、このステップを繰り返してください。
2. すべてのページがスキャンされたら、**【スタート】**を押す。

お知らせ

- LAN接続が正常に行われなかったり、相手先の応答がない場合、スキップされて、後で2回以上再送信します。

自動原稿送り装置を使用して送信する

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 必要に応じ、原稿のタイプに基づいて読取画質（76 ページ）と読取濃度（77 ページ）を変更する。

3 **【Eメール】**を繰り返し押して**“Eメール　ソウシン”**を選択する。→**【セット】**

4 目的の**【同報通信】**を押す。

5 ファクス送信先確認表示で送信先を確認する。→**【スタート】**

一度だけ同じ原稿を送信する

1 原稿をセットする（29 ページ）。

2 必要に応じて、読取画質（76 ページ）と読取濃度（77 ページ）を変更する。

3 **【Eメール】**を繰り返し押して**“Eメール　ソウシン”**を選択する。→**【セット】**

4 **【▼】**または**【▲】**を押して**“<タンパツ　ドウホウ>”**を選択する。→ **【セット】**

5 送信先を設定する。
ワンタッチ1～3から登録する場合
目的のワンタッチキーを押す。
ワンタッチ4～6から登録する場合
【シフト】を押してから、目的のワンタッチキーを押す。
アドレスリストから登録する場合
【▼】または**【▲】**を押して、目的の項目を表示する。→**【セット】**

- 他の項目を登録するには、このステップを繰り返してください。

6 **原稿台ガラスを使用する場合**

1. **【スタート】**
   - 1ページ目の原稿がスキャンされます。
2. 次の原稿を原稿台ガラスの上に置く。→**【セット】**
   - さらにページをスキャンするには、このステップを繰り返してください。
3. すべてのページがスキャンされたら、**【スタート】**を押す。

自動原稿送り装置を使用する場合
【スタート】

8.3.3 インターネットファクスを受信する

一定の間隔で自動的にEメールサーバーからインターネットファクスを受信し印刷します。自動受信間隔の設定は114 ページの機能#428で変更することができます。
メールサーバーを介さずに直接送られたインターネットファクスは、受信後すぐに印刷されます。

以下の手順で、受信確認を手動で行うこともできます。

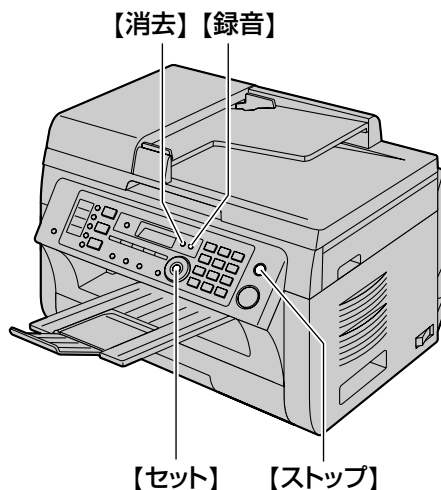
1. **【ファクス】**ライトが点灯していない場合は点灯させる。
2. **【Eメール】**を繰り返し押して**"Eメール ジュシン"**を選択する。
3. **【スタート】**
   - メールサーバーからインターネットファクスを受信し、印刷します。

9.1 録音

9.1.1 自作応答メッセージを録音する

本機は留守電／ファクスモード用に録音済みの2つの応答メッセージを備えています。自作の応答メッセージを録音し、機能#342（119 ページ）を **“ジサク”** に設定すると、着信時に録音済みメッセージの代わりに自作の応答メッセージが再生されます。
応答メッセージの最大録音時間は、20秒です。ファクスを受信しやすくするために応答メッセージの録音時間を12秒以内にすることを推奨します。

お知らせ

- **留守番電話を一度に利用できる（メッセージを聞いたり、応答メッセージを録音したりするなど）のは1人のみです。**
- **発信者がメッセージを残した場合、各メッセージの曜日と時刻が記録されます。日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください（32 ページ）。**

1 **【録音】** → **【セット】**

2 ハンドセットを取る。
- 長いビープ音が聞こえます。

3 はっきりと話して自作の応答メッセージを録音する。

4 録音が完了したら、**【ストップ】**を押す。

5 ハンドセットを戻す。
- 自作応答メッセージが再生されます。

自作応答メッセージの消去

1 **【消去】** → **【消去】** → **【セット】**

2 **【セット】**
- 消去を中止するには、**【ストップ】**を押してください。

お知らせ

- 自作応答メッセージを消去した場合、着信すると、録音済み応答メッセージが再生されます（119 ページの機能#342）。

9.1.2 他の人または自分に音声メッセージを残す（伝言録音）

伝言録音をすると、自分または他の人にプライベートメッセージを残すことができます。録音されるメッセージは、新しいメッセージとして扱われます。

1 **【録音】** → **【録音】** → **【セット】**

2 ハンドセットを取る。
- 長いビープ音が聞こえます。

3 はっきりと話して音声メッセージを録音する。

4 録音が完了したら、**【ストップ】**を押す。

5 ハンドセットを戻す。

お知らせ

- 音声メッセージを再生する方法については、95 ページを参照してください。

9.1.3 通話録音をする

本機では電話の会話を録音することができます。録音されるメッセージは、新しいメッセージとして扱われます。

1 通話中に**【録音】**を押す。

2 **【セット】**
- **“ロクオンマエ　ケイコク?”** が表示されます。

3 **録音することを相手に伝える場合、【セット】**を押す。

- 相手に録音開始を知らせるメッセージが流れた後、録音を開始します。

録音することを相手に伝えない場合、【ストップ】を押す。

- 相手に録音開始を知らせず、録音を開始します。

4 **【ストップ】**を押して録音を停止する。

お知らせ

- 音声メッセージを再生する方法については、95 ページを参照してください。
- 通話録音は、法的に規制されていることがあります。通話を録音していることを相手に伝えてください。

前から録音

通話中、大切な用件を聞き逃した場合などに、会話をさかのぼって録音できます。さかのぼって録音できるのは約1分前です。録音開始後は、最長で約20分間録音することができます。

1 通話中または電話を切る前に**【録音】**を2回押して、**“マエカラ　ロクオン”**を選択する。→**【セット】**

2 **【ストップ】**を押して録音を中止する。

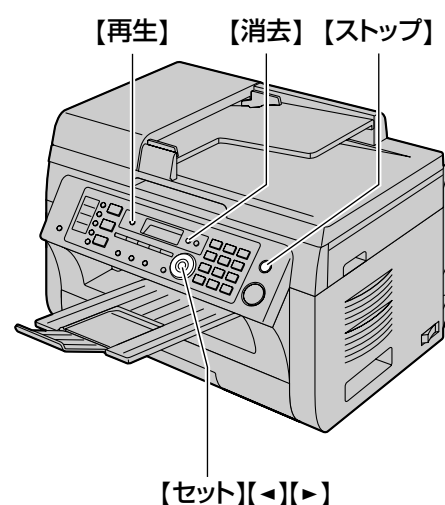
- 録音した内容が保存されます。

9.2 聞く

9.2.1 音声メッセージを聞く

本機が新しい音声メッセージを録音した場合

– **【再生】**ライトが点滅します。

– 音声メッセージの総数が親機のディスプレイに点滅表示します。

メッセージの再生

【再生】を押します。

- **【再生】ライトが点滅している場合**
  新しい音声メッセージが再生されます。
  【再生】ライトが点灯している（点滅ではない）場合
  すべての音声メッセージが再生されます。
- 音声メッセージをEメールアドレスに転送する方法については、96 ページを参照してください。
- 音声メッセージをコンピューターに転送する方法については、97 ページを参照してください。

再生中に役立つ機能

メッセージを繰り返す

メッセージを聞いている間に**【◄】**を押します。

- メッセージの始めから5秒以内に**【◄】**を押すと、前のメッセージが再生されます。
- 特定のメッセージを再生するには、**【◄】**または**【►】**を押して、聞きたいメッセージを検索してください。

メッセージをスキップする

【►】を押して次のメッセージを再生します。

メッセージを一時停止する

メッセージを聞いている間に**【ストップ】**を押します。

- 【再生】を押すと停止したところから再生が再開します。

音声の時刻／曜日スタンプ

再生中に、各メッセージが録音された曜日と時刻が通知されます。

音声メッセージの消去

特定のメッセージを消去する

消去するメッセージを再生中に【消去】を押す。

すべてのメッセージを消去する

1 【消去】→【セット】

2 【セット】

- 消去を中止するには、【ストップ】を押してください。

9.3 音声の転送

9.3.1 特定の音声メッセージをEメールアドレスへ転送する（ボイスtoEメールアドレス）（LAN接続のみ）

特定の音声メッセージ（着信メッセージ、伝言録音メッセージ、および通話録音メッセージ）をEメールの添付ファイルとして送信することができます。音声メッセージは、WAVE（μ-Law）形式のオーディオファイルとして添付されます。

お知らせ

- **45 ページ「録音メッセージの転送・再生機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**
- メッセージ録音後、転送準備に時間がかかる事がありますので、**“サイジッコウ　シテクダサイ”**と表示される場合は、しばらく時間をおいてやり直してください。

1 再生中に【ボイス to PC】を押す。

- 再生が中止されます。

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“Eメールアドレス”**を選択する。→【セット】

3 宛先のEメールアドレスを入力する。

ワンタッチ1～3を使用する場合

目的のワンタッチキーを押す。

ワンタッチ4～6を使用する場合

【シフト】を押し、目的のワンタッチキーを押す。

ナビゲーターキーを使用する場合

【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の宛先を選択する。

テンキーを使用する場合

【セット】を押し、テンキーを使用してEメールアドレスを入力する（138 ページ）。

4 【セット】を押して転送を開始する。

5 転送が完了すると、**“ショウキョ　シマスカ？”**が表示される。

- 転送されたメッセージを消去するには、【セット】を押してください。

- 本機にメッセージを残すには、**【ストップ】**を押してください。

6 **“ツギヲ　サイセイ　シマスカ？”**が表示される。
- 他の音声メッセージの転送を続行するには、**【セット】**を押して、ステップ1～4を繰り返してください。
- この機能を終了するには、**【ストップ】**を押してください。

お知らせ
- 送信できる音声メッセージの最大サイズは、ヘッダーおよびEメールメッセージを含めて5 MB（約7分間）です。

9.3.2 特定の音声メッセージをコンピューターへ転送する（ボイスtoPC）

音声メッセージの再生後、特定の音声メッセージ（着信メッセージ、伝言録音メッセージ、および通話録音メッセージ）をコンピューターに送信することができます。音声メッセージは、WAVE（µ-Law）形式のオーディオファイルとして添付されます。

1 再生中に**【ボイス to PC】**を押す。
- 再生が中止されます。

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“PC”**を選択する。→ **【セット】**

3 **USB接続の場合**
【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“USB セツゾク”**を選択する。
LAN接続の場合
【▼】または【▲】を繰り返し押して、音声メッセージを送信する先のコンピューターを選択する。

4 **【セット】**を押して転送を開始する。

5 転送が完了したら、**“ショウキョ　シマスカ？”**が表示される。
- 転送されたメッセージを消去するには、**【セット】**を押してください。
- 本機にメッセージを残すには、**【ストップ】**を押してください。

6 **“ツギヲ　サイセイ　シマスカ？”**が表示される。
- 他の音声メッセージの転送を続行するには、**【セット】**を押して、ステップ1～4を繰り返してください。
- この機能を終了するには、**【ストップ】**を押してください。

お知らせ
- コンピューターで音声メッセージを聞く方法については、98 ページを参照してください。

9.4 リモート操作

9.4.1 すべての着信音声メッセージをコンピューターで自動受信する

すべての着信音声メッセージは、コンピューターで自動的に受信することができます。受信した音声メッセージは、WAVE（µ-Law）形式のオーディオファイルとして保存されます。

お知らせ

- **45 ページ「録音メッセージの転送・再生機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**
- 伝言録音（94 ページ）および通話録音（94 ページ）は転送されません。
- 録音メッセージの転送には時間がかかる場合があります。

音声メッセージの受信方法

本機に音声メッセージが録音されると、コンピューターは本機を通して音声メッセージを受信します。

お知らせ

- コンピューターに音声メッセージが受信されると、［Multi-Function PC音声管理］ウィンドウが自動的に表示されます。音声メッセージを聞く方法については、98 ページ「音声メッセージを聞く」のステップ3を参照してください。
- コンピューターに転送されたメッセージは本機から消去されます。

音声メッセージを聞く

1 Multi-Function Stationを起動する。

2 **［ユーティリティー］ → ［PC音声管理］**

- **［Multi-Function PC音声管理］**が表示されます。

3 **［音声履歴］**の中から目的のメッセージを選択する。

4 聞く項目を選択し、再生アイコン（①）をクリックして音声メッセージの再生を開始する。

お知らせ

- **［Multi-Function PC音声管理］**の詳細については、**［?］**をクリックし、目的の項目をクリックしてください。

9.4.2 Webブラウザーを使用して音声メッセージを聞く（Web音声管理）（LAN接続のみ）

録音された音声メッセージをWebブラウザーで再生したり、必要なメッセージをWAVE（μ-Law）形式のオーディオファイルとして保存することができます。

お知らせ

- **本機を初めて使用する場合、Web音声管理は有効になっていません。45 ページの「録音メッセージの転送・再生機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。**

Web音声管理モードを有効にする

1 【機能】→【#】【3】【6】【7】

2 【1】を押して、“アリ”を選択する。

- 機能を無効にする場合は、【0】を押して、“ナシ”を選択してください。

3 【セット】→【機能】

お知らせ

- “アリ”を選択した場合、PC音声管理の設定（119 ページの機能#365）は無効になります。

Web音声管理コードの設定

1 【機能】→【#】【3】【6】【8】→【セット】

2 パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→【セット】

3 英数字を使用して、8文字以内のWeb音声管理コードを入力する（文字入力の方法については、138 ページを参照）。

- 【0】または【1】を使用すると、次の記号も入力できます。
  ! @ # $ % ^ & ’) (. - _ { }

4 【セット】→【機能】

お知らせ

- Web音声管理コードが設定されていない（空白の）場合、Web音声管理機能は有効になりません。

音声メッセージを聞く

お知らせ

- 本機が使用中でないことを確認してください。

1 Multi-Function Stationを起動する。

2 [ユーティリティー] → [Webサーバー] → [本体機能設定]

3 ユーザー名として“root”と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→[OK]

4 [Web音声管理] タブを選択する。

5 Web音声管理コードを入力する（99 ページの機能#368）。→ [登録]

- 録音された音声メッセージのリストが表示されます。

6 音声メッセージの再生、保存、または消去を行うには、目的のアイコンをクリックする。

- 音声メッセージを再生している間に、各種操作ができます（停止や音量調整など）。
- 再生アイコンが表示されない場合、または適切に動作しない場合は、音声メッセージをファイルとして保存してから再生してください（これはコンピューター環境によって異なります）。

7 Webブラウザーを閉じる。

お知らせ

- 音声メッセージは、WAVE（μ-Law）形式のオーディオファイルとして保存することができます。

9.4.3 外出先から操作する

プッシュホンを使用すると、外出先から本機に電話をかけてアクセスし、メッセージを聞いたり、自動応答設定を変更したりできます。本機の音声ガイダンスに従って特定のテンキーを押すと、さまざまな操作を実行できます。

お知らせ

- この機能を使用する場合
  - あらかじめリモート操作IDを設定する（119 ページの機能#306）。

– 本機を留守電／ファクスモードにしてから外出する（84 ページ）。
– PC音声管理の設定が **“ナシ”** に設定されていることを確認する（119 ページの機能#365）。
– 外出先からの操作用にプッシュホンを使用する。

リモート操作の概要

1 本機を呼び出す。

2 留守用の応答メッセージの途中または後にリモート操作IDを入力する。

3 **新しい音声メッセージがある場合**
1. 音声ガイダンスによる新しいメッセージの件数が聞こえます。
2. 新しいメッセージが再生される。

新しい音声メッセージがない場合
1. **【5】**を押す。
2. すべての音声メッセージが再生される。

4 リモート操作を終了するには、**【9】**を押し、電話を切る。

リモートコマンドを使用したリモート操作

1 本機を呼び出す。

2 留守番電話の応答メッセージの途中または後にリモート操作IDを入力する。

3 音声ガイダンスの後、10秒以内にリモートコマンドを入力する。

お知らせ
- キーを押すときは、しっかりと押してください。

キー	リモートコマンド
【1】	メッセージを繰り返します（再生中）。[*1]
【2】	メッセージを一時停止・再開します（再生中）。
【3】	再生中のメッセージをスキップします。
【4】	新しいメッセージを再生します。
【5】	すべてのメッセージを再生します。
【7】	再生中のメッセージが10秒戻ります。
【8】	再生中のメッセージが30秒進みます。
【9】	現在の操作を中止します。[*2]
【0】	自動応答をオフに設定します。
【*】【4】→【4】	現在再生中のメッセージを消去します。音声メッセージが聞こえてから**【4】**を押してください。
【*】【5】→【5】	すべてのメッセージを消去します。音声メッセージが聞こえてから**【5】**を押してください。

[*1] メッセージの始めから5秒以内に押すと、前のメッセージが再生されます。
[*2] 操作を再開するには、10秒以内にコマンドキーを押してください。

自動応答モードをオンにする

手動受信モードのまま外出した場合でも、本機を外線で呼び出して自動応答モードに切り替えることができます。事前にリモート留守設定を有効にしておく必要があります（107 ページの機能#319）。

1 本機を呼び出し、ベルを15回鳴らす。

2 ハンドセットを戻す。

お知らせ
- ファクス／電話切替（F/T切替）モードに設定されているときは自動応答モードをオンにすることはできません。

9.4.4 子機で留守番電話を使用する

電話の通話録音

通話録音

1 通話中に【F1】→【▼】または【▲】を繰り返し押して**"ツウワ　ロクオン"**を選択する。

2 【F2】を押して**"ロクオンマエ　ケイコク？"**が**"スル"**になっていることを確認する。

3 【F2】
- 相手に録音開始を知らせるメッセージが流れた後、録音を開始します。
- 【▼】または【▲】を繰り返し押して**"シナイ"**を選んだ後に【F2】を押すと、メッセージが流れずに録音を開始します。

__お知らせ__
- 通話録音は、法的に規制されていることがあります。会話を録音していることを相手に伝えてください。
- 音声メッセージを再生する方法については、95、101 ページを参照してください。
- 通話録音をやめるとき
  1. 【F1】→【▼】または【▲】を繰り返し押して**"ロクオン　チュウシ"**を選択する。
  2. 【F2】

前から録音

用件を聞き逃したときなどに約1分前からの通話を録音できます。
- 相手が電話を切っても、こちらが電話を切るまでは前から録音できます。

1 通話中または電話を切る前に【F1】→【▼】または【▲】を繰り返し押して**"マエカラ　ロクオン"**を選択する。

2 【F2】を押して**"マエカラ　ロクオン　シマスカ？"**表示を確認する。

3 【F1】

__お知らせ__
- 前から録音をやめるとき
  1. 【F1】→【▼】または【▲】を繰り返し押して**"ロクオン　チュウシ"**を選択する。
  2. 【F2】

音声メッセージの再生

新しいメッセージのみを聞く

1 【F3】を押してメッセージの有無を確認する。

2 【F2】→【▼】または【▲】を繰り返し押して**"シンキノミ　サイセイ"**を選択する。

3 【F2】
- 新しいメッセージを聞き直すには、再生中に【F3】または【4】を押すと1件目の頭に戻ります。

4 再生をやめるときは【F2】または【9】を押す。

すべてのメッセージを聞く

1 【F3】を押してメッセージの有無を確認する。

2 【F2】→【▼】または【▲】を繰り返し押して**"スベテ　サイセイ"**を選択する。

3 【F2】
- すべてのメッセージを聞き直すには、再生中に【F3】または【5】を押すと1件目の頭に戻ります。

4 再生をやめるときは【F2】または【9】を押す。

すべてのメッセージを消す

1 【F3】を押してメッセージの有無を確認する。

2 【F2】→【F3】→【F1】

再生中の便利な機能

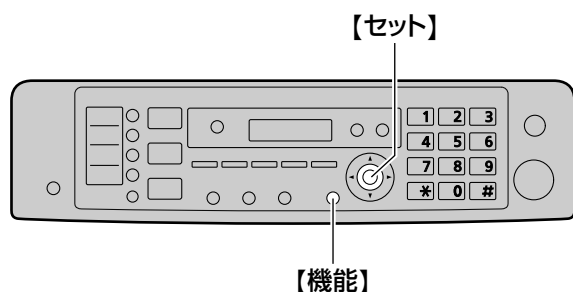
キー	コマンド
【1】または【◄】	再生中のメッセージを繰り返します。*1
【2】	再生を一時停止します。再開するときは、もう一度【2】を押します。
【3】または【►】	再生中のメッセージをスキップします。

キー	コマンド
【7】	再生中のメッセージが10秒戻ります。
【8】	再生中のメッセージが30秒進みます。
【9】または【F2】	再生を中止します。
【*】【4】→【F1】	現在再生中のメッセージを消去します。
【*】【5】→【F1】	すべてのメッセージを消去します。[*2]
【▼】【▲】	メッセージの音量を変えます。

[*1] メッセージの始めから5秒以内に押すと、前のメッセージが再生されます。

[*2] **“シンキノミ　サイセイ”**を選択して再生した場合、すべての新規メッセージを消去します。
“スベテ　サイセイ”を選択して再生した場合、すべてのメッセージを消去します。

10.1 機能設定

10.1.1 親機の機能設定

1 【機能】

2 【♯】および3桁のコードを押す（104 ページ～126 ページ）。

3 適切な選択項目を押して、目的の設定を選択する。
- このステップは機能に応じて異なります。

4 【セット】

5 【機能】を押して終了する。

Webブラウザーを使用して機能を選択する（LAN接続のみ）

親機の代わりに、Webブラウザーを使用して機能を変更することができます。

1 Multi-Function Stationを起動する。→ **[ユーティリティー]** → **[Webサーバー]**
- Webブラウザーに本機のIPアドレスを入力して、本機にアクセスすることもできます。

2 メニューバーから目的のカテゴリーを選択する。
[本体機能設定]：本機の機能
[ネットワーク機能設定]：ネットワーク機能

3 ユーザー名として**"root"**と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ **[OK]**

4 右フレームの上部で目的の機能タブを選択する。

5 設定を変更するか、情報を編集する。
- このステップは機能に応じて異なります。

6 **[登録]**
- 新しい設定が本機に転送されます。

7 Webブラウザーを閉じる。

お知らせ
- **[更新]** をクリックすると、Webブラウザーに表示されている設定が更新されます。

10.1.1.1 基本機能

機能／コード	選択内容
日付と時刻を設定する **【♯】【1】【0】【1】**	テンキーを使用して、日付と時刻を入力します。詳細については、32 ページを参照してください。
発信元の名前を設定する **【♯】【1】【0】【2】**	テンキーを使用して、発信元の名前を入力します。詳細については、33 ページを参照してください。
発信元のファクス番号を設定する **【♯】【1】【0】【3】**	テンキーを使用して、発信元のファクス番号を入力します。詳細については、34 ページを参照してください。
言語を選択する **【♯】【1】【1】【0】**	ディスプレイとレポートでは、選択した言語が使用されます。 **【1】 “ニホンゴ”**（初期値） **【2】 “English”** **1.** **【機能】** → **【♯】【1】【1】【0】** **2.** **【1】**または**【2】**を押して、目的の言語を選択する。→ **【セット】** → **【機能】** **FOR ENGLISH USERS:** **If you want to change the language setting to English, proceed as follows.** **1.** **【機能】** → **【♯】【1】【1】【0】** **2.** Press **【2】** to select English. → **【セット】** → **【機能】**
ダイヤル切替を設定する（親機と子機） **【♯】【1】【2】【0】**	**【1】 “10pps”** **【2】 “20pps”** **【3】 “プッシュ”**（初期値） 詳細については、28 ページを参照してください。
光回線（ひかり電話）、ADSLやISDN回線に接続する（T/Aスプリッタ接続） **【♯】【1】【2】【4】**	**【0】 “ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**：電話の声をやや小さくして反響を抑えます。ADSL、光回線使用時にファクス通信を適正な通信速度にします。
増設子機を登録する **【♯】【1】【2】【9】**	詳細については、134 ページを参照してください。
子機の登録を解除する **【♯】【1】【3】【4】**	詳細については、134 ページを参照してください。
中継アンテナを登録または登録解除する **【♯】【1】【4】【0】**	詳細については、134 ページを参照してください。
LCDディスプレイのコントラストを変更する **【♯】【1】【4】【5】**	**【1】 “フツウ”**（初期値） **【2】 “コク”**

機能／コード	選択内容
長さ単位を選択する **【♯】【1】【4】【7】**	【1】 “mm”（初期値） 【2】 “Inch” **お知らせ** • 選択した長さ単位は、親機のディスプレイに測定値を表示するときに使用されます。
リモート操作用のパスワードを変更する **【♯】【1】【5】【5】**	Multi-Function Stationを使い、リモート操作で本機の機能設定を行う際のパスワードを設定、変更することができます。 **1.** **【機能】** → **【♯】【1】【5】【5】** → **【セット】** **2.** 現在のパスワードを入力する。→ **【セット】** • パスワードの初期値は **“1234”** です。 **3.** 0～9を使用して、新しい4桁のパスワードを入力する。→ **【セット】** **4.** 新しいパスワードをもう一度入力する。→ **【セット】** → **【機能】** **お知らせ** • 初期値のパスワードから変更することを推奨します。 • このパスワードはWebブラウザーでの機能設定にも使用されます（LAN接続のみ）。
トナーメンテナンス時刻を設定する **【♯】【1】【5】【8】**	親機は、24時間に1回の割合で、メンテナンスのために自動的に起動します。これはトナーの凝固を防止するための動作であるため、メンテナンス中に親機から発生するノイズは停止できません。ただし、親機のノイズを不快に感じる場合、開始時刻を変更することができます。 **1.** **【機能】** → **【♯】【1】【5】【8】** → **【セット】** **2.** メンテナンス開始時刻を入力する。 • 時刻の初期値は **“12:00AM”** です。 • **【*】**を繰り返し押して、 **“AM”** または **“PM”** を選択してください。 **3.** **【セット】** → **【機能】**

<table>
<tr><th>機能／コード</th><th>選択内容</th></tr>
<tr><td>すべての機能を初期化する（メモリー内のすべてのデータを消去する）
【♯】【1】【5】【9】</td><td>本機を廃棄、譲渡、または返品する場合、事前にこの機能を使用して、プログラム式機能をすべて初期化し、メモリーに保存されているデータをすべて消去してください。
電話帳（または発信者情報）およびファクス通信データ（メモリーに保存されている受信ファクスと通信履歴レポート）が消去されます。
【0】 “イイエ”（初期値）
【1】 “ハイ”
• この機能を使用する前に、電話機コード、USBケーブル、およびLANケーブルを取り外してください。
• 子機に設定されている日付と時刻の設定も初期化されます（131 ページ）。
すべての機能を初期化するには
1. 【機能】 → 【♯】【1】【5】【9】
2. 【1】を押して “ハイ” を選択する。→ 【セット】
3. 【1】を押して “ハイ” を選択する。→ 【セット】</td></tr>
<tr><td>外線電話の呼び出し音を設定する*1
【♯】【1】【6】【1】</td><td>【1】 “ベル 1”（初期値）
【2】 “ベル 2”
【3】 “ベル 3”
【4】 “ベル 4”
【5】 “ベル 5”
【6】 “ベル 6” *2
【7】 “ベル 7” *2
【8】 “ベル 8” *2
【9】 “メロディ 1” *3
【0】 “メロディ 2” *3
【＊】 “メロディ 3” *3
【♯】 “メロディ 4” *3</td></tr>
<tr><td>ビープ音とキートーンを設定する*1
【♯】【1】【6】【5】</td><td>【0】 “ナシ”：この機能は無効になります。
【1】 “アリ”（初期値）：確認／エラービープ音およびキートーンが聞こえます。
<u>お知らせ</u>
• この機能が “ナシ” に設定されている場合でも、本機からビープ音が聞こえることがあります。例：
– メモリー受信警告設定（115 ページの機能#437）が有効になっている場合。
– トップカバーが開いている場合。</td></tr>
<tr><td>保留メロディを変更する
【♯】【1】【6】【8】</td><td>【1】 “メロディ 1” *3
【2】 “メロディ 2” *3
【3】 “メロディ 3” *3
【4】 “メロディ 4” *3（初期値）</td></tr>
</table>

機能／コード	選択内容
内線電話の呼び出し方を変更する **【♯】【1】【7】【2】**	**【1】　“ベル”**（初期値）：内線電話をする際、通常の呼出音で呼び出します。 **【2】　“オンセイ”**：内線電話をする際、通常の呼出音を1回だけ鳴らしたあと、スピーカーから声でお知らせします。呼び出す側は内線電話をかけて呼出音が2回聞こえたら、相手に呼びかけてください。 **お知らせ** • この設定は子機にも適用されます。 • 通常の内線呼び出しのほか、通話を別の内線に転送する場合も適用されます。
発信者番号表示を設定する **【♯】【2】【0】【4】**	**【0】　“ナシ”**：この機能は無効になります。 **【1】　“ジドウ”**（初期値）：発信者情報を受信した場合、自動的に発信者の情報を表示します。
発信者番号表示機能付きキャッチホンを設定する **【♯】【2】【0】【5】**	**【0】　“ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】　“アリ”**：キャッチホン着信時に、発信者情報を受信した場合、自動的に発信者の情報を表示します。
ファクス専用モードの呼び出し回数を変更する **【♯】【2】【1】【0】**	**【1】　“1”** **【2】　“2”** **【3】　“3”**（初期値） **【4】　“4”** **【5】　“5”** **【6】　“6”** **【7】　“7”** **【8】　“8”** **【9】　“9”**
留守電／ファクスモードの呼び出し回数を変更する **【♯】【2】【1】【1】**	**【0】　“ジドウ”** **【2】　“2”**（初期値） **【3】　“3”** **【4】　“4”** **【5】　“5”** **【6】　“6”** **【7】　“7”** 詳細については、84 ページを参照してください。
あんしん応答のメッセージを設定する **【♯】【2】【4】【4】**	あんしん応答中に相手に名前を尋ねるメッセージの種類を選択します。 **【1】　“メッセージ　1”**（初期値）：「あんしん応答モードになっています。あなたのお名前をおっしゃってください。」 **【2】　“メッセージ　2”**：「失礼ですが、お名前をお伺いしてもよろしいでしょうか？」
外出先から自動応答モード設定を有効にする **【♯】【3】【1】【9】**	**【0】　“ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】　“アリ”**：手動受信モードの本機を外出先から呼び出した際に、ベルが15回鳴った後に自動応答モードに切り替わります。

機能／コード	選択内容
給紙カセットの用紙サイズを設定する 【♯】【3】【8】【0】	【1】 “レター”：レターサイズ用紙 【2】 “A4”（初期値）：A4サイズ用紙 【3】 “B5(JIS)”：B5（JIS）サイズ用紙 【4】 “B5(ISO)”：B5（ISO）サイズ用紙 お知らせ • “B5(JIS)”または“B5(ISO)”を選択した場合、受信したファクス文書はメモリーに保存されます。
手差しトレイの用紙サイズを設定する 【♯】【3】【8】【1】	【1】 “レター”：レターサイズ用紙 【2】 “A4”（初期値）：A4サイズ用紙 【3】 “B5(JIS)”：B5（JIS）サイズ用紙 【4】 “B5(ISO)”：B5（ISO）サイズ用紙 【5】 “A5”：A5サイズ用紙 【7】 “リーガル”：リーガルサイズ用紙 【8】 “216X340” 【9】 “216X330” お知らせ • 機能#147（105 ページ）を“Inch”に設定すると、数字はインチ単位で表示されます。
給紙カセットの用紙種類を設定する 【♯】【3】【8】【3】	【1】 “アツグチ　フツウシ”：75 g/m²～90 g/m²用紙 【2】 “フツウシ”（初期値）：64 g/m²～75 g/m²用紙 お知らせ • コンピューターから印刷する場合、この設定は無効になります。印刷用の用紙種類を設定する方法については、47 ページを参照してください。
手差しトレイの用紙種類を設定する 【♯】【3】【8】【4】	【1】 “アツグチ　フツウシ”：75 g/m²～90 g/m²用紙 【2】 “フツウシ”（初期値）：64 g/m²～75 g/m²用紙 お知らせ • コンピューターから印刷する場合、この設定は無効になります。印刷用の用紙種類を設定する方法については、47 ページを参照してください。
自動応答モード設定の受信モードを変更する 【♯】【4】【0】【0】	【1】 “ルスデン／ファクス”（初期値）：留守電／ファクスモード（84 ページ） 【2】 “ファクス　センヨウ”：ファクス専用モード（85 ページ）

機能／コード	選択内容
節電モードタイマーの時間を設定する **【♯】【4】【0】【3】**	親機が節電モードになるまでの時間を設定します。 **【1】　“5フン”**（初期値）：5分 **【2】　“15フン”**：15分 **【3】　“30プン”**：30分 **【4】　“1ジカン”**：1時間 **お知らせ** • 節電モードの場合、本機は印刷開始前に定着部を予熱する必要があります。
手動応答モード設定の受信モードを変更する **【♯】【4】【0】【4】**	**【1】　“シュドウ　ジュシン”**（初期値）：手動受信モード（85 ページ） **【2】　“F／T　キリカエ”**：ファクス／電話切替モード（86 ページ）
前の読取濃度設定を保持する **【♯】【4】【6】【2】**	**【0】　“ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】　“アリ”**：本機は前の設定を保持します。 **お知らせ** • コピーについては、前の設定が個別に保持されます。 • ファクス送信については、前の設定が個別に保持されます。
操作モード初期値を設定する **【♯】【4】【6】【3】**	操作モード初期値タイマー（機能#464）で設定した時間が経過したときに、どの操作モードに戻るかを選択します。 **【1】　“コピー”**（初期値）：コピーモードが初期値として選択されます。 **【2】　“ファクス”**：ファクスモードが初期値として選択されます。 **お知らせ** • この機能では、スキャンモードを選択することはできません。
操作モード初期値タイマーを設定する **【♯】【4】【6】【4】**	操作モード初期値（機能#463）に戻るまでの時間をタイマーで設定します。 **【0】　“ナシ”**：この機能は無効になります。 **【1】　“30ビョウ”**：30秒 **【2】　“1プン”**（初期値）：1分 **【3】　“2フン”**：2分 **【4】　“5フン”**：5分
トナーセーブ機能を設定する **【♯】【4】【8】【2】**	**【0】　“ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】　“アリ”**：トナーカートリッジが長持ちします。 **お知らせ** • この機能を使用すると、トナー消費の抑制により印刷品質が低下することがあります。 • この設定が有効なのは、コピーする場合、および本機がレポート／リストを印刷する場合です。 • この設定は、受信したファクスを印刷する場合には無効です。

*1　この設定は、親機と子機について個別に変更することができます。

– 子機の外線電話の呼び出し音の設定方法については、132 ページを参照してください。
– 子機のキートーンの設定方法については、132 ページを参照してください。

10.1.1.2 ファクス機能

機能／コード	選択内容
ファクス／電話の無鳴動呼び出し回数を変更する **【♯】【2】【1】【2】**	ファクス／電話切替モードで並列電話を使用している場合に、本機が着信に応答する前に並列電話の呼び出し音が鳴る回数を選択します。 **【1】 “1”** **【2】 “2”** （初期値） **【3】 “3”** **【4】 “4”** **【5】 “5”** **【6】 “6”** **【7】 “7”** **【8】 “8”** **【9】 “9”** **お知らせ** • 詳細については、86 ページを参照してください。
電話帳のデータを親機から子機にコピーする **【♯】【2】【8】【2】**	**【0】 “イッセイ”** **【1】 “コベツ”** （初期値） 詳細については、137 ページを参照してください。
ワンタッチダイヤル、親機の電話帳およびアドレスリストに保存された項目をすべて消去する **【♯】【2】【8】【9】**	**【0】 “イイエ”** （初期値） **【1】 “ハイ”** • この機能を使用する前に、電話機コード、USBケーブル、およびLANケーブルを取り外してください。 **すべての項目を消去するには** **1.** **【機能】** → **【♯】【2】【8】【9】** **2.** **【1】**を押して**“ハイ”**を選択する。→ **【セット】** **3.** **【1】**を押して**“ハイ”**を選択する。→ **【セット】** → **【機能】**
通信結果レポートを印刷する **【♯】【4】【0】【1】**	**【0】 “ナシ”** ：通信結果レポートは印刷されません。 **【1】 “アリ”** ：ファクス送信の後に毎回通信結果レポートが印刷されます。 **【2】 “エラージ ノミ”** （初期値）：ファクス送信に失敗した場合にのみ、通信結果レポートが印刷されます。
通信履歴レポートの自動印刷を設定する **【♯】【4】【0】【2】**	**【0】 “ナシ”** ：本機は通信履歴レポートを印刷せず、最近30件のファクス送受信について記録を保持します。 **【1】 “アリ”** （初期値）：本機は新規のファクス送受信が30件に到達するごとに、通信履歴レポートを自動的に印刷します（77 ページ）。

機能／コード	選択内容
ファクスを海外へ送信する **【♯】【4】【1】【1】**	正しい番号を使用し、回線が接続されている場合でも海外にファクスを送信できない場合、この機能を有効にして送信を試みてください。この機能を使用すると、通信速度が低下して信頼性が向上します。 **【0】 “ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “ジカイ　ノミ”**：この設定は、次回のファクス送信に対してのみ有効です。送信後、本機は前の設定に戻ります。 **【2】 “エラージ　ノミ”**：前のファクス送信に失敗し、原稿を再送信したい場合。 **お知らせ** • この機能は同報送信には使用できません。 • 通信料金が通常よりも高くなる可能性があります。

機能／コード	選択内容
特定時刻にファクスを送信する **【♯】【4】【1】【2】**	この機能は、希望時刻の24時間前まで設定できます。 **【0】　“ナシ”**（初期値） **【1】　“アリ”** **ファクスを送信するには** **1.** **【ファクス】**ライトが消えている場合、**【ファクス】**を押して点灯させる。 **2.** 原稿をセットする（29 ページ）。 **3.** 必要に応じて、読取画質（76 ページ）と読取濃度（77 ページ）を変更する。 **4.** **【機能】 →【♯】【4】【1】【2】** **5.** **【1】**を押して **“アリ”** を選択する。→ **【セット】** **6.** ファクス番号を入力する。 • ワンタッチダイヤル機能および電話帳を使用して項目を入力する方法については、78 ページ「原稿台ガラスの使用」のステップ3を参照してください（電話帳を使用する場合、**【▼】**または**【▲】**を押す前に**【►】**を押す必要はありません）。 **7.** **【セット】** • ファクス番号を手動で入力した場合は、再度番号を入力して**【スタート】**を押してください。 • ファクス送信先確認が表示されたら送信先を確認し、**【スタート】**を押してください。 **8.** 送信開始時刻を入力する。 • **【✱】**を繰り返し押して、 **“AM”** または **“PM”** を選択してください。 **9.** **原稿台ガラスを使用する場合、【セット】**を押す。→ **【スタート】** **自動原稿送り装置を使用する場合、【セット】**を押す。 • 原稿がメモリーにスキャンされます。本機は指定時刻にデータを送信します。最初の送信が完了するまで、別のファクス送信にこの機能を使用することはできません。 **お知らせ** • 登録後にこの設定を取り消すには、本機が使用中でないときに**【ストップ】**、**【セット】**の順序で押してください。
エラー訂正モード（ECM）を設定する **【♯】【4】【1】【3】**	送信側ファクス機と受信側ファクス機がECMに対応している場合、この機能を利用できます。 **【0】　“ナシ”**：この機能は無効になります。 **【1】　“アリ”**（初期値）：ファクスの送受信は、エラーを発生させないようにして実行されます。

機能／コード	選択内容
接続音を設定する **【♯】【4】【1】【6】**	ファクスの送信時に頻繁に問題が発生する場合、この機能を使用すると、接続音（ファクス音、発信者向け呼び出し音、話中音）が聞こえます。これらの音を使用して、相手先のファクス機の状態を確認できます。 **【0】 “ナシ”**：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**（初期値）：接続音が聞こえます。 **お知らせ** • 呼び出し音（発信者向け）が続く場合、相手先の機械がファクス機でない、または用紙が切れている可能性があります。相手先に確認してください。 • 接続音の音量は調整できません。
最大ファクス速度を設定する **【♯】【4】【1】【8】**	**【1】 “14.4kbps”** **【2】 “33.6kbps”**（初期値） **お知らせ** • 電話回線に応じて、ファクス速度は選択速度よりも遅くなることがあります。
メモリー送信モードを設定する **【♯】【4】【1】【9】**	**【0】 “ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “ジョウジ”**：本機は原稿をスキャンし、最初にメモリーに保存してから、送信を開始します。**【メモリー送信】**を押さずにファクスを送信できます。
送信先確認機能を設定する **【♯】【4】【2】【0】**	**【0】 “ナシ”**：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**（初期値）：送信先を確認してからファクスを送信することができます。表示されている送信先が正しい場合は、**【スタート】**を押してファクスを送信します。
直接ダイヤル制限機能を設定する **【♯】【4】【2】【1】**	**【0】 “ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**：テンキーを使用してファクス番号を手動で入力しない場合は、この機能を有効にし、ワンタッチキーまたは電話帳からファクス番号を選択してください。 **お知らせ** • **“アリ”**を選択すると、テンキーで入力したファクス番号に再ダイヤルすることもできません。 • **“アリ”**を選択すると、ファクス番号の再入力設定（113 ページの機能#422）は無効になります。
直接ダイヤル再入力機能を設定する **【♯】【4】【2】【2】**	**【0】 “ナシ”**：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**（初期値）：テンキーを使用して手動でファクス番号をダイヤルする場合は、番号を再入力して**【スタート】**を押す必要があります。2回目に入力した番号が1回目に入力した番号と一致すると、ファクスを送信することができます。

機能／コード	選択内容
ダイヤルトーン検知を設定する 【♯】【4】【2】【3】	**【0】　“ナシ”**：この機能は無効になります。 **【1】　“アリ”**（初期値）：ファクス送信のとき、ダイヤルトーンを検知し、回線が接続されていることを確認してからファクスを送信します。ダイヤルトーンが検知されない場合は、再ダイヤル待機の状態になります。
ダイレクトSMTP送信を設定する 【♯】【4】【2】【5】	**【0】　“ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】　“アリ”**：Eメールアドレスの登録時に、ダイレクトSMTPのEメールアドレスとして設定することができます。
インターネットファクス送達確認要求を設定する 【♯】【4】【2】【6】	**【0】　“ナシ”**：この機能は無効になります。 **【1】　“アリ”**（初期値）：インターネットファクス送信時に、相手がファクスを受信したかどうか確認要求をします。相手が受信確認を送信すると、通信結果レポートとして印刷されます（77 ページ）。
POPサーバーからのインターネットファクス受信間隔を設定する 【♯】【4】【2】【8】	**1.【機能】→【♯】【4】【2】【8】** **2.** テンキーを使用して、インターネットファクスの受信間隔を **“00”** 分～ **“60”** 分の範囲で入力する。 • 設定の初期値は **“03”** 分です。 • インターネットファクスの受信確認を自動で行わないようにするには、 **“00”** 分に設定してください。手動で受信確認をする方法は93 ページを参照してください。 **3.【セット】→【機能】**
自動縮小印刷機能を設定する 【♯】【4】【3】【2】	受信側の用紙よりも長いファクス文書を縮小して印刷します。 **【0】　“ナシ”**：この機能は無効になります。 **【1】　“アリ”**（初期値）：受信したファクス文書は用紙に合わせて縮小されます。
リモート受信コードを変更する 【♯】【4】【3】【4】	並列電話を使用してファクスを受信する場合、または発信者がメッセージを残した後にファクスを送信する場合、この機能を有効にして、受信コードを登録してください。 **【0】　“ナシ”** **【1】　“アリ”**（初期値） **1.【機能】 →【♯】【4】【3】【4】** **2.【1】**を押して **“アリ”** を選択する。→ **【セット】** **3.** 0～9、**【✱】**、および **【♯】** を使用して、2～4桁のコードを入力する。 • コードの初期値は **“✱#9”** です。 **4.【セット】 → 【機能】**

機能／コード	選択内容
自動切断機能を設定する **【♯】【4】【3】【5】**	留守電／ファクスモード（84 ページ）およびファクス／電話切替モード（86 ページ）で並列電話を使用して着信に応答する場合、この機能を有効にしてください。 **【0】　“ナシ”** **【1】　“アリ”**（初期値） **1.** **【機能】** → **【♯】【4】【3】【5】** **2.** **【1】**を押して**“アリ”**を選択する。→ **【セット】** **3.** 0～9、および**【＊】**を使用して、2～4桁のコードを入力する。 • コードの初期値は**“＊0”**です。 **4.** **【セット】** → **【機能】**
ファクス音識別後の呼び出し回数を変更する **【♯】【4】【3】【6】**	ファクス／電話切替モードの呼び出し回数を変更します。 **【3】　“3”**（初期値） **【4】　“4”** **【5】　“5”** **【6】　“6”** **【7】　“7”** **【8】　“8”** **【9】　“9”** **お知らせ** • 詳細については、87 ページを参照してください。
メモリー受信警告を設定する **【♯】【4】【3】【7】**	受信したファクスがメモリーに保存された場合、ビープ音が鳴って警告します。 **【0】　“ナシ”**：この機能は無効になります。 **【1】　“アリ”**（初期値）：ビープ音が聞こえます。 **お知らせ** • 印刷の問題でファクスがメモリー内に保存されると、この問題を解決するまでビープ音は鳴り続けます。メッセージが表示された場合、保存されているファクスの印刷方法については、147 ページ～150 ページを参照してください。保存されているファクスの印刷に十分な用紙が本機に給紙されていることを確認してください。 • Web見てから印刷（89 ページの機能#448）の有効化によってファクスがメモリー内に保存された場合は、親機のビープ音は鳴りません。ただし、メモリーがほぼいっぱいになると、親機のビープ音が鳴ります。

機能／コード	選択内容
親切受信を設定する **【♯】【4】【3】【8】**	着信に応答し、ファクス音（ポーポー音）が聞こえたとき、自動的にファクスを受信します。 **【0】 “ナシ”** ：親機を使用してファクスを受信するには、**【スタート】**を押してから**【2】**を押す必要があります。子機を使用してファクスを受信するには、キー操作をして受信する必要があります（85 ページ）。 **【1】 “アリ”** （初期値）：自動的にファクスを受信するため、キー操作をする必要がありません。
ファクスをコンピューターで受信する **【♯】【4】【4】【2】**	ファクスをコンピューターで受信する場合、この機能を有効にして、Multi-Function Stationから［**PCファクス**］を実行してください。この機能は、見てから印刷機能（89 ページの機能#448）が無効になっている場合に利用できます。 **【0】 “ナシ”** （初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “ジョウジ”** ：本機がコンピューターとの接続を認識すると、受信したファクスはコンピューターに転送されます。本機が接続を認識できない場合、受信したファクスはメモリーにいったん保存され、コンピューターの接続の認識後にコンピューターに転送されます。 **【2】 “セツゾク　カノウジ”** ：本機がコンピューターとの接続を認識すると、受信したファクスはコンピューターに転送されます。本機が接続を認識できない場合、受信したファクスは印刷されます。
PCファクス受信用のコンピューターを設定する **【♯】【4】【4】【3】**	ファクス受信に使用するコンピューターを選択します。詳細については、35 ページを参照してください。
見てから印刷機能を設定する **【♯】【4】【4】【8】**	詳細については、89 ページを参照してください。
Web見てから印刷のアクセスコードを設定する **【♯】【4】【5】【0】**	詳細については、89 ページを参照してください。
ファクス受信の通知を設定する **【♯】【4】【5】【1】**	**【0】 “ナシ”** （初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”** ：ファクスを受信すると、本機にUSB/LANで接続されているコンピューターに通知されます。 **お知らせ** • **LAN接続の場合：**ファクス受信通知が送信されるコンピューターをWebブラウザーで登録してください（117 ページ）。
ファクス自動Eメール転送機能を設定する **【♯】【4】【5】【2】**	受信したファクスをあらかじめ設定したEメールアドレスに転送する場合、この機能を有効にしてください。 **【0】 “ナシ”** （初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”** ：Eメールアドレスを事前に設定しておくと（118 ページ）、受信したファクス文書はEメールの添付ファイルとして指定のアドレスに自動的に転送されます。

機能／コード	選択内容
受信したファクスを本機のメモリからすべて消去する **【♯】【4】【5】【8】**	**【0】 “イイエ”**（初期値） **【1】 “ハイ”** • この機能を使用する前に、電話機コード、USBケーブルおよびLANケーブルを取り外してください。 **1.** **【機能】**→**【♯】【4】【5】【8】** **2.** **【1】**を押して**“ハイ”**を選択する。→**【セット】**→**【セット】**→**【機能】**
ファクス機能を初期化する **【♯】【4】【5】【9】**	**【0】 “イイエ”**（初期値） **【1】 “ハイ”** **1.** **【機能】** → **【♯】【4】【5】【9】** **2.** **【1】**を押して**“ハイ”**を選択する。→**【セット】**→**【セット】**→**【機能】**
ファクス受信通知用のコンピューター情報を設定する（LAN接続のみ） • この機能は、Webブラウザーでのみ設定できます。	ファクス受信通知メッセージの送信先となるコンピューターを選択します（6箇所まで）。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** **［ユーティリティー］** → **［Webサーバー］** → **［本体機能設定］** **3.** ユーザー名として**“root”**と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ **［OK］** **4.** **［ファクス機能］**タブを選択する。 **5.** **［受信PCリスト］**の横にある**［編集］**をクリックする。 **6.** 目的の宛先の横にある**［リスト］**をクリックする。 **7.** リストから目的のコンピューターをクリックする。→ **［登録］** **8.** Webブラウザーを閉じる。

機能／コード	選択内容
ファクス自動Eメール転送の宛先を設定する（LAN接続のみ） • この機能は、Webブラウザーでのみ設定できます。	受信したファクスを自動的にEメール転送する宛先を選択します（6箇所まで）。 **お知らせ** • 事前にEメールサーバー情報の設定（128 ページ）およびEメールアドレスの登録（129 ページ）を行ってください。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** **［ユーティリティー］** → **［Webサーバー］** → **［本体機能設定］** **3.** ユーザー名として **"root"** と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ **［OK］** **4.** **［ファクス機能］** タブを選択する。 **5.** **［送信先］** の横にある **［編集］** をクリックする。 **6.** 目的の宛先の横にある **［アドレスリスト］** をクリックする。 **7.** 受信したファクスの転送先として指定する名前をクリックする。 **8.** **［登録］** **9.** Webブラウザーを閉じる。 **お知らせ** • 最近15件の転送の状態を確認するには、ステップ5で **［結果］** の横にある **［リスト］** をクリックしてください。

10.1.1.3 留守番電話機能

機能／コード	選択内容
着信メッセージの最大録音時間を変更する **【♯】【3】【0】【5】**	**【1】　“1プン”** **【3】　“3プン”**（初期値）
リモート操作IDを設定する **【♯】【3】【0】【6】**	**1.** **【機能】 → 【♯】【3】【0】【6】** **2.** リモート操作機能を有効にするには、4桁のリモート操作IDを入力する。 • リモート操作機能を無効にするには、**【✱】**を押してください。 **3.** **【セット】 → 【機能】**
留守音声モニターを設定する **【♯】【3】【1】【0】**	留守番電話がメッセージを録音しているときにスピーカーからメッセージを聞きます。 **【0】　“ナシ”** **【1】　“アリ”**（初期値）
留守応答メッセージを選択する **【♯】【3】【4】【2】**	**【1】　“コテイ1”**（初期値） **【2】　“コテイ2”** **【3】　“ジサク”** <u>**お知らせ**</u> • **“ジサク”**を選択すると、自作応答メッセージ（94 ページ）で応答できます。自作メッセージを消去すると、**“ジサク”**を選択していても、**“コテイ1”**のメッセージが流れます。
音声メッセージをコンピューターで受信する **【♯】【3】【6】【5】**	音声メッセージをコンピューターで受信する場合、この機能を有効にしてください。 この機能は、Web音声管理モード（99 ページの機能#367）が無効の場合に利用できます。 **【0】　“ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】　“ジョウジ”**：本機がコンピューターとの接続を認識すると、録音された音声メッセージはコンピューターに転送されます。本機が接続を認識できない場合、録音された音声メッセージはメモリーにいったん保存され、コンピューターの接続の認識後にコンピューターに転送されます。
PC音声管理用のコンピューターを設定する **【♯】【3】【6】【6】**	音声メッセージの受信に使用するコンピューターを選択します。詳細については、35 ページを参照してください。
Web音声管理モードを設定する **【♯】【3】【6】【7】**	詳細については、99 ページを参照してください。
Web音声管理コードを設定する **【♯】【3】【6】【8】**	詳細については、99 ページを参照してください。

機能／コード	選択内容
音声自動Eメール転送を設定する **【♯】【3】【6】【9】**	着信音声メッセージをあらかじめ設定したEメールアドレスに転送する場合、この機能を有効にしてください。 **【0】 "ナシ"**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 "アリ"**：Eメールアドレスを事前に設定しておくと（120 ページ）、着信音声メッセージは、Eメールの添付ファイルとして指定のアドレスに自動的に転送されます。伝言録音（94 ページ）および通話の録音（94 ページ）は転送されません。
音声自動Eメール転送の宛先を設定する（LAN接続のみ） • この機能は、Webブラウザーでのみ設定できます。	着信音声メッセージを自動的にEメール転送する宛先を選択します（6 箇所まで）。 **お知らせ** • 事前にEメールサーバー情報の設定（128 ページ）およびEメールアドレスの登録（129 ページ）を行ってください。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** **［ユーティリティー］** → **［Webサーバー］** → **［本体機能設定］** **3.** ユーザー名として **"root"** と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ **［OK］** **4.** **［留守番電話機能］** タブを選択する。 **5.** **［送信先］** の横にある **［編集］** をクリックする。 **6.** 目的の宛先の横にある **［アドレスリスト］** をクリックする。 **7.** 着信音声メッセージの転送先として指定する名前をクリックする。 **8.** **［登録］** **9.** Webブラウザーを閉じる。 **お知らせ** • 最近15件の転送の状態を確認するには、ステップ5で **［結果］** の横にある **［リスト］** をクリックしてください。

10.1.1.4 コピー機能

機能／コード	選択内容
コピーに使用する給紙方法を設定する **【♯】【4】【6】【0】**	**【1】 "トレイ1"**（初期値）：給紙カセットが選択されます。表示される用紙サイズは用紙サイズ設定によって異なります（108 ページの機能#380）。 **【2】 "トレイ2"**：手差しトレイが選択されます。表示される用紙サイズは用紙サイズ設定によって異なります（108 ページの機能#381）。
コピー読取画質の初期値を変更する **【♯】【4】【6】【1】**	初期値のコピー読取画質設定を変更します。 **【1】 "モジ／シャシン"**（初期値）：文字および写真用。 **【2】 "モジ"**：文字専用。 **【3】 "シャシン"**：写真、陰影付きの図など。

機能／コード	選択内容
前のページレイアウト設定を保持する **【♯】【4】【6】【7】**	**【0】 “ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**：本機は前の設定を保持します。
前のズーム設定を保持する **【♯】【4】【6】【8】**	**【0】 “ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**：本機は前の設定を保持します。
前のソート設定を保持する **【♯】【4】【6】【9】**	**【0】 “ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**：本機は前の設定を保持します。
前のエッジ設定を保持する **【♯】【4】【7】【3】**	**【0】 “ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**：本機は前の設定を保持します。
フレーム余白を設定する **【♯】【4】【7】【4】**	**【0】 “ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**：コピーは余白設定に合わせて自動的に縮小されます。ただし、ズーム倍率（60 ページ）を変更すると、自動的に縮小されることはありません。
前の余白設定を保持する **【♯】【4】【7】【5】**	**【0】 “ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**：本機は前の設定を保持します。

10.1.1.5 コンピューターからの印刷機能

機能／コード	選択内容
データタイムアウト設定を変更する **【♯】【7】【7】【4】**	設定されている時間内にコンピューターから本機にデータが送信されなかった場合、メモリーに保存されている残りのデータが自動的に印刷されます。 **1.** **【機能】** → **【♯】【7】【7】【4】** → **【セット】** **2.** テンキーを使用して、希望のデータタイムアウト設定を **“005”** 秒～ **“600”** 秒の範囲で入力する。 • 設定の初期値は **“060”** 秒です。 **3.** **【セット】** → **【機能】**
A4/LTR代替印刷を設定する **【♯】【7】【7】【6】**	この機能を使用すると、レターサイズの用紙が給紙カセットにセットされている場合でも、A4サイズで印刷することができます。逆に、A4サイズの用紙にレターサイズで印刷することもできます。 **【0】 “ナシ”**：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**（初期値）：A4サイズとレターサイズの代替印刷が可能です。

10.1.1.6 スキャン機能

機能／コード	選択内容
プッシュスキャンのスキャンモードを設定する **【♯】【4】【9】【3】**	**【1】 “ビューアー”**（初期値）：スキャンされたイメージは［Quick Image Navigator］ウィンドウに表示されます。 **【2】 “ファイル”**：スキャンされたイメージはファイルとして保存されます。 **【3】 “Eメール”**：スキャンされたイメージはEメールの添付ファイル用として保存されます。 **【4】 “OCR”**：スキャンされたイメージはOCRウィンドウに表示されます。 **【5】 “Eメール　アドレス”**：スキャンされたイメージは指定したEメールアドレスに、添付ファイルとして送信されます。 **【6】 “FTPサーバー”**：スキャンされたイメージは、FTPサーバーの指定されたフォルダーに送信されます。 **【7】 “SMBフォルダー”**：スキャンされたイメージは、指定されたSMBフォルダーに送信されます。 **お知らせ** • 事前にWebブラウザーを使用してサーバー設定を行った場合にのみ、次の選択内容が表示されます。 – **“Eメール　アドレス”**は、Eメールサーバー設定を行った場合に表示されます（128 ページ）。 – **“FTPサーバー”**は、FTPサーバー設定を行った場合に表示されます（123 ページ）。 – **“SMBフォルダー”**は、SMBフォルダー設定を行った場合に表示されます（123 ページ）。 • OCRソフトウェアは、付属されておりません。OCRソフトウェアを使用するには、OCRソフトウェアのパスを指定してください。
プッシュスキャン用の前のスキャン設定を保持する **【♯】【4】【9】【4】**	**【0】 “ナシ”**（初期値）：この機能は無効になります。 **【1】 “アリ”**：プッシュスキャンの各モードに対して前のスキャン設定を保持します。

機能／コード	選択内容
スキャンtoFTPサーバーの情報を設定する（LAN接続のみ） • この機能は、Webブラウザーでのみ設定できます。	スキャンされたファイルをFTPサーバーに送信する場合、WebブラウザーでFTPサーバー情報（6個まで）を本機に登録することができます。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** **［ユーティリティー］** → **［Webサーバー］** → **［本体機能設定］** **3.** ユーザー名として **"root"** と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ **［OK］** **4.** **［スキャン機能］** タブを選択する。 **5.** **［FTPサーバー］** の横にある **［編集］** をクリックする。 **6.** 目的のFTPサーバーの横にある **［編集］** をクリックする。 **7.** サーバー名、IPアドレス、フォルダーパス、アカウントなどを入力する。→ **［登録］** **8.** Webブラウザーを閉じる。 **お知らせ** • ステップ7でフォルダーパスを入力しない場合、スキャンされたイメージはルートフォルダーに保存されます。
スキャンtoSMBフォルダーの情報を設定する（LAN接続のみ） • この機能は、Webブラウザーでのみ設定できます。	スキャンされたファイルをSMBフォルダーに送信する場合、WebブラウザーでSMBフォルダー送信先（6個まで）を本機に登録することができます。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** **［ユーティリティー］** → **［Webサーバー］** → **［本体機能設定］** **3.** ユーザー名として **"root"** と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ **［OK］** **4.** **［スキャン機能］** タブを選択する。 **5.** **［SMBフォルダー］** の横にある **［編集］** をクリックする。 **6.** 目的のSMBフォルダーの横にある **［編集］** をクリックする。 **7.** フォルダー名およびアカウント情報を入力する。 **8.** フォルダーパスの横にある **［表示］** をクリックして、目的のコンピューターのフォルダーを選択する。→ **［OK］** • 手動でフォルダーパスを入力することもできます。 **9.** **［登録］** **10.** Webブラウザーを閉じる。

10.1.1.7 LAN機能

機能／コード	選択内容
DHCPサーバーを使用する場合のLAN設定 【♯】【5】【0】【0】	【0】 “ナシ” ：この機能は無効になります。 【1】 “アリ” （初期値）：次の項目が、DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバーを使用して自動的に割り当てられます。 – IPアドレス – サブネットマスク – デフォルトゲートウェイ
本機のIPアドレスを設定する 【♯】【5】【0】【1】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** **【機能】** → **【♯】【5】【0】【1】** → **【セット】** **2.** テンキーを使用して、本機のIPアドレスを入力する。→ **【セット】** → **【機能】**
サブネットマスクを設定する 【♯】【5】【0】【2】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** **【機能】** → **【♯】【5】【0】【2】** → **【セット】** **2.** テンキーを使用して、サブネットマスクを入力する。→ **【セット】** → **【機能】**
デフォルトゲートウェイを設定する 【♯】【5】【0】【3】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** **【機能】** → **【♯】【5】【0】【3】** → **【セット】** **2.** テンキーを使用して、デフォルトゲートウェイを入力する。→ **【セット】** → **【機能】**
プライマリーDNSサーバーを設定する 【♯】【5】【0】【4】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** **【機能】** → **【♯】【5】【0】【4】** → **【セット】** **2.** テンキーを使用して、プライマリーDNSサーバーを入力する。→ **【セット】** → **【機能】**
セカンダリーDNSサーバーを設定する 【♯】【5】【0】【5】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** **【機能】** → **【♯】【5】【0】【5】** → **【セット】** **2.** テンキーを使用して、セカンダリーDNSサーバーを入力する。→ **【セット】** → **【機能】**

機能／コード	選択内容
マシン名を設定する 【♯】【5】【0】【7】	**1.** 【機能】 → 【♯】【5】【0】【7】 → 【セット】 **2.** 英数字を使用して、LAN上で認識するための本機の名前を15文字以内で入力する（文字入力については138 ページを参照）。 • 【0】または【1】を使用すると、次の記号も入力できます。 ! @ # $ % ^ & ’) (. - _ { } **3.** 【セット】 → 【機能】 **お知らせ** • LAN上で本機を認識するために、本機は重複しない名前を自動的に初期値として設定します。名前を変更する場合、重複を避けるため、唯一の名前を割り当ててください。
本機のMACアドレスを表示する 【♯】【5】【0】【8】	**1.** 【機能】 → 【♯】【5】【0】【8】 → 【セット】 **2.** 本機のMACアドレスが表示される。→ 【機能】
IPフィルターを設定する 【♯】【5】【3】【2】	【0】 “ナシ” （初期値）：この機能は無効になります。 【1】 “アリ” ：本機は、設定済みのIPパターンからのアクセスを拒否または承認します。IPアドレスを拒否または承認するかどうかを設定することができます。WebブラウザーでIPv4およびIPv6のそれぞれに最大4つのパターンを設定できます。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** ［ユーティリティー］ → ［Webサーバー］ → ［ネットワーク機能設定］ **3.** ユーザー名として“root”と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ ［OK］ **4.** ［LAN機能］タブを選択する。 **5.** ［IPフィルター］の横にある［編集］をクリックする。 **6.** ［フィルター(IPv4)］/［フィルター(IPv6)］の横にある［編集］をクリックする。 **7.** モードを変更し、IPフィルター情報を編集する。→ ［登録］ **8.** Webブラウザーを閉じる。
IPアドレスを自動的に設定する 【♯】【5】【3】【3】	この機能は、機能#500が有効になっている場合にのみ表示されます。 【0】 “ナシ” （初期値）：この機能は無効になります。 【1】 “アリ” ：IPアドレスが、DHCP（Dynamic Host Config - uration Protocol）サーバーを使用せずに自動的に割り当てられます。
HTTPDを設定する 【♯】【5】【3】【4】	【0】 “ナシ” ：Webサーバーへのアクセスを禁止します。 【1】 “アリ” （初期値）：Webサーバーへのアクセスを許可します。

機能／コード	選択内容
IPv6プロトコル 【♯】【5】【3】【5】	【0】 **“ナシ”** （初期値）：この機能は無効になります。 【1】 **“アリ”** ：IPv6プロトコルを使用できます。プリンタードライバーをインストールした後に、ポートをIPv6アドレスに変更してください。 **“キノウ セッテイ リスト”** （177 ページ）を印刷すると、IPv6アドレスを確認できます。 **お知らせ** • この機能を有効にするには、親機の電源スイッチをいったんオフにしてから、オンにする必要があります。
プライマリーWINSサーバーを設定する 【♯】【5】【3】【8】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** 【機能】 → 【♯】【5】【3】【8】 → 【セット】 **2.** テンキーを使用して、プライマリーWINSサーバーのIPアドレスを入力する。→ 【セット】 → 【機能】
セカンダリーWINSサーバーを設定する 【♯】【5】【3】【9】	この機能は、機能#500が無効になっているときに使用できます。 **1.** 【機能】 → 【♯】【5】【3】【9】 → 【セット】 **2.** テンキーを使用して、セカンダリーWINSサーバーのIPアドレスを入力する。→ 【セット】 → 【機能】
本機に保存されているFTPサーバー情報、およびSMBフォルダー情報をすべて消去する 【♯】【5】【7】【8】	【0】 **“イイエ”** （初期値） 【1】 **“ハイ”** • この機能を使用する前に、電話機コード、USBケーブル、およびLANケーブルを取り外してください。 **FTPサーバー情報を消去するには** **1.** 【機能】 → 【♯】【5】【7】【8】 **2.** 【1】を押して **“ハイ”** を選択する。→ 【セット】 **3.** 【1】を押して **“ハイ”** を選択する。→ 【セット】 → 【機能】 **SMBフォルダー情報を消去するには** **1.** 【機能】 → 【♯】【5】【7】【8】 **2.** 【1】を押して **“ハイ”** を選択する。→ 【セット】 **3.** 【0】を押して **“イイエ”** を選択する。→ 【セット】 **4.** 【1】を押して **“ハイ”** を選択する。→ 【セット】 → 【機能】

10.1.1.8 ネットワーク機能（LAN接続のみ）

この機能は、Webブラウザーで設定できます。

機能	タブ	選択内容
LAN機能を設定する	**[LAN機能]**	LAN機能の設定を入力します。詳細については、124 ページを参照してください。
SNMPのコミュニティ名を設定する	**[SNMP]**	SNMPのコミュニティ名を入力します。詳細については、ご利用のサービスプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

機能	タブ	選択内容
本機の使用場所を設定する	[SNMP]	本機の場所情報を入力します。
IPv6のリンクローカルアドレスを表示する	[IPv6]	リンクローカルアドレスが表示されます。
自動設定用のIPv6アドレスを表示する	[IPv6]	自動設定用のIPアドレスが表示されます。
IPv6のIPアドレスを設定する	[IPv6]	IPv6のIPアドレスを入力します。詳細については、ご利用のサービスプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
IPv6のデフォルトルーターを設定する	[IPv6]	IPv6のデフォルトルーター情報を入力します。詳細については、ご利用のサービスプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
スキャンtoFTPサーバーの情報を設定する	[FTP機能]	スキャンされたイメージを本機からFTPサーバーに送信するために、FTPサーバー情報を入力します。詳細については、123 ページを参照してください。
スキャンtoSMBフォルダーの情報を設定する	[SMB機能]	スキャンされたイメージを本機からSMBフォルダーに送信するために、SMBフォルダー情報を入力します。詳細については、123 ページを参照してください。

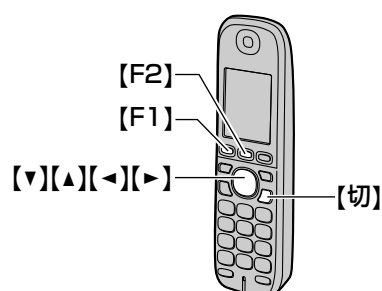
<table>
<tr><th>機能</th><th>タブ</th><th>選択内容</th></tr>
<tr><td>スキャンtoEメールアドレス、ボイスtoEメールアドレス、ファクス自動Eメール転送、インターネットファクス、および音声自動Eメール転送の情報を設定する</td><td>[Eメール機能]</td><td>スキャンされたイメージ、ファクスメッセージ、または音声メッセージをEメールで本機から送信するために、Eメールサーバー情報を入力します。

1. Multi-Function Stationを起動する。
2. [ユーティリティー] → [Webサーバー] → [ネットワーク機能設定]
3. ユーザー名として“root”と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ [OK]
4. [Eメール機能]タブを選択する。
5. [Eメールサーバー]の横にある[編集]をクリックする。
6. 送信元Eメールアドレス、サーバー情報を入力する。
7. [登録]
8. Webブラウザーを閉じる。

<u>お知らせ</u>
• ダイレクトSMTPを送信する場合は、ステップ6で送信元アドレスを設定してください。</td></tr>
</table>

機能	タブ	選択内容
Eメールアドレスを登録する	**[Eメール機能]**	Eメールアドレスを登録します（50箇所まで）。登録した宛先は、次の機能で送信先として使用することができます。 – スキャンtoEメールアドレス（53 ページ） – ボイスtoEメールアドレス（96 ページ） – インターネットファクス （90 ページ） – 音声自動Eメール転送（141 ページ） – ファクス自動Eメール転送（141 ページ） **お知らせ** • Eメールアドレスをインターネットファクスのダイレクト SMTPに使用する場合は、ダイレクトSMTP送信設定を **"アリ"** にしてください（114 ページの機能#425）。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** **[ユーティリティー]** → **[Webサーバー]** → **[ネットワーク機能設定]** **3.** ユーザー名として **"root"** と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ **[OK]** **4.** **[Eメール機能]** タブを選択する。 **5.** **[アドレスリスト]** の横にある **[編集]** をクリックする。 **6.** 登録する項目の横にある **[編集]** をクリックする。 **7.** 名前とEメールアドレスを入力する。 • 必要に応じて、ドロップダウンリストからワンタッチキー番号を選択してください。 • Eメールアドレスをインターネットファクスのダイレクト SMTPに使用する場合は、ドロップダウンリストからダイレクト SMTPを有効にしてください。 **8.** **[登録]** **9.** Webブラウザーを閉じる。 **お知らせ** • 親機のボタンを使用してEメールアドレスの登録、編集などをすることもできます（140 ページ）。

機能	タブ	選択内容
インターネットファクスの同報送信の宛先を登録する	**[Eメール機能]**	インターネットファクスの同報送信の宛先として、Eメールアドレスを登録します（20箇所まで）。登録した宛先は、インターネットファクス（91 ページ）で同報送信として使用することができます。 **1.** Multi-Function Stationを起動する。 **2.** **[ユーティリティー]** → **[Webサーバー]** → **[ネットワーク機能設定]** **3.** ユーザー名として **“root”** と入力し、パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ **[OK]** **4.** **[Eメール機能]** タブを選択する。 **5.** **[同報送信1]** または **[同報送信2]** の横にある **[編集]** をクリックする。 **6.** 登録する項目の横にある **[アドレスリスト]** をクリックする。 **7.** 登録する宛先を選択する。 • 他の宛先を登録するには、ステップ6および7を繰り返してください。 **8.** **[登録]** **9.** Webブラウザーを閉じる。
エラー通知機能を設定する	**[エラー通知機能]**	**[あり]**：問題が発生した場合、登録されている宛先にEメールでエラーを通知します。 **[なし]**（初期値）：この機能は無効になります。
エラー通知機能のEメールサーバー情報を設定する	**[エラー通知機能]**	エラー通知Eメールを送信するために、送信元Eメールアドレス、Eメールサーバー情報を入力します。
エラー通知機能の送信先を登録する	**[エラー通知機能]**	エラー通知の送信先にするEメールアドレスと通知項目を選択します。 **[消耗品交換間近通知]**：トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの交換をお勧めする通知。 **[用紙送りエラー通知]**：給紙カセットに問題があることを示す通知。 **[消耗品交換通知]**：トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの交換が必要であることを示す通知。

10.1.2 子機の機能設定

1 【F1】→ コード番号を押す。

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して機能を選択するか、数字などを入力する。→ **【F2】**

3 **【切】**

お知らせ

- ディスプレイを見ながら機能を選択するときは、**【F1】**→**【F2】**→【▼】【▲】【◄】【►】を押して、機能名を選びます。

10.1.2.1 子機の機能

機能／コード	選択内容
子機の名前を設定する 【♯】【0】【0】【2】	名前を入力します。 詳細については、33 ページを参照してください。
クイック通話を設定する 【♯】【0】【0】【8】	**"アリ"**：充電台から取るだけで電話をかけます。 **"ナシ"**（初期値）：この機能は無効になります。
オフフック応答を設定する 【♯】【0】【0】【9】	**"アリ"**：充電台から取るだけで電話を受けます。 **"ナシ"**（初期値）：この機能は無効になります。 **お知らせ** • 詳細については、67 ページを参照してください。

機能／コード	選択内容
外線電話の呼び出し音を設定する[*1] **【♯】【0】【5】【4】**	外線電話の呼び出し音を設定します。 **“ベル1”**（初期値） **“ベル2”** **“ベル3”** **“ベル4”** **“ベル5”** **“ベル6”**[*2] **“ベル7”**[*2] **“ベル8”**[*2] **“JUPITER”**[*3] **“ヴァルキューレ”**[*3] **“CANTATA”**[*3] **“クルミワリニンギョウ”**[*3] **1.** **【F1】** → **【♯】【0】【5】【4】** → **【F2】** **2.** **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、呼び出し音を選択する。→ **【F2】** **3.** **【切】**
キートーンを設定する[*1] **【♯】【0】【5】【8】**	**“アリ”**（初期値）：キートーンが聞こえます。 **“ナシ”**：この機能は無効になります。
エニーキーアンサーを設定する **【♯】【0】【6】【4】**	**“アリ”**（初期値）：着信時に、どのキーを押しても電話を受けます。 **“ナシ”**：この機能は無効になります。 詳細については、67 ページを参照してください。
保留通知音を設定する **【♯】【0】【6】【9】**	**“アリ”**（初期値）：外線通話を保留中、4秒ごとに「ピー」と音を鳴らします。 **“ナシ”**：この機能は無効になります。
留守音声モニターを設定する **【♯】【0】【7】【4】**	**“アリ”**（初期値）：留守応答中に、応答メッセージや相手の声がスピーカーから流れます。 **“ナシ”**：この機能は無効になります。
すべての機能を初期化する **【♯】【1】【1】【1】**	内蔵メモリー（記憶情報や設定内容）を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。 **1.** **【F1】** → **【♯】【1】【1】【1】** → **【F2】** **2.** **【F1】** → **【F2】**
子機を増設する **【♯】【1】【2】【3】**	詳細については、134 ページ「11.1.2 子機を親機に登録する」を参照してください。先に親機の操作が必要です。

機能／コード	選択内容
着信鳴り分けを設定する **【♯】【1】【3】【5】**	電話帳のグループ（1～9）、非通知、公衆電話、表示圏外ごとに設定します。 **1.** 【F1】→【♯】【1】【3】【5】 **2.** 【▼】【▲】【◄】【►】でグループなどを選択する。→**【F2】** **3.** 【▼】【▲】【◄】【►】で着信音を選択する。→**【F2】** **4.** **【切】** **お知らせ** • 発信者番号表示サービス（73 ページ）のお申し込みが必要です。
子機の電話帳の内容を親機または別の子機にコピーする **【♯】【1】【4】【3】**	136 ページ「親機または別の子機へコピーする（子機を使用）」のステップ2から操作を行ってください。
子機の電話帳の内容をすべて消去する **【♯】【1】【4】【4】**	詳細については、71 ページ「すべての項目を消去する」を参照してください。
子機を減設する **【♯】【1】【7】【8】**	詳細については、134 ページ「子機の登録解除」を参照してください。
電話帳に登録する **【♯】【2】【0】【0】**	70 ページ「電話帳項目の登録」のステップ2から操作を行ってください。

[*1] この設定は、親機と子機について個別に変更することができます。
– 子機の外線電話の呼び出し音の設定方法については、132 ページを参照してください。
– 子機のキートーンの設定方法については、132 ページを参照してください。

11.1 増設ユニット

11.1.1 増設ユニットを操作する

増設子機

別売りの子機を購入すると、最大で6台まで子機を増やすことができます。

お知らせ

- 増設用の子機品番は10 ページを参照してください。
- 子機によって使える機能が異なることがあります。

11.1.2 子機を親機に登録する

- 登録操作中は、電話機コードを抜いてください。

1 **親機**
【機能】→【♯】【1】【2】【9】→【セット】
- 登録可能な番号が表示されます。

2 **親機**
登録したい子機の番号をテンキーで入力する。

3 **子機**
【F1】→【♯】【1】【2】【3】→【F2】
- 登録が完了すると **“トウロク　シマシタ”**（子機）／ **“ゾウセツ　シマシタ”**（親機）と表示されます。

子機の番号を指定しない場合（簡易子機登録）

番号の小さい順に登録されます。

1 充電台から子機を取る。

2 親機の **【内線】** を5秒以上押す。

3 子機を充電台に置く。

子機の登録解除

親機を使用

1 **【機能】→【♯】【1】【3】【4】→【セット】**
- 登録されている子機の番号が表示されます。

2 登録を解除したい子機の番号をテンキーで入力する。
- **“ゲンセツ　シマスカ？”** と表示されます。

3 **【セット】** を押して、子機の登録を解除する。
- 登録解除を中止する場合は **【ストップ】** を押してください。

子機を使用

1 **【F1】→【♯】【1】【7】【8】**

2 **【F2】→【F1】**

親機の電波の届く範囲を広げる（中継アンテナを使用）

中継アンテナを使用して、親機の電波が届く範囲を広げることができます。パナソニック製の中継アンテナを使用してください。オプション品については10 ページを参照してください。

お知らせ

- 中継アンテナは2台まで登録することができます。
- 中継アンテナ側の登録方法や設置のしかたについては、中継アンテナの取扱説明書をお読みください。

1台目を登録する

1 **【機能】→【♯】【1】【4】【0】**

2 **【1】** を押して、 **“ゾウセツ”** を選択する。→ **【セット】**
- 中継アンテナ番号（ **“1”** および **“2”** ）が表示されます。

3 登録したい中継アンテナ番号をテンキーで入力する。
- 登録が完了すると **“ゾウセツ　シマシタ”** と表示されます。

2台目を登録する

1 **【機能】→【♯】【1】【4】【0】**

2 **【1】** を押して、 **“ゾウセツ”** を選択する。→ **【セット】**
- 登録可能な中継アンテナ番号（ **“1”** または **“2”** ）が表示されます。

3 登録したい中継アンテナ番号をテンキーで入力する。
- **“セツゾク　モード”** が表示されます。

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、2台目の中継アンテナの使用用途を選択する。
1台目とは別に単体で使用する場合：“**タンドク　セツゾク**”を選択してください。
1台目と合わせて中継範囲を広げたい場合：“**レンケツ　セツゾク**”を選択してください。

5 **【セット】**
- 登録が完了すると“**ゾウセツ　シマシタ**”と表示されます。

中継アンテナの登録解除

1 **【機能】**→**【#】【1】【4】【0】**

2 **【0】**を押して、“**ゲンセツ**”を選択する。→**【セット】**
- 登録解除が可能な中継アンテナ番号（“**1**”または“**2**”）が表示されます。

3 登録を解除したい中継アンテナ番号をテンキーで入力する。
- “**ゲンセツ　シマスカ？**”と表示されます。

4 **【セット】**を押して、中継アンテナの登録を解除する。
- 登録解除を中止する場合は**【ストップ】**を押してください。

お知らせ
- 中継アンテナ2台を“**レンケツ　セツゾク**”している場合、2台目に登録したアンテナから解除してください。

11.2 その他の機能

11.2.1 内線通話

子機と親機、または2台の子機を使って内線通話ができます。親機から全ての子機を呼び出すこともできます。

お知らせ
- 内線通話中に電話がかかってきた場合、着信ベル音が聞こえます。電話に出るには、内線通話を終了してから以下のように操作してください。
  – 67 ページ「親機の場合」のステップ1
  – 67 ページ「子機の場合」のステップ1

  【キャッチ】／**【F3】**（キャッチ）を使って電話に出ることはできません。

内線通話の開始

子機から呼び出す場合

1 **親機を呼び出す場合、【内線】**を押す。
- 子機が2台以上の場合、**【内線】**の後に**【0】**を押してください。

別の子機を呼び出す場合、【内線】→子機番号**【1】**～**【6】**を押す。
- **【*】**を押すと親機も含めていっせいに呼び出します。
- 呼び出しを中止するには**【切】**を押すか、子機を充電台に戻す。

2 相手が応答したら子機を使用して通話を行う。

3 内線通話を終了するには**【切】**を押すか、子機を充電台に戻す。

親機から呼び出す場合

1 **【内線】**を押す。
- 子機が2台以上の場合、**【内線】**の後に子機番号**【1】**～**【6】**を押してください。**【*】**を押すと全ての子機を呼び出します。

2 相手が応答したらハンドセットをあげて通話を行う。

3 内線通話を終了するにはハンドセットをおく。

内線通話の応答

子機で応答する場合

呼び出し音が鳴り、親機からの呼び出しのときには“**オヤキ**”、別の子機からの呼び出しのときには子機の名前（登録されている場合のみ）または子機番号がディスプレイに表示されます。

1 呼び出しに応答するには、**【内線】**を押す。

2 内線通話を終了するには、**【切】**を押すか、子機を充電台におく。

親機で応答する場合

呼び出し音が鳴り、子機番号がディスプレイに表示されます。

1 呼び出しに応答するには、ハンドセットをあげるか、**【内線】**または**【モニター】**を押す。

2 内線通話を終了するには、ハンドセットをおくか、**【内線】**または**【モニター】**を押す。

11.2.2 通話を転送する／3者通話にする

かかってきた電話を親機と子機との間や、子機と別の子機との間で転送することができます。

親機または別の子機への転送（子機を使用）

1 子機
外線通話中に**【保留】**を押して通話を保留状態にする。

2 子機
親機を呼び出す場合、【♯】を押す。

- 子機が2台以上の場合、**【♯】**の後に**【0】**を押してください。

別の子機を呼び出す場合、【♯】→ 子機番号**【1】**～**【6】**を押す。

- **【✱】**を押すと親機も含めていっせいに呼び出します。

3 親機
ハンドセットをあげるか、**【内線】**または**【モニター】**を押して応答する。
別の子機
【内線】を押して応答する。

4 子機
転送を完了させるには**【切】**を押すか、子機を充電台に戻す。

- 3者通話を行うにはステップ3の後、子機または親機の**【内線】**を押してください。

お知らせ

呼び出している相手との接続が切れてから外線の相手との通話ができます。

子機への転送（親機を使用）

1 親機
通話中に**【保留】**を押して通話を保留状態にする。

2 親機
【♯】を押す。

- 子機が2台以上の場合、**【♯】**の後に子機番号**【1】**～**【6】**を押してください。**【♯】【✱】**を押すと全ての子機を呼び出します。

3 子機
【内線】を押して応答する。

4 親機
転送を完了させるにはハンドセットをおくか、**【モニター】**を押す。

- 3者通話を行うにはステップ3の後、親機または子機の**【内線】**を押してください。

11.2.3 電話帳項目をコピーする

電話帳の項目を親機と子機との間や、子機と別の子機との間でコピーすることができます。

親機または別の子機へコピーする（子機を使用）

1つの電話帳項目のコピー

1 **【F2】**→**【F3】**

2 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、コピー先を選択する。

3 **【F2】**を押す。

4 **【▼】**または**【▲】**を繰り返し押して、**“コベツ”**を選択する。

5 **【F2】**

6 **【▼】【▲】【◄】【►】**を押して、コピーしたい項目を選択する。

7 **【F2】**

- 別の項目をコピーしたい場合は、ステップ6と7を繰り返します。

8 転送が終わったら**【切】**を押す。

すべての電話帳項目のコピー

1 **【F2】**→**【F3】**

2 【▼】または【▲】を繰り返し押して、コピー先を選択する。

3 【F2】

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、**“イッセイ”**を選択する。

5 【F2】を2回押す。

6 コピーが終わったら**【切】**を押す。

子機へコピーする（親機を使用）

1つの電話帳項目のコピー

1 【機能】→【♯】【2】【8】【2】

2 【1】を押して、**“コベツ”**を選択する。→**【セット】**

3 コピー先の子機の番号を入力する。

4 【▼】または【▲】を繰り返し押して、コピーしたい項目を選択する。

5 【セット】
- 別の項目をコピーしたい場合は、ステップ4〜5を繰り返します。

6 コピーが終わったら**【機能】**を押す。

すべての電話帳項目のコピー

1 【機能】→【♯】【2】【8】【2】

2 【0】を押して、**“イッセイ”**を選択する。→**【セット】**

3 コピー先の子機の番号を入力する。

4 コピーが終わったら**【機能】**を押す。

12.1 文字入力

12.1.1 親機

文字と数字を入力するときには、テンキーを使用します。

– 【#】を繰り返し押すと、入力モードが切り替わります。
  カタカナ（半角カタカナ）→ 英字（英字・記号）→ 数字
– 【◄】または【►】を押すと、カーソルを動かすことができます。
– **【ストップ】**を押すと、カーソル表示されている文字または数字を消去できます。**【ストップ】**を押したまま保持すると、すべての文字または数字を消去できます。
– 同じテンキーに割り当てられている別の文字を入力するには、【►】を押してカーソルを次のスペースに移動させてから、そのテンキーを押します。
– Eメールアドレスを入力する場合、カタカナ、“「”、“」”および“・”は入力できません。

キー	文字
【1】	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
	@ . _ - & $ ¥ % + = ˜ ^
	1
【2】	カ キ ク ケ コ
	A B C a b c
	2
【3】	サ シ ス セ ソ
	D E F d e f
	3
【4】	タ チ ツ テ ト ッ
	G H I g h i
	4
【5】	ナ ニ ヌ ネ ノ
	J K L j k l
	5
【6】	ハ ヒ フ ヘ ホ
	M N O m n o
	6
【7】	マ ミ ム メ モ
	P Q R S p q r s
	7
【8】	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
	T U V t u v
	8
【9】	ラ リ ル レ ロ
	W X Y Z w x y z
	9
【0】	ワ ヲ ン ー
	! ? / * # , ; : ǀ ・ ' " ( ) [ ] { } < > 「 」
	0
【*】	カタカナ入力モード ゛（濁点） ゜（半濁点） 、 。
	英字入力モード 、 。
【#】	入力モードが切り替わります。
【ズーム】	スペースが挿入されます。
【ストップ】	文字が消去されます。

12.1.2 子機

文字や数字を入力するときは、テンキーを使用します。文字入力画面で文字の種類を選び、テンキーで入力します。

– 【F1】を繰り返し押すと、入力モードが切り替わります。
  カタカナ（半角カタカナ）→ 英字（英字・記号）→ 数字
– 【◄】または【►】を押すと、カーソルを動かすことができます。
– 【F3】を押すと、カーソル上の文字または数字を消去できます。【F3】を2秒以上押すと、カーソル位置以降の文字または数字がすべて消去されます。
– 同じテンキーに割り当てられている別の文字を入力するには、【◄】または【►】を押してカーソルを別のスペースに移動させてから、そのテンキーを押します。
– 途中で入力をやめるときは、【切】を押します。

キー	文字
【1】	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
	@ . _ - & $ ￥ % ＋ ＝ ˜ ＾
	1
【2】	カ キ ク ケ コ
	A B C a b c
	2
【3】	サ シ ス セ ソ
	D E F d e f
	3
【4】	タ チ ツ テ ト ッ
	G H I g h i
	4
【5】	ナ ニ ヌ ネ ノ
	J K L j k l
	5
【6】	ハ ヒ フ ヘ ホ
	M N O m n o
	6
【7】	マ ミ ム メ モ
	P Q R S p q r s
	7
【8】	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
	T U V t u v
	8
【9】	ラ リ ル レ ロ
	W X Y Z w x y z
	9
【0】	ワ ヲ ン ー
	! ? / - * # , ; : | · ' " ( ) [ ] { } ＜ ＞ 「 」
	0
【✱】	カタカナ入力モード ゛（濁点） ゜（半濁点） 、 。
	英字入力モード 、 。
【保留】	スペースが挿入されます。

12.2 親機を使用したEメールアドレスの管理

親機のボタンを使用して、Eメールアドレスの登録・編集・消去を行うことができます。Eメールアドレスは50件まで登録することができます。

12.2.1 Eメールアドレスの登録

お知らせ

Eメールアドレスをインターネットファクスのダイレクト SMTPに使用する場合は、ダイレクトSMTP送信設定を“**アリ**”にしてください（114 ページの機能#425）。

1 **【機能】**を繰り返し押して、“**Eメール　アドレス トウロク**”を選択する。

2 【◄】または【►】を繰り返し押して、“**シンキ**”を選択する。→ **【セット】**

3 登録先として、ワンタッチキーまたはアドレスリストを選択する。
ワンタッチ1～2の場合
1. ワンタッチ1またはワンタッチ2を押す。
2. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“**アドレス**”を選択する。→ **【セット】**

ワンタッチ3の場合
ワンタッチキーを押す。
ワンタッチ4～6の場合
【シフト】を押してから、目的のワンタッチキーを押す。
アドレスリストの場合
【セット】

4 名前を入力する。→ **【セット】**

5 テンキーを使用してEメールアドレスを入力する。→ **【セット】**
- 他の項目を登録するには、ステップ2～5を繰り返してください。

6 **【機能】**

お知らせ

- ダイレクトSMTP送信設定（114 ページの機能#425）が有効になっている場合、ステップ5のあとに“**ダイレクトSMTP　デスカ?**”が表示されます。
  – EメールアドレスをダイレクトSMTPに使用する場合は、【▼】または【▲】を繰り返し押して“**アリ**”を選択してください。→ **【セット】**
  – EメールアドレスをダイレクトSMTPに使用しない場合は、【▼】または【▲】を繰り返し押して“**ナシ**”を選択してください。→ **【セット】**

12.2.2 登録された項目の編集

1 **【機能】**を繰り返し押して、“**Eメール　アドレス トウロク**”を選択する。

2 【◄】または【►】を繰り返し押して、“**ヘンシュウ**”を選択する。→ **【セット】**

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→ **【機能】** →【✱】

4 必要に応じて、名前を編集する。→ **【セット】**

5 必要に応じて、Eメールアドレスを編集する。→ **【セット】**

6 **【機能】**

12.2.3 登録された項目の消去

1 **【機能】**を繰り返し押して、“**Eメール　アドレス トウロク**”を選択する。

2 【◄】または【►】を繰り返し押して、“**ヘンシュウ**”を選択する。→ **【セット】**

3 【▼】または【▲】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。→ **【機能】** → **【♯】**
- 消去を中止するには、**【ストップ】**を押してください。

4 **【セット】** → **【ストップ】**

12.3 受信したファクス文書／音声メッセージをEメールアドレスへ自動転送する

受信したファクス文書をあらかじめ設定したEメールアドレスに自動で転送したり（ファクス自動Eメール転送機能）、受信した音声メッセージをあらかじめ設定したEメールアドレスに自動で転送する（音声自動Eメール転送機能）ことができます。転送された文書や音声メッセージは本機から消去されません。

お知らせ

- 42 ページ「ファクス機能一覧」および45 ページ「録音メッセージの転送・再生機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。
- 転送の状態を確認する方法については、118、120 ページを参照してください。

便利な使い方

長期間外出する場合、次の設定を推奨します。

1 機能を設定する。

2 PCファクス（88 ページ）またはPC音声管理（98 ページ）も有効にして、コンピューターをオンのままにする。

- PCファクスについては、Multi-Function Stationを起動し、**[PCファクス]** を有効にしてください。

この場合、データはPCファクスまたはPC音声管理機能を使用してコンピューターに転送され、転送済みのデータは本機から自動的に消去されます。同じデータがEメールアドレスにも送信されるため、毎日メッセージを確認できるだけでなく、本機の用紙切れ／メモリー残量不足なども防止できます。

12.4 親機の状態

12.4.1 リモートコントロールの使用

次の機能は、コンピューターから簡単に操作することができます。

- 機能の設定（104 ページ）
- 親機の電話帳にある項目の登録、編集または消去（69 ページ）
- 同報送信の項目の登録または消去（79 ページ）
- 通信履歴レポートの項目の表示（77 ページ）
- コンピューターへの通信履歴レポートの保存
- 着信メモリーリストの項目の表示（74 ページ）
- 親機の電話帳への発信者情報の登録（74 ページ）
- コンピューターへの着信メモリーリストの保存
- Eメールアドレスの登録・編集または消去（140 ページ）
- CSV形式（カンマ区切りのテキストファイル）による電話帳およびEメールアドレス帳のインポートまたはエクスポート

1 Multi-Function Stationを起動する。→ **[リモートコントロール]**

- **[Multi-Function リモートコントロール]** ウィンドウが表示されます。

2 目的のタブを選択する。

- 親機の現在の状態が表示されます。

3 目的の操作を行う。

- 各機能の詳細については、**[ヘルプ]** をクリックしてください。

- 操作を中止するには、**[キャンセル]** をクリックしてください。

4 **[OK]**

- **[適用]** をクリックすると、ウィンドウを閉じずに次の操作を続けることができます。

5 パスワードを入力する（105 ページの機能#155）。→ **[OK]**

- 新しい設定が親機に転送され、ウィンドウが閉じます。

お知らせ

- 一部の機能は、お使いのコンピューターから設定することができません。
- 別の人が親機で保存データに変更を加えている場合、上書きされることがあります。親機の同じ機能が現在使用中でないことを確認してください。
- 本機に入力された一部の文字（138 ページ）は、コンピューターの言語設定のために正しく表示されないことがあります。

12.4.2 デバイスモニターの使用

親機の設定情報および現在の状態をコンピューターから確認することができます。

1 Multi-Function Stationを起動する。

2 **[ユーティリティー]** → **[デバイスモニター]**

- **[Device Monitor]** ウィンドウが表示されます。

3 親機の状態を確認する。
[ステータス]：親機の現在の状態

お知らせ

- **[最新の情報に更新]** をクリックすると、親機の状態を更新できます。
- 印刷時にエラーが発生した場合、デバイスモニターが自動的に起動し、エラー情報を表示します。
- 詳細については、Multi-Function Stationから **[?]** を選択して、ヘルプファイルを参照してください。

12.4.3 Webブラウザーの使用（LAN接続のみ）

親機の設定情報および現在の状態をWebブラウザーから確認することができます。

1 Multi-Function Stationを起動する。→ **[ユーティリティー]** → **[Webサーバー]**

- Webブラウザーに本機のIPアドレスを入力して本機にアクセスすることもできます。
機能#501（124 ページ）で本機のIPアドレスを確認することができます。

2 メニューバーからカテゴリーを選択する。
[ステータス]：トナーおよび用紙情報など
[本体情報]：親機の現在の状態など
[ネットワーク情報]：ネットワーク情報など

- **[本体情報]** または **[ネットワーク情報]** を選択した場合、右フレームの上部にある機能タブをクリックすると、表示される機能を変更できます。

3 親機の状態を確認する。

お知らせ

- **[更新]** をクリックすると、親機の状態を更新できます。

12.5 操作を中止する

親機から現在の操作を中止することができます。中止する操作を選択することもできます。

1 【ストップ】

- **“チュウシ　シマシタ”**が表示されます。
- **“チュウシ　シマシタ”**が表示されない場合は、ステップ2に進んでください。

2 **印刷を中止するには**

【ストップ】を繰り返し押して**“インサツヲ　チュウシ　シマスカ？”**を選択する。

スキャンを中止するには

【ストップ】を繰り返し押して**“スキャンヲ　チュウシ　シマスカ？”**を選択する。

コピーを中止するには

【ストップ】を繰り返し押して**“コピーヲ　チュウシ　シマスカ？”**を選択する。

ファクスの送受信を中止するには

【ストップ】を繰り返し押して**“ファクスヲ　チュウシ　シマスカ？”**を選択する。

同報送信を中止するには

【ストップ】を繰り返し押して**“ドウホウ　チュウシ　シマスカ？”**を選択する。

ファクスの再ダイヤルを中止するには

【ストップ】を繰り返し押して**“ソウシンヲ　チュウシ　シマスカ？”**を選択する。

3 【セット】

13.1 レポートとディスプレイ

13.1.1 レポートメッセージ

本機のファクス送信／受信状態を示すために、次のいずれかのメッセージが通信結果レポートおよび通信履歴レポートで印刷されます（77 ページ）。

メッセージ	コード	原因および解決法
通信エラー	40-42 46-72 FF	• 送信エラーまたは受信エラーが発生しました。もう一度送信または受信を試みるか、相手先に確認してください。
	43 44	• 回線の問題が発生しました。電話機コードを別の電話回線端子に接続して、操作をやり直してください。 • 海外通信エラーが発生しました。海外通信モードを使用してやり直してください（111 ページの機能#411）。
原稿詰まり	-----	• 詰まった原稿を取り除いてください（172 ページ）。
相手先ファクスのエラー	53 54 59 70	• 相手側のファクス機に問題があるため、送信エラーまたは受信エラーが発生しました。相手先に確認してください。
迷惑ファクス拒否	-----	• 本機の迷惑ファクス防止機能によりファクスの受信が拒否されました。
メモリーが一杯です	-----	• 用紙切れ、または用紙詰まりのため、メモリーが受信ファイルでいっぱいになりました。用紙をセットするか（19 ページ）、詰まっている用紙を取り除くか（166 ページ）、メモリーをすべて消去してください（117 ページの機能#458）。 • PCファクス設定（116 ページの機能#442）が **"ジョウジ"** に設定されている場合、本機とコンピューター間の接続を確認してください。 • 見てから印刷機能（89 ページの機能#448）が **"アリ"** に設定されている場合、LANに接続されているコンピューター上のWebブラウザーを使用して、文書の表示、印刷または保存、そして不要な文書の消去を行ってください（89 ページ）。
原稿なし／原稿給紙エラー	-----	• 原稿が本機に正しく引き込まれませんでした。原稿をセットし直して、やり直してください。

メッセージ	コード	原因および解決法
相手先ファクス応答なし	-----	• 相手先のファクス機が話し中、または用紙切れの状態です。もう一度やり直してください。 • 相手先のファクス機の呼び出し回数が多すぎます。ファクスを手動で送信してください（76 ページ）。 • 相手側の機器はファクス機ではありません。相手先に確認してください。 • ダイヤルした番号は現在使用されていません。
‘ストップ’キーが押されました	-----	• **【ストップ】**が押されて、ファクス通信が中止されました。
カバーが開けられました	-----	• トップカバーが開けられました。カバーを閉じて、やり直してください。
正常終了	-----	• ファクスの送信または受信は成功しました。

インターネットファクスのレポートメッセージ（エラーコード一覧）

インターネットファクスの送受信ができなかった場合は、エラーコードが表示されます。エラーコードが表示されたときは、次の表に従って処置してください。

エラーコード	現象／原因	解決法
C0	ネットワークに問題が発生した	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
C1	初期手順の途中で通信エラーが発生した	原稿をセットし直し、再送してください。
C2	メールサイズオーバーの為、接続が切れた	原稿を分割して、再送してください。原稿を分割しても、送信できない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
C3	メールアドレスの誤り	登録されたメールアドレスを確認してください。SMTP サーバーのIP アドレスをネットワーク管理者にお問い合わせください。
C4	LAN にログオンできない	10Base-T/100Base-TX ケーブルの接続を確認してください。予期できない問題が発生しました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
C5	TCP/IP 接続のタイムアウト	インターネットファクスのパラメーター設定値を確認してください。IP アドレス、ゲートウェイIP アドレスの初期値、SMTP サーバーのIP アドレスを確認してください。

エラーコード	現象／原因	解決法
C6	指定したSMTP サーバーにログオンできない	SMTP サーバーのIP アドレス設定値を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
C7	SMTP プロトコル伝送が不完全。SMTP サーバーのハードディスクが一杯の可能性あり	SMTP サーバーに障害があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
C8	LAN 経由で受信したデータ形式が受信側に対応していない	以下に示すような、対応するファイル添付形式で再送してもらうように送信側に連絡してください。 • TIFF-F 形式 • 用紙のサイズに合った画像データ
C9	POP サーバーと接続できない（POP サーバーIP アドレスの誤り）。POP サーバーのダウン	POP サーバーのIP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
CA	POP サーバーに接続できない（ユーザー名またはパスワードのエラー）	POP ユーザー名とパスワード、またはAPOP 設定値を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
CB	DHCP サーバーからのネットワークパラメーター（例：IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトのゲートウェイIP アドレス）の取得に失敗	**1.** LAN ケーブルの接続を確認してください。 **2.** ネットワーク管理者に問い合わせて、お手元のネットワークでDHCP が使用できるか確認してください。
CD	DNS サーバーからエラー応答を受信／DNS サーバー接続のタイムアウト／DNS サーバーのダウン	POP サーバー名を確認してください。SMTP サーバー名を確認してください。DNS サーバーのIP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
CE	SMTP サーバーとの接続時に認証（SMTP 認証）に失敗	SMTP 認証ユーザー名とパスワードを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
CF	POPサーバーに接続後にPOPサーバーとの接続が切れた。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。

13.1.2 ディスプレイメッセージ

本機の状態を示すために、次のいずれかのメッセージがディスプレイに表示されます。

親機

ディスプレイ	原因および解決法
“コール　サービス”	• 本機に不具合があります。弊社のサービス担当者にご連絡ください。
“ナイセン　ショウチュウ” **“イマ　デキマセン”**	• 呼び出そうとしている子機が使用中です。
“ドラム　コウカンガ　ヒツヨウ”	• ドラムカートリッジに不具合があります。ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを交換してください。
“ゲンコウガ　アリマセン”	• 原稿が本機に正しく引き込まれませんでした。原稿を取り除き、**【ストップ】**を押してメッセージを消去してください。原稿をセットし直してください。原稿送りが頻繁に失敗する場合、原稿搬送ローラー（176 ページ）を清掃して、やり直してください。
“ドラム　ミソウチャク　デス”	• ドラムカートリッジが正しく挿入されていません。正しく挿入し直してください（15 ページ）。
“トレイ1ノ　ヨウシヲ　カクニン”	• 用紙がセットされていないか、給紙カセットの用紙切れです。用紙をセットしてください（19 ページ）。 • 用紙が本機に正しく引き込まれませんでした。用紙をセットし直してください（171 ページ）。 • 給紙カセットが完全に取り付けられていないか、挿入されていません。給紙カセットを親機に正しく挿入してください。
“ヨウシヲ　カクニンシテクダサイ　トレイ1”	• セットした用紙が適切なサイズではありません。ディスプレイに表示されているサイズの用紙をセットしてください。 • このメッセージが何回も表示される場合は、用紙サイズ設定も変更してください（108 ページの機能#380）。 • 用紙サイズ設定（108 ページの機能#380）が **“B5(ISO)”** または **“B5(JIS)”** に設定されているため、受信したファクスがメモリーに保存されました。用紙サイズ設定を変更し、適切な用紙をセットしてください。 __お知らせ__ • **“トレイ1”** ：給紙カセットを確認してください。表示される用紙サイズは用紙サイズ設定によって異なります（108 ページの機能#380）。 • **“トレイ2”** ：手差しトレイを確認してください。表示される用紙サイズは用紙サイズ設定によって異なります（47、108 ページの機能#381）。
“ヨウシヲ　キュウシ　デキマセン　トレイ2ヲ　カクニン！”	• 用紙が本機に正しく引き込まれませんでした。用紙をセットし直してください（171 ページ）。

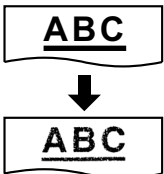
ディスプレイ	原因および解決法
“バックカバーヲ　カクニン”	• 手差しトレイ（後カバー）が開いています。閉じてください。 • 手差しトレイ（後カバー）の近くで用紙が詰まりました。詰まった用紙を取り除いてください（167 ページ）。
“テイチャクキ　レイキャクチュウ”	• 定着部を冷却しています。しばらくお待ちください。
“トナーギレジニ　ドラムモコウカンヲ　オススメシマス”	• 現在お使いのドラムカートリッジの回転数が高品質を保てる回転数を越えました。ご使用の環境やお使いの用紙、ご使用の状況により、写真原稿など中間調の画像をプリントされた場合に、高品質なプリント画像が得られない場合があります。プリント画像を確認していただき、ご満足いただける画質の場合はドラムカートリッジの交換を直ちに行う必要はございませんが、時々プリント画像をご確認いただき画質に応じて交換いただくか、トナーカートリッジ交換の際、同時にドラムカートリッジを交換することをお勧めします。
“トナーギレジニ　ドラムモコウカンシテクダサイ”	• ドラムカートリッジの寿命が来ました。トナーカートリッジ交換の際に、ドラムカートリッジを交換してください。ご使用の環境やお使いの用紙、ご使用の状況により、程度は異なりますが画質に影響があります。プリント画像の状態をご確認していただき、必要に応じて早めの交換をお願いいたします。 ※ドラムカートリッジを交換せずにご使用を続けた場合、急に画像が劣化したり、機器が故障する原因になることがあります。
“メールガ　オオキスギマス”	• スキャンtoEメールアドレスを実行するとき、スキャンしたデータの総ファイルサイズがファイルサイズ制限を超えました。原稿を分割してください。 • ボイスtoEメールアドレスを実行するとき、オーディオデータの総サイズがファイルサイズ制限を超えました。まず音声メッセージをコンピューターに転送して（97 ページ）分割し、Eメールソフトウェアを使用して目的の宛先に送信してください。
“ファクスジュシンデータアリ”	• 本機のメモリーに受信ファクスがあります。残りの表示メッセージを参照して、ファイルを印刷してください。ファクスメモリーの容量については、178 ページを参照してください。 • PCファクス設定（116 ページの機能#442）が **“ジョウジ”** に設定されている場合、 – 本機とコンピューター間の接続を点検してください。 – コンピューターが作動していることを確認してください。 • 見てから印刷機能（89 ページの機能#448）が **“アリ”** に設定されている場合、 – LANに接続されているコンピューター上のWebブラウザーを使用して、受信したファクス文書の表示、印刷または保存、そして不要な文書の消去を行ってください（89 ページ）。 – 設定を **“ナシ”** にしてください。メモリーに保存されているファクス文書は自動的に印刷されます。

ディスプレイ	原因および解決法
“ファイルガ　オオキスギマス”	• スキャンtoFTPサーバーまたはスキャンtoSMBフォルダーを実行するとき、スキャンしたデータの総ファイルサイズがファイルサイズ制限を超えました。原稿を分割してください。
“コピードウサ　タイキチュウ”	• 何らかの問題により、コピーが停止しました（例：用紙切れ、または用紙詰まり）。残りの表示メッセージを参照して、コピーを続けてください。
“シツオンガ　ヒクスギマス”	• 本機の内部温度が著しく低下しているため、操作できません。暖かい場所で使用してください。
“メモリーガ　イッパイデス”	• メモリー送信中に、保存中のファイルが本機のメモリー容量を超えました。すべての原稿を手動で送信してください。 • コピー中に、保存中のファイルが本機のメモリー容量を超えました。**【ストップ】**を押してメッセージを消去してください。原稿を分割してください。 • 親機の電話帳に新規項目を保存する領域がありません。不要な項目を消去してください（70 ページ）。
“オンセイガ　イッパイデス”	• 音声メッセージを録音するための空きがメモリーに残っていません。不要なメッセージを消去してください（96、101 ページ）。
“モデム　エラー　デス”	• 本機のモデムに不具合があります。弊社のサービス担当者にご連絡ください。
“ファクス　オウトウ　ナシ”	• 相手先のファクス機が話し中、または用紙切れの状態です。もう一度やり直してください。
“ヨウシガ　アリマセン　トレイ２ヲ　カクニン！”	• 手差しトレイに用紙がセットされていません。用紙をセットしてください（22 ページ）。
“トレイ2ニ　ヨウシガ　アリマス”	• 手差しトレイに用紙がセットされています（22 ページ）。
“ヨウシ　ヅマリ　デス” **“カバーヲ　アケテ　トリノゾイテ　クダサイ”**	• 用紙が詰まりました。詰まった用紙を取り除いてください（166 ページ）。
“PCセツゾク　シッパイデス”	• 本機とコンピューターをつなぐケーブルが正しく接続されていません。接続を確認してください（25、37 ページ）。 • コンピューターに何らかの問題があります（例：コンピューターが作動していることを確認してください）。 • コンピューター上でソフトウェアが作動していません。ソフトウェアを再起動して、やり直してください。
“シバラク　オマチクダサイ”	• 本機はウォームアップ中です。しばらくお待ちください。
“サイダイヤル　オウトウナシ”	• 相手先のファクス機が話し中、または用紙切れの状態です。もう一度やり直してください。

ディスプレイ	原因および解決法
“ゲンコウ　ヅマリデス”	• 原稿が詰まっています。詰まった原稿を取り除いてください（172 ページ）。 • 自動原稿送り装置を使用して送信またはコピーを試みた原稿の長さが600 mmを超えていました。**【ストップ】**を押して、原稿を取り除いてください。原稿を複数に分割して、やり直してください。
“ヨウシヲトリノゾイテクダサイ　トレイ2ヲ　カクニン！”	• ファクスの受信印刷をしようとしているときに、手差しトレイに用紙がセットされています。手差しトレイから用紙を取り除いてください。
“ジュシンガ　イッパイデス”	• 用紙切れ、または用紙詰まりのため、メモリーが受信ファイルでいっぱいになりました。用紙をセットするか（19 ページ）、または詰まっている用紙を取り除いてください（166 ページ）。 • PCファクス設定（116 ページの機能#442）が **“ジョウジ”** に設定されている場合、 – 本機とコンピューター間の接続を点検してください。 – コンピューターが作動していることを確認してください。 • 見てから印刷機能（89 ページの機能#448）が **“アリ”** に設定されている場合、 – LANに接続されているコンピューター上のWebブラウザーを使用して、受信したファクス文書の表示、印刷または保存、そして不要な文書の消去を行ってください（89 ページ）。 – 設定を **“ナシ”** にしてください。メモリーに保存されているファクス文書は自動的に印刷されます。
“スキャナー　イチノ　エラー　デス”	• スキャナー位置が正しくありません。電源スイッチをいったんオフにしてから、オンに戻してください。問題を解決できない場合、弊社のサービス担当者にご連絡ください。
“シリアル　エラー”	• 本機に不具合があります。弊社のサービス担当者にご連絡ください。
“トナーガ　アリマセン” **“コウカン　シテクダサイ”**	• トナーが空です。トナーカートリッジをただちに交換してください。
“トナーガ　スクナイデス” **“コウカン　シテクダサイ”**	• トナーカートリッジの寿命が残りわずかです。トナーカートリッジを早めに交換してください。
“カバーガ　アイテイマス”	• トップカバーが開いています。閉じてください。
“ツウシン　エラー　デス”	• 送信エラーが発生しました。もう一度やり直してください。
“ガイセン　ショウチュウ”	• 子機が外線使用中です。
“ゲンセツ　デキマセン”	• 選んだ子機や中継アンテナの番号が登録されていません。ディスプレイに表示されている番号を選んでください。
“ゾウセツ　デキマセン”	• 選んだ子機や中継アンテナの番号がすでに登録済みです。ディスプレイに表示されている番号を選んでください。番号が表示されていない場合は、これ以上増設することができません。

子機

ディスプレイ	原因および解決法
“オヤキニ　セツゾク　デキマセン”	• 子機が親機から離れすぎています。 • 親機の電源が入っていません。
“ガイセン　シヨウチュウ”	• 親機または別の子機が外線使用中です。
“ガイセン　チャクシン”	• 電話がかかってきています。 • 発信者番号表示サービス使用時に、電話回線の状態が悪いときに表示します。
“[ケンガイ]”	• 親機からの電波が届いていません。 • 親機の電源が入っていません。
“サーチ　テイシチュウ　サイカイハ［F3］オス”	• 親機から電波が届かない状態で約３時間経過しました。【F3】を押してください。
“シヨウチュウ　イマ　デキマセン”	• 親機で通話またはファクスの送受信中です。 • 別の子機を使用中に、子機で使えない操作をしたときに表示します。
“ツウワロクオン　チュウノコリ　ワズカデス”	• 音声メッセージを録音するための親機の空きがメモリーに残っていません。不要なメッセージを消去してください。
“テンソウ　デキマセン”	• 子機が親機から離れすぎています。 • コピー先の子機の電池が切れています。充電してください。 • コピー先の電話帳の空きがメモリーに残っていません。不要な相手先を消去してください。 • 親機または別の子機が使用中です。
“デンワチョウガ　イッパイデス”	• 子機の電話帳の空きがメモリーに残っていません。不要な相手先を消去してください。
“ナイセン　シヨウチュウ”	• 親機または別の子機が内線使用中です。
“ヒョウジケンガイ”	• 発信者番号表示サービス使用時に、海外など番号を通知できない電話からかかっています。
“メモリーイッパイ　ロクオン　デキマセン”	• 音声メッセージを録音するための親機の空きがメモリーに残っていません。不要なメッセージを消去してください。
“トウロク　デキマセン”	• 迷惑設定および通話拒否設定を行うと表示されます。本機では設定できません。

13.2 トラブル時の処置

13.2.1 正しく機能しないとき

全般

問題	原因および解決法
本機が動作しない。	• 接続を確認してください（25、37 ページ）。 • 子機の電池が正しく取り付けられていることを確認し（23 ページ）、電池を完全に充電してください（26 ページ）。
排紙トレイがすぐにいっぱいになる、または排紙トレイに用紙が適切に積み重ならない。	• 湿度が高いと、用紙がカールすることがあります。用紙の向きを変えて、セットし直してください。用紙のカールがひどい場合、その用紙を排紙トレイから取り出してください。問題が解消されない場合、弊社のサービス担当者にご連絡ください。
親機から、音量の調整、ワンタッチダイヤルおよび電話帳に保存されている項目の表示、または発信者番号情報の表示ができない。	• 本機がスキャンモードまたはコピーモードに設定されています。**【ファクス】**を押してモードを切り替えてください。問題が解消されない場合、弊社のサービス担当者にご連絡ください。
PCファクスおよびリモートコントロールの使用中に印刷エラーが表示される。	• PCファクスおよびリモートコントロールでは、プリンタードライバーが使用されます。送信エラーは印刷エラーとして表示されます。
Multi-Function Stationが正しく機能しない。	• USBケーブルがUSBハブに接続されている場合、USBケーブルをコンピューターのUSBポートに直接接続してください。 • お使いのコンピューターにインストールされているWindowsに最新版のService Packが適用されていることを確認してください。詳細については、MicrosoftのWebサイトをご覧ください。 • コンピューターにその他の多機能ソフトウェアがインストールされている場合、アンインストールしてください。 • コンピューターに十分なメモリーとハードディスク空き領域があることを確認してください。コンピューターでメモリー不足の警告が表示された場合、その他のアプリケーションを終了してください。ハードディスクに十分な空き領域がない場合、不要なファイルを消去してください。 • Multi-Function Stationをいったんアンインストールしてから、インストールし直してください。

問題	原因および解決法
Multi-Function Stationをインストールまたはアンインストールできない。	• Multi-Function Stationのインストールまたはアンインストールに必要なファイルのいくつかが壊れている可能性があります。MfsCleanerユーティリティ（付属のCD-ROMに収録）を使用して、問題を解決してください。 **1.** 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。 • セットアッププログラムが自動的に始まります。 **2.** **［ツール］** → **［削除ツール］** • **［MfsCleaner］**ウィンドウが表示されます。 **3.** **［削除］**をクリックし、**［はい］**をクリックしてコンピューターを再起動する。 **お知らせ** • Multi-Function Stationを再インストールする方法については、36 ページを参照してください。
Multi-Function Stationで電子取扱説明書を表示できない。	• 事前にコンピューターに電子取扱説明書をインストールしてください（38 ページ）。
次の機能を操作しているときに、［対象装置］または［装置選択］ダイアログボックスで本機を見つけられない。 – **スキャン** – **リモートコントロール** – **PCファクス** – **デバイスモニター**	• プリンタードライバーがインストールされていません。プリンタードライバーをコンピューターにインストールしてください（36 ページ）。
リモートコントロールでの機能設定に必要なパスワードを忘れた。	• 機能設定用パスワードを変更した可能性があります。パスワードを忘れた場合、機能#155を使用して新しいパスワードを割り当ててください（105 ページ）。現在のパスワードを入力する必要がある場合、代わりに**"0101"**と入力してください。
機能設定中にコードまたはID番号を入力できない。	• 番号の全部または一部が別のコードまたはIDと同じです。番号を変更してください。 – リモート操作ID（コード）：119 ページの機能#306。 – リモート受信コード：114 ページの機能#434。 – 自動切断コード：115 ページの機能#435。
Eメール関連の機能が正しく機能しない。	• Eメールの送受信にSecure Sockets Layer（SSL）暗号化が必要とされる環境の場合、追加のEメールサーバー設定または別のEメールシステムの使用が必要になる場合があります。

印刷に関する問題

問題	原因および解決法
印刷時に用紙がしわになったり、折り重なったりする。	• 用紙が適切にセットされていることを確認してください（19 ページ）。 • 用紙を裏返したり、180度回転させたりしてください。
印刷品質が低い（にじみ、点または線のぼけなど）。	• 用紙によっては、推奨される印刷面があります。試しに用紙を裏返して印刷してください。 • 使用した用紙は綿または繊維の含有率が20%を超えている可能性があります（レターヘッドのある用紙や履歴書用紙など）。 • 用紙が湿りすぎています。新しい用紙を使用してください（19 ページ）。
用紙を変更したが、印刷品質が良くならない。	• ガラスまたはローラーが修正液などで汚れています。ガラスまたはローラーを清掃してください（173、176 ページ）。修正液が完全に乾かないうちに原稿をセットしないでください。 • 機能#482のトナーセーブモードが **"アリ"** になっています（109 ページ）。 • 残りのトナーが少なくなっています。トナーカートリッジを交換してください。 • ドラムの寿命と品質を確認するには、テストプリントリストを印刷してください（177 ページ）。印刷品質が低い場合は、トナーカートリッジとドラムカートリッジを交換してください。
白紙が排出される。	• 原稿の裏表を逆にしてコピーしました。 • 相手側がファクス機に原稿を裏表逆にセットして送信しました。相手先に確認してください。
Microsoft PowerPoint® や他のアプリケーションから印刷すると、色つきまたは灰色の箇所がグレースケールの代わりに黒で印刷される。	• **［カラー］** を選択するか、印刷ダイアログの **［グレースケール］** の横のチェックボックスをオフにすると、色つきまたは灰色の箇所は適切なグレースケールで印刷されます。
本機をプリンターとして使用すると、印刷結果がゆがむ。	• 本機がUSBでコンピューターに接続されている場合に、コンピューター側で印刷を中止して、すぐに印刷を行うと、印刷結果がゆがむことがあります。これを避けるには、60秒間待ってから印刷を再開してください。

スキャナー

問題	原因および解決法
スキャンできない。	• 高画質でスキャンする場合、利用可能なメモリー容量を十分に確保する必要があります。コンピューターでメモリー不足の警告が表示された場合、その他のアプリケーションを終了して、やり直してください。 • スキャンする範囲を縮小してもう一度やり直してください。 **1.** **［プレビュー］**をクリックして、スキャンするイメージを確認する。 **2.** フレームをドラッグして、スキャン範囲を指定する。 **3.** **［スキャン］**をクリックしてスキャンを開始する。 • 本機は使用中です。後でもう一度やり直してください。 • ハードディスクに十分な空き領域がありません。不要なファイルを消去して、やり直してください。 • 本機とコンピューター間の接続を点検してください（25、37 ページ）。 • コンピューターを再起動して、やり直してください。 • 設定した用紙サイズよりも長い原稿をスキャンしようとしました。設定を変更するか、原稿を適切な用紙サイズに分割してやり直してください。
本機をスキャナーとして使用するときに、原稿が本機に送り込まれない。	• 自動原稿送り装置の原稿をいったん取り出し、原稿をセットし直してください。
［キャンセル］をクリックした後も、スキャンが継続される。	• しばらくお待ちください。中止要求が受け入れられるまでに、しばらく時間がかかることがあります。
親機で原稿をスキャンするときに、親機に目的のコンピューターの名前が表示されない（LAN接続のみ）。	• プリンタードライバーがインストールされていません。プリンタードライバーをコンピューターにインストールしてください（36 ページ）。 • コンピューター名リストアップ機能が**［オフ］**に設定されています。**［PC名を装置に表示］**を**［オン］**に設定してください（39 ページ）。 • LAN上の最大許容数のコンピューターが本機に接続されています（30台まで）。その他のコンピューターで**［PC名を装置に表示］**を**［オフ］**に設定してください（39 ページ）。 • 本機のIPアドレスが変更されている可能性があります。IPアドレスを検出するには、次の順序で操作してください。 **［スタート］** → **［すべてのプログラム］**または**［プログラム］** → **［Panasonic］** → 本機の名前 → **［IPアドレスチェッカー］** • 本機のIPアドレスが検出されます。

コピー

問題	原因および解決法
コピーできない。	• 機能設定中はコピーできません。機能設定の終了後、コピーしてください。 • 原稿が本機に正しく引き込まれませんでした。原稿をセットし直してください。 • 用紙がセットされていないか、用紙切れです。用紙をセットしてください（19 ページ）。
コピーされた文字が鮮明でない。	• 原稿が暗すぎるか、明るすぎます。読取濃度を変更して（58 ページ）、やり直してください。
コピーされた文書が暗すぎて読めない。	• 原稿にカラー用紙が使用されています。読取濃度を変更し（58 ページ）、**“モジ”**の読取画質（58 ページ）を使用して薄めにコピーしてください。

ファクス

問題	原因および解決法
ファクスを送信できない。	• 相手先のファクス機が話し中、または用紙切れの状態です。もう一度やり直してください。 • 相手側の機器はファクス機ではありません。相手先に確認してください。 • 相手先のファクス機がファクスに自動応答しませんでした。ファクスを手動で送信してください（76 ページ）。 • 最大ファクス通信速度を**“14.4kbps”**に設定してください（113 ページの機能#418）。
ファクスを海外に送信できない。	• 海外通信モードを使用してください（111 ページの機能#411）。 • 電話番号の終わりにポーズを2回追加するか、手動でダイヤルしてください。
受信したファクスの文字がゆがんでいるという苦情が相手先から届いた。	• 電話回線でキャッチホンなどの特別電話サービスをご利用の場合、ファクス送信中にそのサービスが起動した可能性があります。このようなサービスを利用していない回線に本機を接続してください。 • 同じ回線にある別の電話のハンドセットが外れています。並列電話のハンドセットを置いて、やり直してください。
受信したファクスの品質に関して、相手先から苦情があった。	• 試しに原稿をコピーしてみてください。コピーされたイメージが鮮明である場合、相手先のファクス機に問題がある可能性があります。 コピーされたイメージが鮮明でない、暗すぎる、または白黒線やにじみが現れる場合、154 ページ「印刷に関する問題」を参照してください。 • 原稿が暗すぎるか、明るすぎます。読取濃度を変更して（77 ページ）、やり直してください。

問題	原因および解決法
受信したファクスが暗すぎて読めないという苦情が相手先から届いた。	• 原稿にカラー用紙が使用されています。読取濃度を変更し（58 ページ）、**“モジ”**の読取画質（58 ページ）を使用して薄めにコピーして、やり直してください。
ファクスを受信できない。	• PCファクス設定（116 ページの機能#442）が有効になっており、受信したファクス文書は自動的にコンピューターに転送されます。コンピューターを使用して、受信したファクス文書を表示してください（88 ページ）。 • 見てから印刷機能（89 ページの機能#448）が有効になっており、受信したファクス文書は自動的にメモリーに保存されます。LANに接続したコンピューター上のWebブラウザーを使用して、受信したファクス文書を表示してください（89 ページ）。 • 最大ファクス通信速度を**“14.4kbps”**に設定してください（113 ページの機能#418）。 • 手差しトレイに用紙がセットされています。手差しトレイから用紙を取り除いてください。
ファクス全文書を受信できない。	• ファクス自動Eメール転送（116 ページの機能#452）が有効になっています。この場合、受信できるのは最大3 MBのファクスのみです。この機能を無効にしてから、ファクスを再送信するように相手先に依頼してください。
ファクスを自動受信できない。	• 受信モードが手動受信モードに設定されています。留守電／ファクスモード（84 ページ）、ファクス専用モード（85 ページ）またはファクス／電話切替モード（86 ページ）に設定してください。 • 着信に応答するまでの時間が長すぎます。本機が着信に応答するまでの呼び出し回数を少なくしてください（107 ページの機能#210）。 • 応答メッセージが長すぎます。より短いメッセージを録音してください（94 ページ）。
ディスプレイに“ファクス　セツゾク　チュウ”と表示されるが、ファクスは受信されない。	• 受信モードがファクス専用に設定されており、着信がファクスではありません。受信モードを留守電／ファクスモード（84 ページ）、手動受信モード（85 ページ）またはファクス／電話切替モード（86 ページ）に変更してください。
受信したファクスの印刷品質が低い。	• コピーの品質が適切である場合、本機は正しく機能しています。送信元の原稿がかすれていたか、送信元のファクス機に問題がある可能性があります。送信元に鮮明な原稿を使用するように頼むか、ファクス機を点検するように頼んでください。 • 適切にコピーできない場合、154 ページ「印刷に関する問題」を参照してください。

問題	原因および解決法
送信元からファクスを送信できないという苦情が来た。	• 受信モードが手動受信モードに設定されています。ファクスを手動で受信するか（85 ページ）、受信モードを留守電／ファクスモード（84 ページ）、ファクス専用モード（85 ページ）またはファクス／電話切替モード（86 ページ）に変更してください。 • 用紙切れ、または用紙詰まりのため、メモリーが受信ファイルでいっぱいになっています。用紙をセットするか（19 ページ）、または詰まっている用紙を取り除いてください（166 ページ）。 • PCファクス設定（116 ページの機能#442）が**“ジョウジ”**に設定されている場合、本機とコンピューター間の接続を確認してください。 • 見てから印刷機能（89 ページの機能#448）が**“アリ”**に設定されている場合、LANに接続されているコンピューター上のWebブラウザーを使用して、文書の表示、印刷または保存、そして不要な文書の消去を行ってください（89 ページ）。
目的の受信モードを選択できない。	• 留守電／ファクスモードまたはファクス専用モードに設定したい場合 – 機能#400（108 ページ）を使用して目的のモードを選択し、**【留守】**を繰り返し押して**【留守】**ライトを点灯させてください。 • 手動受信モードまたはファクス／電話切替モードに設定したい場合 – 機能#404（109 ページ）を使用して目的のモードを選択し、**【留守】**を繰り返し押して**【留守】**ライトを消灯させてください。
並列電話が接続されているとき、【*】【#】【9】を押してもファクスを受信できない。	• 事前にリモート受信（114 ページの機能#434）をオンにしておく必要があります。 • **【*】【#】【9】**を確実に押してください。 • リモート受信コードを**【*】【#】【9】**（初期値）から変更した可能性があります。リモート受信コードを確認してください（114 ページの機能#434）。
ダイヤル音が聞こえない。	• 本機の接続にスプリッタ／カプラーを使用している場合、スプリッタ／カプラーを取り外し、本機を壁面の端子に直接接続してください。本機が正しく機能する場合、スプリッタ／カプラーを点検してください。 • 本機を電話機コードから取り外し、正常であることが確認されている電話を接続してみてください。電話が正しく機能する場合、弊社のサービス担当者に連絡して、本機の修理を依頼してください。電話が正しく機能しない場合、電話会社にご連絡ください。 • 電源コードまたは電話機コードが接続されていません。接続を確認してください（25 ページ）。 • コンピューターモデム経由で本機を接続している場合、本機を電話回線端子に直接接続してください。

問題	原因および解決法
電話できない。	• ダイヤル切替設定が正しくない可能性があります。設定を変更してください（28 ページの機能#120）。 • 子機が親機から離れすぎています。近づけてから、やり直してください。 • 子機のキーロック機能が設定されています。【#】を3秒以上押して、設定を解除してください（66 ページ）。 • 別機が使用中です。後でもう一度やり直してください。 • 留守番電話が使用中です。後でもう一度やり直してください。
本機の呼び出し音が鳴らない。	• 呼び出し音量がオフになっています。呼び出し音量を調整してください（31 ページ）。 • 子機の電池が切れています。充電してください（26 ページ）。
ファクス音のみが聞こえて通話ができないという苦情が相手先から届いた。	• ファクス専用モードに設定されています（85 ページ）。その番号はファクス専用であることを相手先に伝えてください。 • 受信モードを手動受信モード（85 ページ）、ファクス／電話切替モード（86 ページ）または留守電／ファクスモード（84 ページ）に変更してください。
親機の【再ダイヤル】または【ポーズ】が正しく機能しない。	• ダイヤル中にこのボタンを押すと、ポーズが挿入されます。ダイヤル音が聞こえた直後に押すと、最後にダイヤルした番号が再ダイヤルされます。
子機または親機を呼び出せない。	• 子機が親機から離れすぎています。
呼び出し中にダイヤル切替をパルスからトーンに一時的に変更できない。	• 呼び出し中に【*】（トーン）を押して、トーンダイヤリング用の適切なテンキーを押してください。
コンピューターでファクス文書を受信できない。	• 次の機能が事前に設定されていることを確認してください。 – PCファクス受信（116 ページの機能#442） – PCファクス受信用コンピューター設定（35 ページの機能#443）
受信したファクス文書をWebブラウザーで表示できない（LAN接続のみ）。	• 次の機能が事前に設定されていることを確認してください。 – 見てから印刷機能（89 ページの機能#448） – Web見てから印刷アクセスコード（89 ページの機能#450） • 印刷中、コピー中またはスキャン中には、受信したファクス文書をWebブラウザーで表示できません。印刷、コピーまたはスキャンの後にやり直してください。
受信したファクス文書をWebブラウザーで消去できない（LAN接続のみ）。	• 消去する前に、受信したファクス文書の表示、印刷または保存を行ってください（89 ページ）。

発信者番号表示

問題	原因および解決法
発信者情報が表示されない。	• 発信者番号表示サービスを申し込む必要があります。ご利用にあたっては、サービスプロバイダー／電話会社にお問い合わせください。 • 本機が他の電話機に接続されている場合は、本機を取り外してから、直接壁面の端子に差し込んでください。 • DSL/ADSLサービスを使用している場合は、親機と電話回線端子の間にDSL/ADSLフィルターを接続することを推奨します。詳細については、DSL/ADSLプロバイダーにお問い合わせください（25 ページ）。 • 他の電話機が本機と干渉している可能性があります。他の電話機を取り外して、やり直してください。 • 同じコンセントに接続されている他の電化製品が発信者番号表示サービスに干渉している可能性があります。 • 電話回線のノイズが発信者番号表示サービスに影響している可能性があります。 • 発信者が発信者番号の非通知を選択しました（73 ページ）。 • 着信が転送されてきている場合は、発信者情報は表示されません。

子機

問題	原因および解決法
充電台に置いても、“ジュウデンチュウ”と表示されない。	• 電池パックが新品か、電池の残量が少なくなっている可能性があります。数分間、子機を充電台に置いたままにしておくと表示されます（26 ページ）。 • 電源コードが電源コンセントから外れていないか確認し、しっかり取り付けてください。
充電完了まで充電しても、通話数分後に □ が点滅する。	• 電池パックの寿命です。交換してください （23 ページ）。
約10 時間充電しても、“ジュウデンカンリョウ”と表示されない。	• 途中で子機を使用したりすると、充電時間が長くなります（26 ページ）。 • 使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります （26 ページ）。 • 親機の電源が入っていないときや、子機に **“[ケンガイ]”** と表示されているときは、充電時間が長くかかります。親機の電源を入れ、**“[ケンガイ]”** の表示が消えるまで子機を親機に近づけてから充電してください （26 ページ）。

問題	原因および解決法
相手の声が途切れたり、雑音が入る。	• 子機が親機から離れすぎています。子機を親機に近づけてください。 • 親機との間に金属やコンクリート壁など、障害物がある場合、場所を移動して通話してください。移動できないときは、中継アンテナの設置を検討してください。 • 子機のアンテナ部を指や手で覆わないようにしてください（14 ページ）。
しばらく話していると、だんだん相手の声が聞こえにくくなる。	• 耳の位置から子機の受話口がずれていないか確認をしてください。受話口の位置を耳に合わせ直してください。
子機を充電台から取り、しばらくすると「ピピッ」と鳴り始める。	クイック通話に設定されています。 • 通話しないときは、**【切】** を押してください。そのまま放置しても約90 秒後に切れます。 • 並列接続した電話機で受けた電話を、子機に切り替えるときは、**【📞】** を押してください。

ネットワーク（LAN接続のみ）

<table>
<tr><th>問題</th><th>原因および解決法</th></tr>
<tr><td>次の機能を操作できない。
– コンピューターからの印刷
– スキャン
– リモートコントロール
– PCファクス
– デバイスモニター</td>
<td>

- メインボードのLAN端子のLEDを確認してください。LEDが点灯または点滅している場合、ネットワークに正しく接続できています。LEDが点灯または点滅していない場合、LANケーブル（カテゴリ5ストレートケーブル）がメインボードのLAN端子に正しく接続されていることを確認してください。
- LEDが点滅しているのに、目的の操作を実行できない場合、本機のIPアドレスが変更されている可能性があります。
IPアドレスを検出するには、次の順序で操作してください。
［スタート］ → **［すべてのプログラム］**または**［プログラム］** → **［Panasonic］** → 本機の名前 → **［IPアドレスチェッカー］**
  - 本機のIPアドレスが検出されます。

  お知らせ

  - IPアドレスを検出できない場合、IPアドレスを手動で入力してください（124 ページの機能#501）。コンピューターおよび本機のIPアドレスは、次のように、同じローカルIPアドレスクラスである必要があります。ご自分のローカルネットワークスケールに対応したクラスに指定されている数字の範囲内で、IPアドレスを設定してください。

<table>
<tr><th>クラス</th><th>サブネットマスク</th><th>IPアドレス</th></tr>
<tr><td>クラスA</td><td>255.0.0.0</td><td>10.0.0.1～
10.255.255.254</td></tr>
<tr><td>クラスB</td><td>255.255.0.0</td><td>172.xx.0.1～
172.xx.255.254*1</td></tr>
<tr><td>クラスC</td><td>255.255.255.
0</td><td>192.168.xx.1～
192.168.xx.254*2</td></tr>
</table>

- 使用中のファイアウォールソフトウェアで接続が遮断されています。ファイアウォールソフトウェアを無効にするか、Multi-Function Stationが正しく機能できるようにファイアウォール設定を変更してください。
- LAN機能は、本機とコンピューターが同じネットワークセグメントに接続されている場合にのみ使用できます。ネットワークが正しく設定されていることを確認してください。ネットワーク管理者にご相談ください。

</td></tr>
</table>

問題	原因および解決法
Multi-Function Stationをインストールするときに、本機が［ネットワーク接続装置の選択］ダイアログボックスに表示されない。	• 使用中のファイアウォールソフトウェアで接続が遮断され、セットアッププログラムでデバイスが全く一覧表示されないことがあります。ネットワーク管理者に連絡して、ファイアウォールソフトウェアを一時的に無効にしてください。 • 本機が別のネットワークセグメントに接続されており、セットアッププログラムでデバイスが全く一覧表示されないことがあります。ネットワークが正しく設定されていることを確認してください。ネットワーク管理者にご相談ください。
Microsoft Windows XP Service Pack 2（またはそれ以降）のインストール後に、［Windows セキュリティの重要な警告］ダイアログボックスが表示されて、［PCCMFLPD］をブロックするかどうかを尋ねるメッセージが表示され、次の機能を操作できない。 – コンピューターからの印刷 – スキャン – リモートコントロール – PCファクス – デバイスモニター	• **［ブロックする］**をクリックして、Windowsファイアウォール設定ツールを実行し、Multi-Function Stationのデータ送信を許可してください（164 ページ）。

[*1] 次の例のように、“xx”は本機とコンピューターで同じ値になる必要があります。
例：172.16.0.1～172.16.255.254
（“xx”の使用可能範囲は16～31です）

[*2] 次の例のように、“xx”は本機とコンピューターで同じ値になる必要があります。
例：192.168.0.1～192.168.0.254
（“xx”の使用可能範囲は0～255です）

留守番電話の使用

問題	原因および解決法
コンピューターで音声メッセージを受信できない。	• 次の機能が事前に設定されていることを確認してください。 – コンピューターでの音声メッセージの受信（119 ページの機能#365） – PC音声管理用のコンピューター設定（35 ページの機能#366）
コンピューターで音声メッセージを再生できない。	• コンピューターで音声メッセージを再生するには、サウンドカードとスピーカーが必要です。サウンドカードが正しく取り付けられていること、およびスピーカーのボリュームを確認してください。

問題	原因および解決法
外出先からメッセージを聞けない。	• 事前にリモート操作IDを設定してリモート操作機能を有効にしてください（119 ページの機能#306)。リモート操作IDを正しく、しっかりと押してください。 • 本機が留守電／ファクスモードではありません。留守電／ファクスモードに変更してください（84 ページ)。
送信元から音声メッセージを残せないという苦情が来た。	• メモリーがいっぱいです。不要なメッセージを消去してください（96、101 ページ)。 • 他の留守番電話が同じ回線に接続されていないことを確認してください。
子機を使用して留守番電話を操作できない。	• だれかが留守番電話を操作しています。 • 親機から離れすぎています。親機に近づいてください。
【再生】ライトがゆっくり点滅する。	• これは正常です。新しいメッセージが録音されています。新しいメッセージを聞いてください（95、101 ページ)。
メッセージの再生中に発信者情報が表示されない。	• メッセージが伝言録音（94 ページ）または通話録音（94 ページ）の場合、発信者情報は表示されません。

停電が発生した場合

- 本機は機能しません。
- メモリーに保存されている文書（コピー中またはコンピューターからの印刷中）は失われます。
- 本機は、停電発生時に緊急通報するように設計されていません。緊急サービスへの連絡には、別の方法を使用する必要があります。
- ファクスの送受信は中断されます。
- ファクス送受信中の文書は失われます。
- 電力が復旧すると、メモリー内のどのファクス項目が消去されたかわかるように、停電レポートが印刷されます。

Microsoft Windows XP Service Pack 2（またはそれ以降）/Windows Vista/Windows 7ユーザー向けのファイアウォール設定ツール（LAN接続のみ）

Microsoft Windows XP Service Pack 2（またはそれ以降）/Windows Vista/Windows 7をインストールすると、Windowsファイアウォール機能が有効になり、接続を遮断するために次の機能が使用できなくなります。

– デバイスモニター

– LPD Manager（ネットワーク通信ツール）

Windowsファイアウォール設定ツールを使用すると、Windowsファイアウォールのセキュリティ設定を変更できるため、上記の機能を正しく使用できるようになります。

1 本機の付属CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

- **［言語の選択］**ダイアログボックスが表示されたら、このソフトウェアで使用する目的の言語を選択してください。**［OK］**をクリックしてください。

2 ［ツール］→［Windows ファイアウォール設定］

- ［Windows ファイアウォール設定ツール］ウィンドウが表示されます。

3 ［例外リストに追加］→［OK］→［OK］

セキュリティ設定を確認する（Windows XPユーザー向け）

1 ［スタート］→［コントロール パネル］→［セキュリティ センター］

- ［Windows セキュリティ センター］ウィンドウが表示されます。

2 ［Windows ファイアウォール］

- ［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［例外］タブをクリックする。

4 ［Panasonic Trap Monitor Service］および［Panasonic LPD］が［プログラムおよびサービス］リストに表示されて、チェックマークが付いていることを確認する。

セキュリティ設定を確認する（Windows Vistaユーザー向け）

1 ［スタート］→［コントロール パネル］→［セキュリティセンター］

- ［Windows セキュリティ センター］ウィンドウが表示されます。

2 ［Windows ファイアウォール］

- ［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［設定の変更］

- ［ユーザー アカウントの制御］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［続行］

5 ［例外］タブをクリックする。

6 ［Panasonic Trap Monitor Service］、［Panasonic LPD Manager］および［Panasonic LPD］が［プログラムまたはポート］リストに表示されて、チェックマークが付いていることを確認する。

セキュリティ設定を確認する（Windows 7ユーザー向け）

1 ［スタート］→［コントロール パネル］→［システムとセキュリティ］→［Windows ファイアウォール］→［詳細設定］

- ［セキュリティが強化された Windows ファイアウォール］ウィンドウが表示されます。

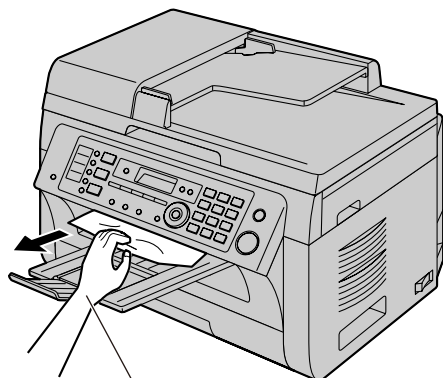
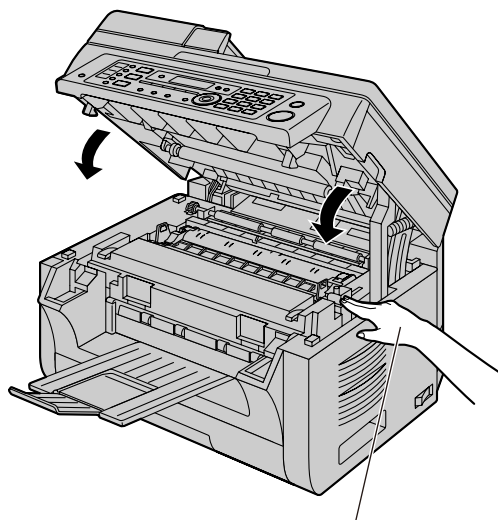
2 ［受信の規則］

3 ［Panasonic Trap Monitor Service］、［Panasonic LPD Manager］および［Panasonic LPD］が［受信の規則］リストに表示されて、チェックマークが付いていることを確認する。

14.1 詰まり

14.1.1 用紙詰まり

お知らせ

- トップカバーを開けずに、詰まった用紙を無理に引き出さないでください。

- トップカバーを閉じるとき指の挟みこみに注意してください。けがの原因になることがあります。

本機の内部に用紙が詰まった場合

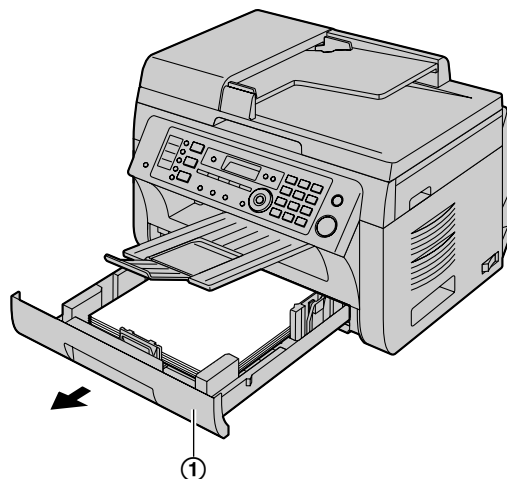
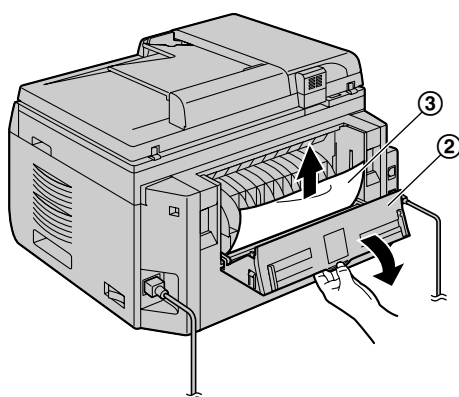
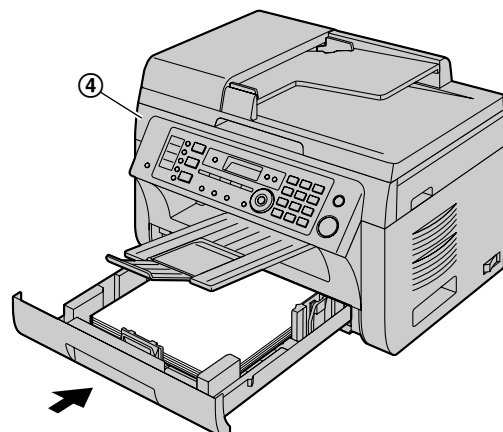
ディスプレイに次のように表示されます。

– "ヨウシ　ヅマリ　デス"
　↕
　"カバーヲ　アケテ　トリノゾイテ　クダサイ"

– "バックカバーヲ　カクニン"

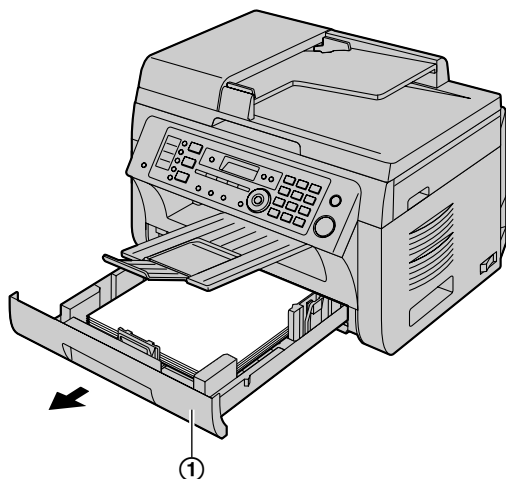
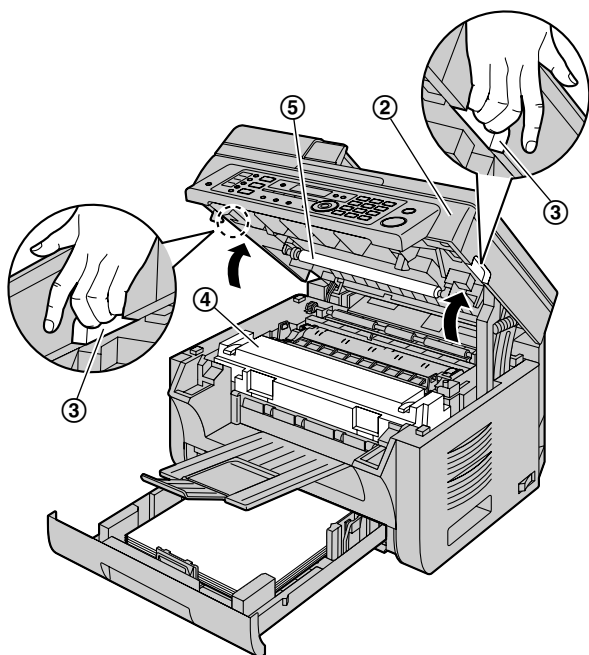
事例1

手差しトレイ付近で用紙が詰まった場合

1 給紙カセット（①）を引き出す。

2 手差しトレイ（②）を開き、詰まった用紙（③）を上に引っ張って、慎重に取り除く。手差しトレイを閉じる。

3 給紙カセットを閉じる。

- トップカバー（④）を開閉して、メッセージを消去する。

事例2

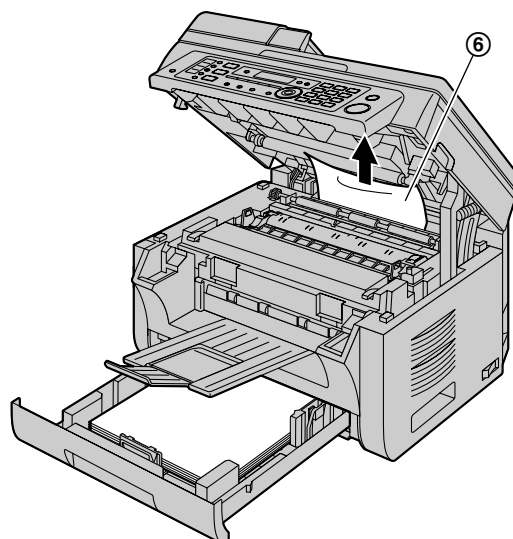
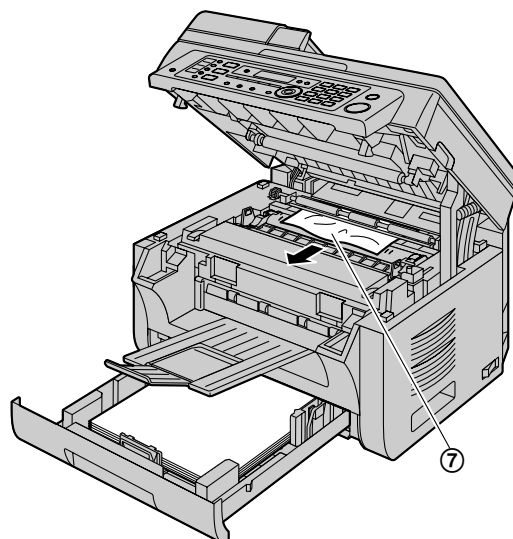
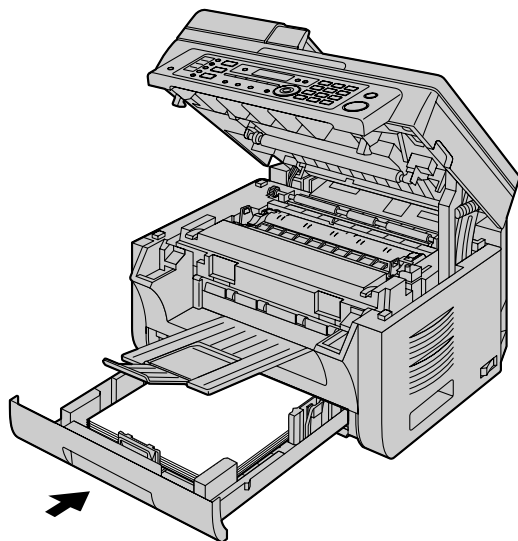
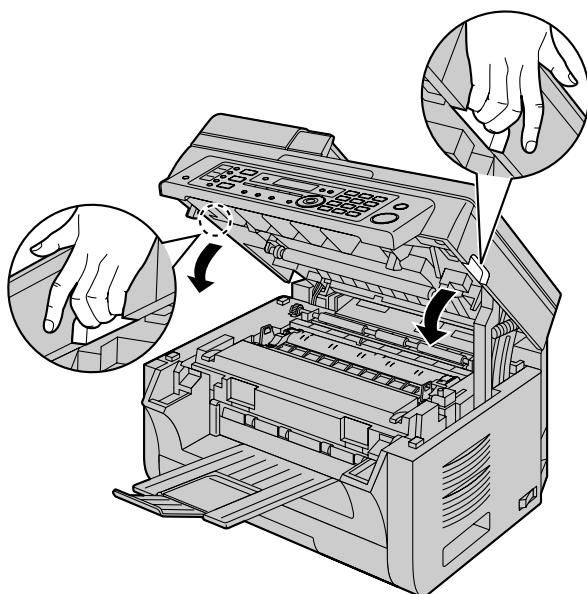
ドラムカートリッジとトナーカートリッジ付近で用紙が詰まった場合

1 給紙カセット（①）を引き出す。

2 親機の両側にあるくぼみ部分（③）を持ち、トップカバー（②）を開く。

お知らせ

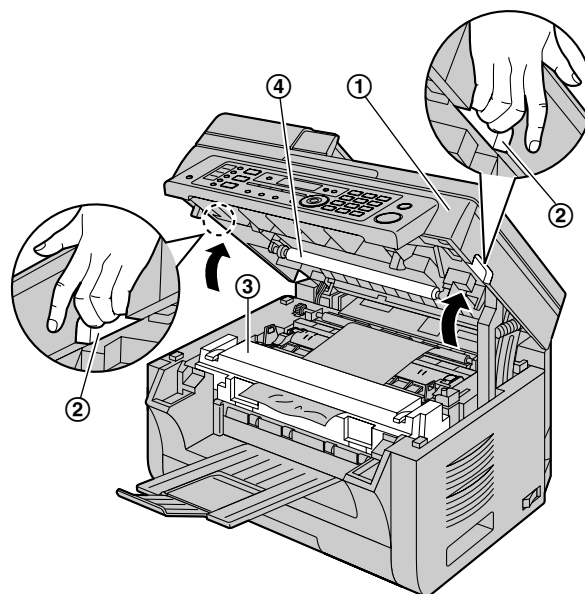
- **定着部（④）は高温になっています。触れないでください。**

お知らせ

- 搬送ローラー（⑤）には触れないでください。

3 詰まった用紙（⑥）を上に引っ張って、慎重に取り除く。

詰まった用紙（⑦）を手前に引っ張って、慎重に取り除く。

4 給紙カセットを閉じる。

5 親機の両側にあるくぼみ部分を持ち、トップカバーがロックされるまで閉じる。

事例3

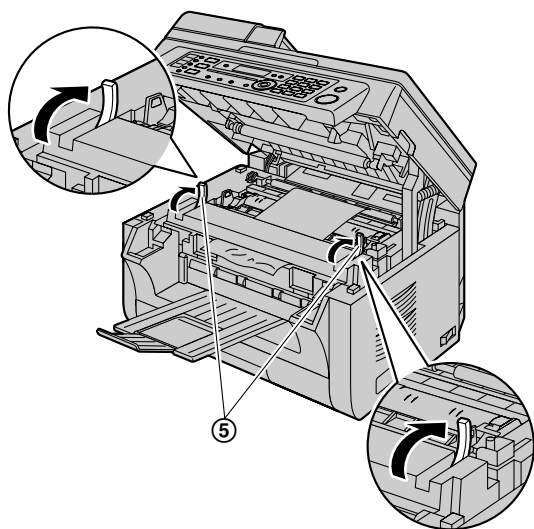
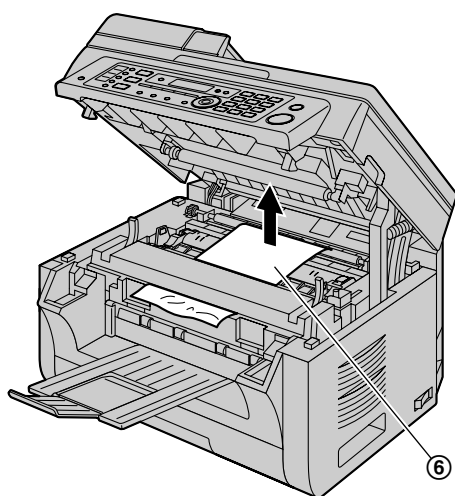
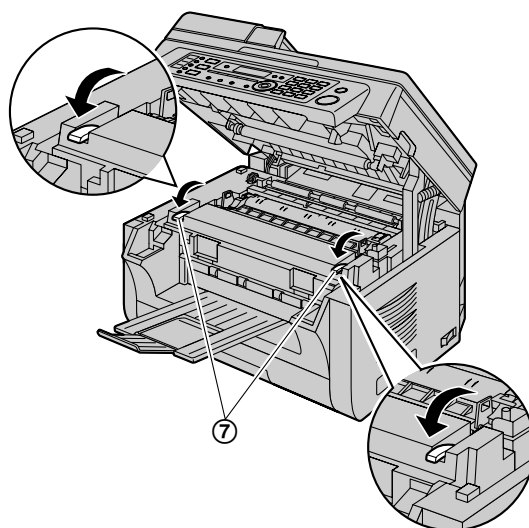
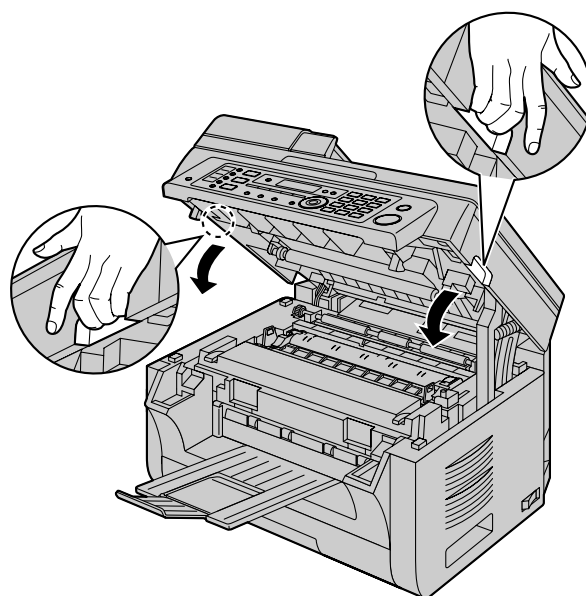
定着部付近で用紙が詰まった場合

1 親機の両側にあるくぼみ部分（②）を持ち、トップカバー（①）を開く。

お知らせ

- 定着部（③）は高温になっています。触れないでください。

お知らせ

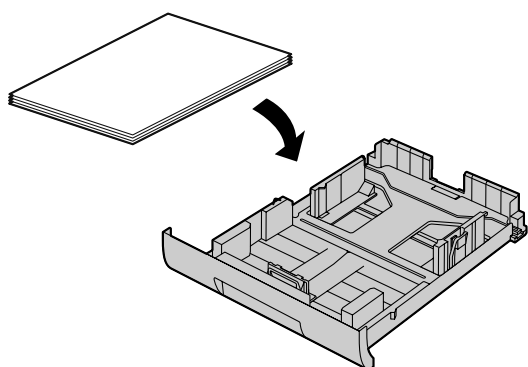
- 搬送ローラー（④）には触れないでください。

2 両方の緑レバー（⑤）を止まる位置まで持ち上げる。

3 詰まった用紙（⑥）を上に引っ張って、慎重に取り除く。

4 緑レバー（⑦）を押して、元の位置に戻す。

5 親機の両側にあるくぼみ部分を持ち、トップカバーがロックされるまで閉じる。

用紙が本機に正しく引き込まれなかった場合

ディスプレイに次のように表示されます。

– **“トレイ1ノ　ヨウシヲ　カクニン　[スタート]ヲ　オス”**

1 所定の位置にカチッと入るまで給紙カセットを引き出し、カセットの前部を持ち上げて完全に引き出す。用紙を取り出し、まっすぐに揃える。

2 用紙をセットし直す。

3 給紙カセットの前部を持ち上げながら、給紙カセットを親機に挿入する。給紙カセットを奥まで完全に押し込む。

お知らせ

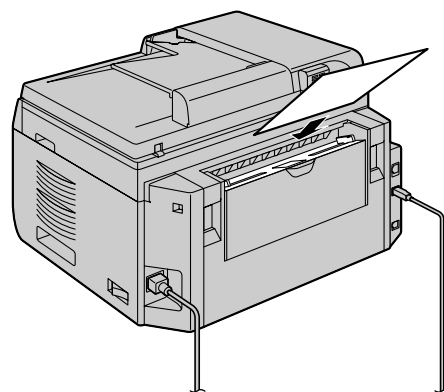
- メッセージが表示され続ける場合、用紙の仕様を確認してから、用紙をセットし直してください。詳細については、19 ページを参照してください。

手差しトレイにある用紙が正しく引き込まれなかった場合

ディスプレイに次のように表示されます。

– **“ヨウシヲ　キュウシ　デキマセン　トレイ2ヲ　カクニン！”**

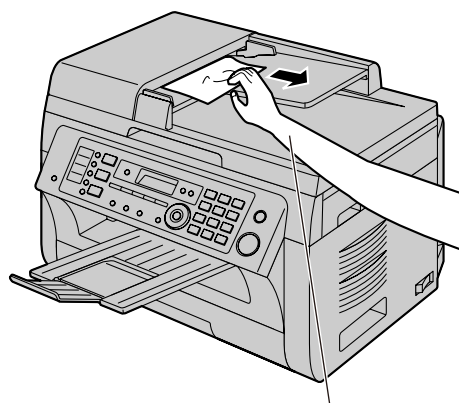
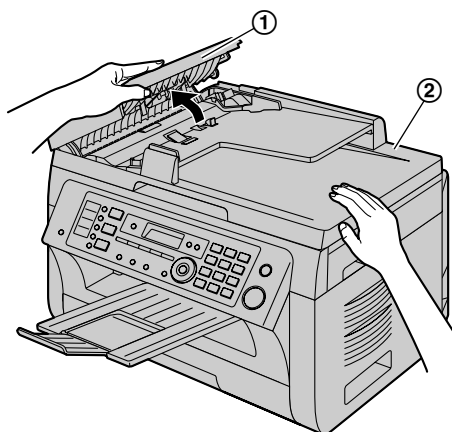
1 用紙を取り除く。

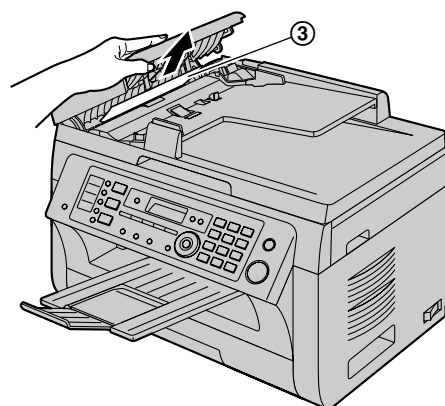
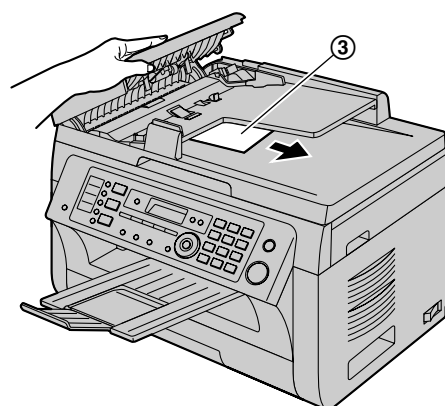
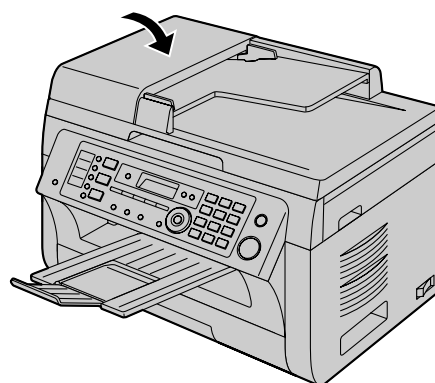
2 用紙をセットし直す。

お知らせ

- メッセージが表示され続ける場合、用紙の仕様を確認してから、用紙をセットし直してください。詳細については、22 ページを参照してください。

14.1.2 原稿詰まり（自動原稿送り装置）

お知らせ

- **ADFカバーを開けずに、詰まった原稿を無理に引き出さないでください。**

1 ADF（②）を軽く押さえながら、ADFカバー（①）を開ける。

2 詰まった原稿（③）を慎重に取り除く。

原稿挿入部付近で原稿が詰まった場合

原稿排出部付近で原稿が詰まった場合

3 ADFカバーを閉じる。

15.1 清掃

15.1.1 白ガイド／白板とガラスを清掃する

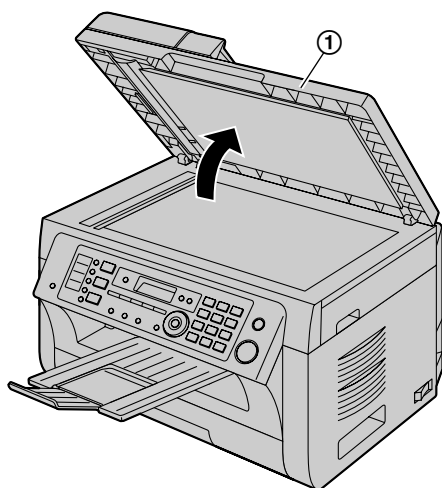
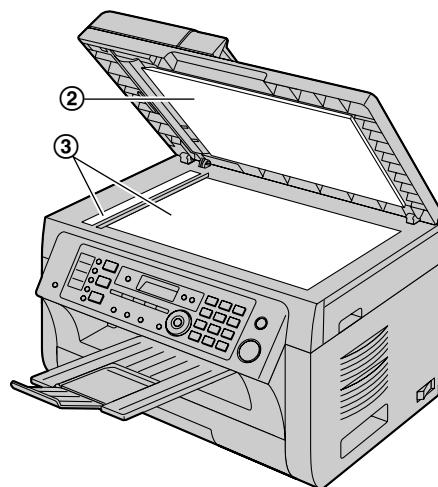
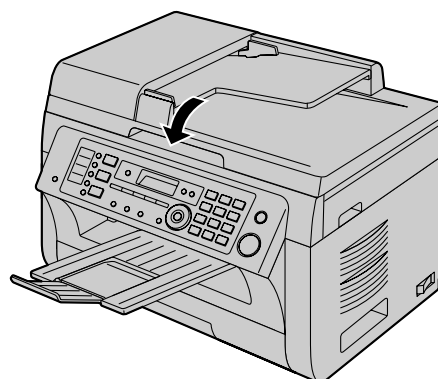
次の表面に黒線、白線、または汚れた模様が現れた場合、白ガイド／白板とガラスを清掃してください。

– 用紙
– 原稿
– スキャンされたデータ
– 相手先から受信したファクス文書

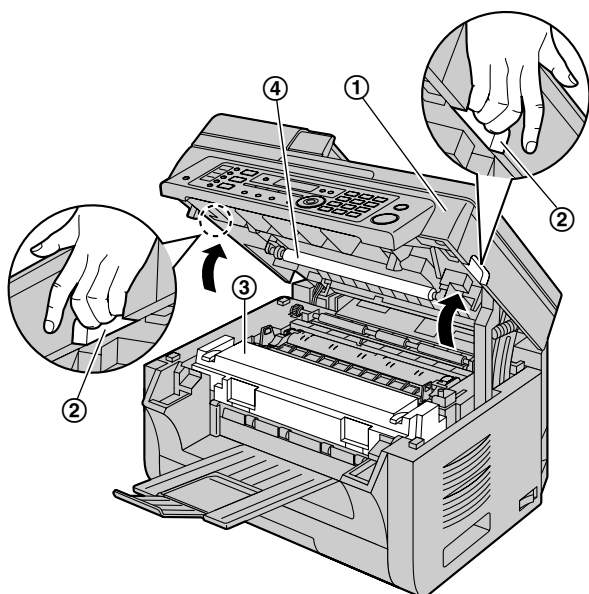
お知らせ

- **ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを扱う場合は注意してください。詳細については、15 ページのドラムカートリッジに関する注意を参照してください。**
- **清掃には、ペーパータオルやティッシュペーパーなどの紙用品を使用しないでください。**

白ガイド／白板と原稿台ガラス

1 ADF（①）を開ける。

2 ADFを軽く押さえながら、白ガイド／白板（②）と原稿台ガラス（③）を清掃する。

3 ADFを閉じる。

下部ガラス

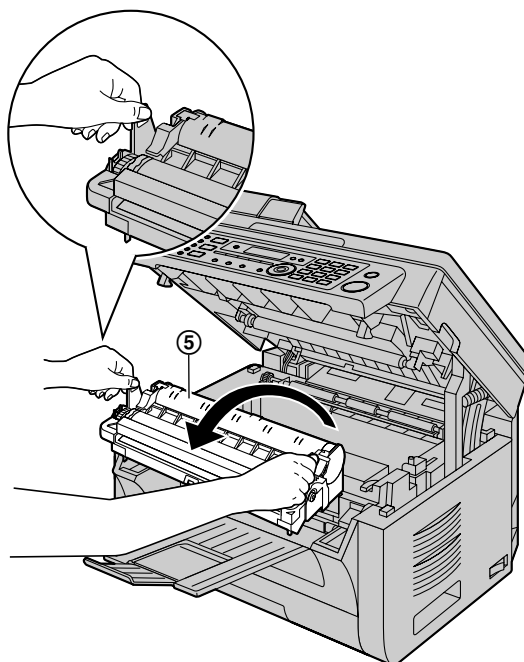
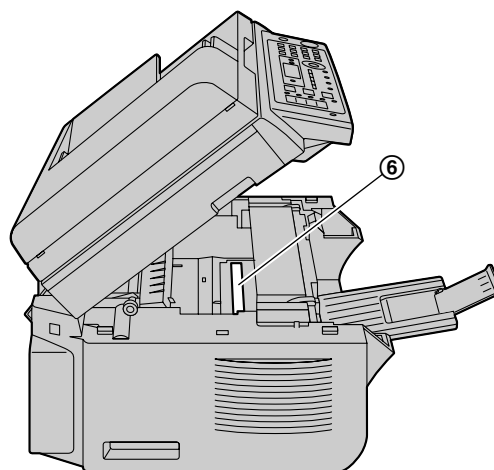
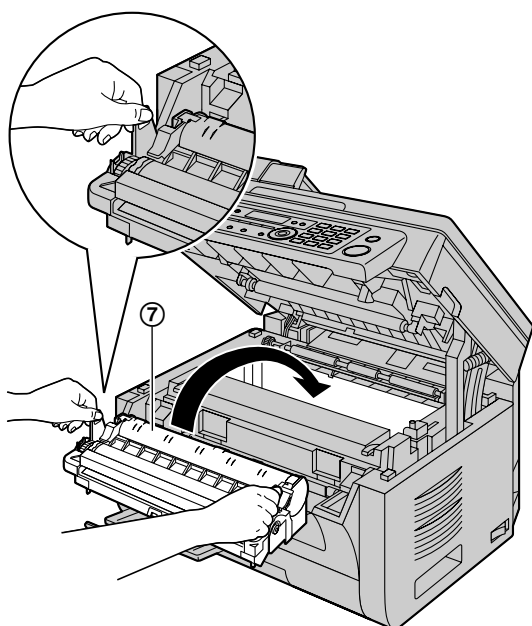
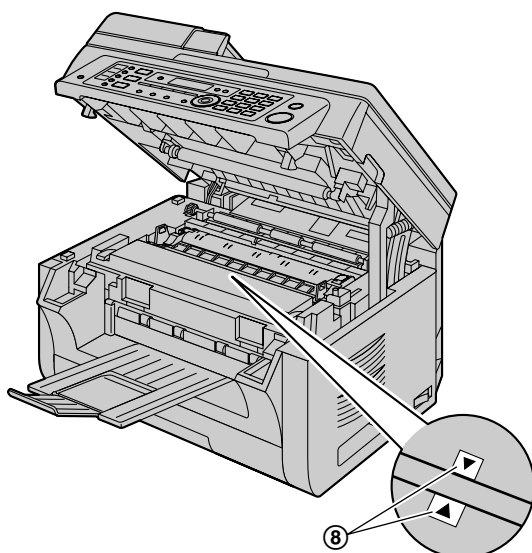
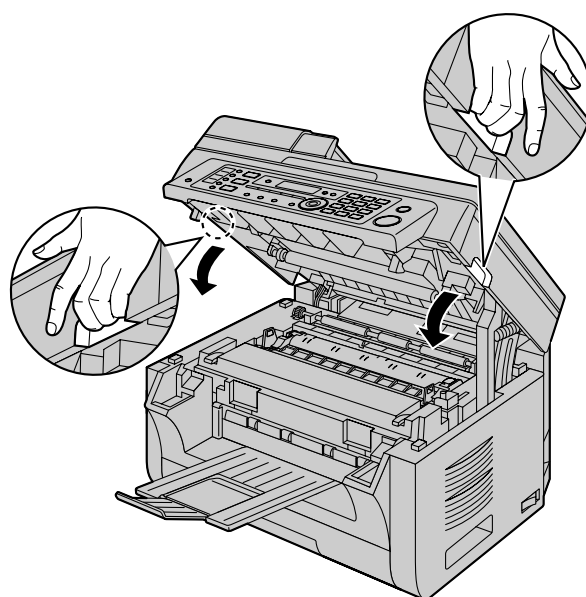
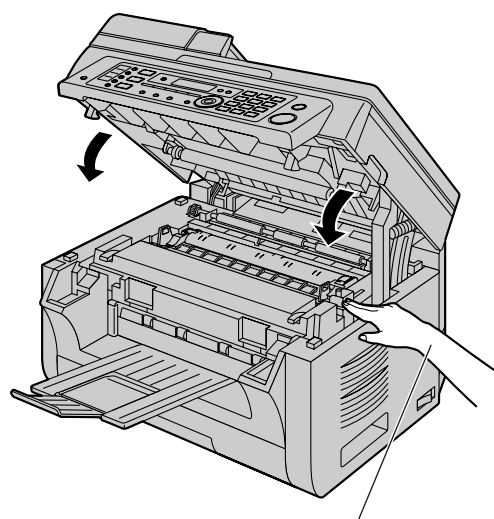
1 電源スイッチをオフにする。

2 親機の両側にあるくぼみ部分（②）を持ち、トップカバー（①）を開く。

お知らせ

- **定着部（③）は高温になっています。触れないでください。**

お知らせ

- 搬送ローラー（④）には触れないでください。

3 タブをつかんで、ドラムカートリッジとトナーカートリッジ（⑤）を取り外す。

4 柔らかい乾いた布で下部ガラス（⑥）を清掃する。

5 タブをつかんで、ドラムカートリッジとトナーカートリッジ（⑦）を取り付け直す。

- 矢印（⑧）が合っていることを確認し、ドラムカートリッジとトナーカートリッジを正しく取り付けてください。

6 親機の両側にあるくぼみ部分を持ち、トップカバーがロックされるまで閉じる。

- **トップカバーを閉じるとき指の挟みこみに注意してください。けがの原因になることがあります。**

7 電源スイッチをオンにする。

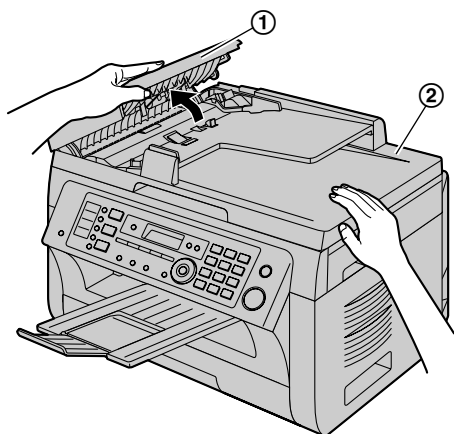
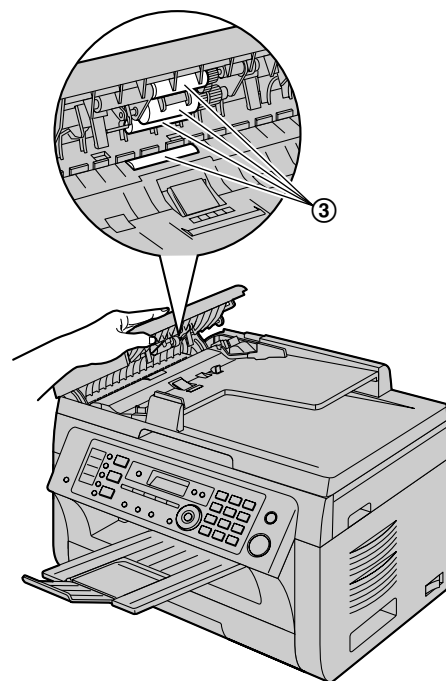
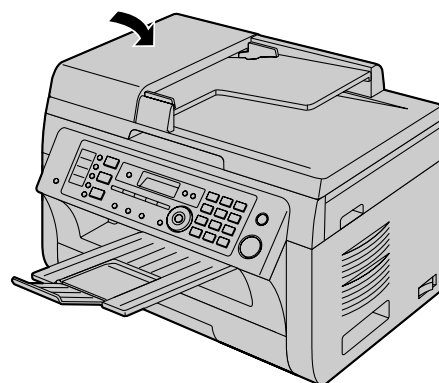
15.1.2 原稿搬送ローラーを清掃する

原稿送りの失敗が頻発するようになったら、ローラーを清掃してください。

お知らせ

- **清掃には、ペーパータオルやティッシュペーパーなどの紙用品を使用しないでください。**

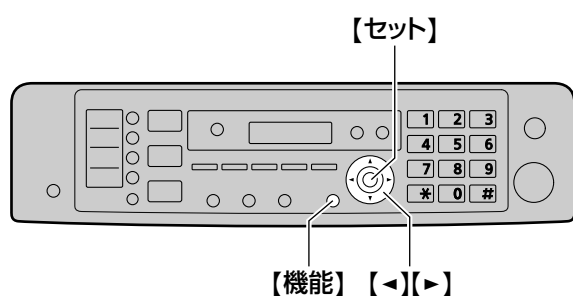
1 電源スイッチをオフにする。

2 ADF（②）を軽く押さえながら、ADFカバー（①）を開ける。

3 水で湿らせた布を使用して、原稿搬送ローラー（③）を清掃し、すべての部品を十分に乾かす。

4 ADFカバーを閉じる。

5 電源スイッチをオンにする。

16.1 印刷レポート

16.1.1 参考リストおよびレポート（親機のみ）

参考用として、次のリストおよびレポートを印刷することができます。

– “キノウ　セッテイ　リスト”
– “デンワチョウ　リスト”
– “ファクス　ツウシン　リレキ”
– “ドウホウ　トウロク　リスト”
– “テスト　プリント”
– “チャクシン　メモリー　リスト”
– “Eメール　アドレス　リスト”
– “FTP　サーバー　リスト”
– “SMB　フォルダー　リスト”

1 【機能】を繰り返し押して、“レポート　インサツ”を選択する。

2 【◄】または【►】を繰り返し押して、目的の項目を選択する。

3 【セット】を押して印刷を開始する。→【機能】

16.2 仕様

16.2.1 仕様

親機

■ **適合回線**
公衆電話回線

■ **原稿サイズ**
最大幅216 mm、最大長さ600 mm

■ **有効読取幅**
208 mm

■ **有効印刷幅**
レター／リーガル：208 mm
A4：202 mm

■ **電送時間**[*1]
約4秒／ページ（ECM-MMRメモリー送信）[*2]

■ **読取解像度**

スキャン解像度
最大600 × 1,200 dpi（光学）
最大19,200 × 19,200 dpi（補間）

コピー解像度
最大600 × 600 dpi

ファクス解像度
水平方向：8 dot/mm

垂直方向：　3.85 本/mm- 標準画質
7.7 本/mm- 小さい／写真画質
15.4 本/mm- 細密画質

■ **写真モード**
64階調

■ **読取方式**
接触式イメージセンサー

■ **記録方式**
レーザー電子写真方式

■ **データ圧縮方式**
Modified Huffman（MH）、Modified READ（MR）、Modified Modified READ（MMR）

■ **モデム通信速度**
33,600/31,200/28,800/26,400/24,000/21,600/19,200/16,800/14,400/12,000/9,600/7,200/4,800/2,400 bps、自動フォールバック

■ **使用環境**
10 ℃～32.5 ℃、20 %～70 % RH（相対湿度）

■ **外形寸法**
約：幅420 mm × 奥行き432 mm × 高さ305 mm
（ハンドセットユニットを取り付けた場合は幅505 mm）

■ **質量（重量）**
約12 kg

■ **消費電力**
スタンバイ：約6 W
プレヒート：約65 W（印刷終了から節電モードタイマー設定値まで。初期値5分）
コピー：約500 W
最大：約950 W（定着ランプ作動時）

■ **電源**
100 V AC、50/60 Hz

■ **メモリー容量**
（操作および保存メモリー用）：
32 MB

■ **ファクスメモリー容量**
5 MB（合計）
メモリー受信時：約220ページ
メモリー送信時：約150ページ
（ITU-T No. 1テストチャート（標準解像度）に基づく）

■ **音声メモリー容量**
合計録音時間：約20分

■ **スキャンtoEメールアドレス用メモリー容量：**
5 MB（合計）（ヘッダーとEメールメッセージを含む）

■ **スキャンtoFTPサーバー用メモリー容量：**
5 MB（合計）

■ **スキャンtoSMBフォルダー用メモリー容量：**
5 MB（合計）

■ **レーザーダイオード特性**
レーザー出力：最大15 mW
波長：760 nm～800 nm
放出持続時間：連続

■ **印刷速度**
約24 ppm（ページ／分）

■ **印刷解像度**
600 × 600 dpi

*1 通信速度はページの内容、解像度、電話回線および相手先のファクス機の能力に応じて異なります。
*2 通信速度は、ITU-T No. 1テストチャートの使用に基づいています（標準解像度使用）。相手先のファクス機の能力が本機よりも劣っている場合、通信時間が長くなることがあります。

ITU-T No.1テストチャート

THE SLEREXE COMPANY LIMITED
SAPORS LANE · BOOLE · DORSET · BH 25 8 ER
TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

<u>お知らせ</u>

- 設計および仕様は予告なく変更されることがあります。
- この説明で使用されている図およびイラストは、実際の製品と多少異なる場合があります。

用紙の仕様

普通紙／厚口普通紙：
A4：210 mm × 297 mm
A5：148 mm × 210 mm[*1]
レター：216 mm × 279 mm
リーガル：216 mm × 356 mm[*1]
B5（JIS）：182 mm × 257 mm
B5（ISO）：176 mm × 250 mm
216 × 330：216 mm × 330 mm[*1]
216 × 340：216 mm × 340 mm[*1]

ラベル紙：
A4：210 mm × 297 mm[*1]
レター：216 mm × 279 mm[*1]

はがき：
はがき：100 mm × 148 mm[*1]

封筒：
封筒 長形3号：120 mm × 235 mm[*1]
封筒 長形4号：90 mm × 205 mm[*1]
封筒 洋形4号：105 mm × 235 mm[*1]
封筒 COM-10：105 mm × 241 mm[*1]
封筒 DL：110 mm × 220 mm[*1]

用紙重量（ラベル紙、はがき、および封筒を除く）：
64 g/m^2～90 g/m^2

*1 手差しトレイのみ

子機

■ 無線通信方式：
1.9 GHz TDMA-WB

■ 電源：
専用ニッケル水素電池（品番：KX-FAN55）（DC2.4V）（650mAh）

■ 外形寸法：
約：幅48 mm × 奥行き30 mm × 高さ175 mm

■ 質量：
約150 g（電池パック含む）

■ 使用環境：
温度5 ℃～35 ℃
湿度45 %～85 %

■ 使用時間：
連続通話時間：約5時間[*1]
待ち受け時間：約150時間[*1]

■ 充電時間：
約10時間[*2]

■ 使用可能距離：
約100 m／見通し距離

*1 充電完了した状態で、使用環境温度が20 ℃のとき
*2 使用環境温度が20 ℃、電源電圧がAC100Vのときの時間です。
使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときには、充電時間が長くなります。

充電台

■ 電源：
100 V AC 50/60 Hz

■ 消費電力：
待機時：約0.3 W（子機を充電台から外しているとき）
充電時：約0.8 W

■ 外形寸法：
約：幅73 mm × 奥行き90 mm × 高さ47 mm

■ 質量：
約155 g

■ 使用環境：
温度5 ℃～35 ℃
湿度45 %～85 %

トナーの寿命

ISO/IEC 19752で規定されたページを2,000ページ印刷します。

お知らせ

- ISO/IEC 19752の規定は下記の通りです。
  - 環境：23 ± 2 ℃ / 50 ± 10 % RH（相対湿度）
  - プリントモード：連続印刷
- トナー消費量は、文字の濃さ、太さおよびサイズに応じて変化します。
- トナーセーブ機能を有効にすると、トナーカートリッジは約20 %長持ちします。

ドラムの寿命

ドラムカートリッジは定期的に交換する必要があります。ドラムの寿命は最長で約6,000枚です。

お知らせ

- 実際のドラムカートリッジの寿命は、温度、湿度、用紙のタイプ、1回の印刷ジョブあたりの印刷枚数に使用するトナーの量など、さまざまな要因によって左右されます。1回あたりの印刷枚数が少ないジョブで本機を頻繁に使用すると、ドラムカートリッジが印刷できる実際の枚数はこの推定値を大幅に下回る場合があります。実際のドラムカートリッジの寿命に影響を及ぼす要因は制御できないものが多いため、弊社ではドラムカートリッジで印刷できる最小枚数を保証することができません。
- 特に高品質を保てる印刷ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては3,000枚以下になる場合があります。

廃棄物の処分方法

- 当社では、環境保護のため使用済みのカートリッジを回収し、リサイクルを実施しております。使用済みのカートリッジを梱包箱に納めて、回収にご協力をお願いいたします。詳細は、カートリッジの梱包箱の記載内容をご覧ください。
- 本機が使用済みや不要となり、本機を廃却される場合は、お買い上げの販売店、サービス実施会社にご連絡ください。

16.3 著作権

16.3.1 著作権及びライセンスに関する情報

- この製品はNet-SNMPソフトウェアを含んでおり、次のライセンス条件に基づいて使用しています。

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) -----

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) -----

FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

また、この製品には次の告知およびライセンスを含むソフトウェアも含まれています。

- この製品はACMELabsが開発したthttpdソフトウェアを含んでおり、次のライセンス条件に基づいて使用しています。

- この製品はOpenSSL Projectが開発したOpenSSLソフトウェアのMD4、MD5、DESを含んでおります。 また、以下のライセンス条件に基づいて使用しています。

LICENSE ISSUES
==============

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of
the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style
Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL
please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

```
/* ====================================================================
 * Copyright (c) 1998-2000 The OpenSSL Project.  All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
```

```
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
*    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
*    notice, this list of conditions and the following disclaimer in
*    the documentation and/or other materials provided with the
*    distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this
*    software must display the following acknowledgment:
*    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
*    for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
*    endorse or promote products derived from this software without
*    prior written permission. For written permission, please contact
*    openssl-core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
*    nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
*    permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
*    acknowledgment:
*    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
*    for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
* ====================================================================
*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com).  This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/
```

Original SSLeay License

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *
```

```
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to.  The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.  The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
*    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
*    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
*    documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
*    must display the following acknowledgement:
*    "This product includes cryptographic software written by
*    Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
*    The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
*    being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
*    the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
*    "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed.  i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/
```

- JPEG

このソフトウェアの一部はIndependent JPEG Groupの研究成果に基づいています。

索引

記号

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行